

au

Galaxy A8

SCV32

取扱説明書 詳細版

Android 7.0対応版

ごあいさつ

このたびは、Galaxy A8(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。『取扱説明書 詳細版 Android 7.0 対応版』(本書)および『設定ガイド Android 7.0 対応版』はAndroid 7.0へのOSアップデート後の内容について記載しています。

OSアップデートをしていない場合、本製品に付属する『取扱説明書』、『設定ガイド』およびauホームページに掲載の『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。

(<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>)

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



SC TVアンテナケーブル03
(03SCHSA)



SIM取り出し用ピン(試供品)
※ au Nano IC Card 04および
microSDメモリカードの取り
付け／取り外しに使用します。

- 保証書(本体)
- 取扱説明書
- 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

- microSDメモリカード
- ACアダプタ
- microUSBケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- 電池は本製品に内蔵されています。
- 本文中に使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

操作説明について

■『設定ガイド』／『取扱説明書』

『取扱説明書』(付属品)／『設定ガイド』(付属品)では、OSバージョンアップ前の主な機能の主な操作のみ説明しています。

さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』やauホームページより『取扱説明書詳細版 Android 7.0対応版』および『設定ガイド Android 7.0対応版』をご参照ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

■『取扱説明書アプリケーション』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』をご利用できます。また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

アプリ一覧画面で[取扱説明書]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードし、インストールする必要があります。

Galaxyの最新情報はこちらから

オフィシャルサイト <http://www.galaxymobile.jp/>

Facebook <http://www.facebook.com/galaxymobilejapan>

Twitter <http://twitter.com/GalaxyMobileJP>

本製品をご利用いただくにあたって

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

- 故障とお考えになる前に、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。
<https://www.au.com/trouble-check/>
- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE／WIMAX 2+／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- 日本国内の緊急機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- 本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 海外をご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失・事業利益の損失、事業の中止など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書 詳細版 Android 7.0対応版』(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website.

『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています。

Download URL:

<https://www.au.com/english/support/manual/>

- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがあります。これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に登録された連絡先・メール・ブックマークなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料は問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・長時間同じ画像を表示させているとディスプレイに残像が発生することがあります。故障ではありません。残像防止と消費電力節約のため、照明時間の設定を短い時間にすることをおすすめします。
- ・撮影などした静止画／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- ・通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となったau電話の回収にご協力ください。auショップなどでau電話の回収を行っております。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）

輸入元：SAMSUNG ELECTRONICS JAPAN Co., Ltd.

製造元：Samsung Electronics Co., Ltd.

■お知らせ

- ・本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ・本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

マナーも携帯する

■こんな場所では、使用禁止！

- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■周りの人への配慮も大切！

- ・映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- ・携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止ままでの通話や操作は控えましょう。
- ・新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- ・通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- ・電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。
- ・携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- ・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- ・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

目次

ごあいさつ	ii	画面ロックを解除する	34
同梱品一覧	ii	Googleアカウントの設定をする	35
操作説明について	1	au IDを設定する	35
本製品をご利用いただくにあたって	1	Galaxyアカウントの設定をする	35
マナーも携帯する	3		
安全上のご注意	9		
本書の表記方法について	10	基本操作	36
安全上のご注意（必ずお守りください）	11	基本操作	37
取り扱い上のお願い	18	タッチパネルの使いかた	37
ご利用いただく各種暗証番号について	20	高度な機能の使いかた	38
PINコードについて	21	ホーム画面を利用する	40
Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について	21	ホーム画面をカスタマイズする	40
データ通信料についてのご注意	23	ホーム画面を切り替える	42
アプリケーションについて	23	かんたんモードに切り替える	42
アプリの権限を設定する	24	分割画面表示で表示する	42
ご利用の準備	25	アプリ一覧画面を利用する	43
各部の名称と機能	26	アプリ一覧画面を表示する	43
au Nano IC Card 04について	28	アプリ一覧画面をカスタマイズする	46
au Nano IC Card 04を取り付ける／取り外す	29	本製品の状態を知る	47
au Nano IC Card 04を取り付ける	29	アイコンの見かた	47
au Nano IC Card 04を取り外す	30	通知パネルについて	48
充電する	31	クリック検索ボックスを利用する	49
指定のACアダプタ（別売）を使って充電する	32	Google音声検索を利用する	49
パソコンを使って充電する	33	検索時のメニューを利用する	49
電源を入れる／切る	33	BRIEFINGを利用する	49
電源を入れる	33	緊急時長持ちモードを有効にする	50
電源を切る	33	基本的な操作を覚える	50
強制的に再起動する	33	縦横表示を切り替える	50
セーフモードで起動する	34	項目を選択する	50
画面ロックを設定する	34	タブを切り替える	50
		メニューを表示する	51
		設定を切り替える	51
		データを複数選択する	51
		最近使用したアプリケーションを表示する	51
		起動中のアプリケーションを確認／終了する	52
		画面の表示内容を画像として保存する	52
		指紋認証機能を利用する	53
		指紋認証機能を設定する	54
		指紋認証を行う	54
文字入力	55		
文字を入力する	55		
入力方法を切り替える	55		
Galaxy日本語キーボードで入力する	55		
文字列を選択／切り取り／コピー／貼り付ける	57		
文字入力の設定をする	57		
Galaxy日本語キーボードの設定を行う	57		
電話	58		
電話	59		
電話をかける	59		
履歴を利用して電話をかける	61		
ボイスペーティーで電話をかける	62		
au電話から海外へかける（au国際電話サービス）	63		
電話を受ける	63		
着信に伝言メモで応答する	64		
着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信する	64		
シンクコールについて	65		
シンクコールを設定する	65		
伝言メモを利用する	66		
自分の電話番号を確認する	66		
通話関連機能の設定をする	66		
通話ブロックの設定をする	68		
メール	69		
メールについて	70		
Eメールを利用する	70		
Eメールの表示モードを切り替える	71		
フォルダモードでの画面の見かた	71		
会話モードでの画面の見かた	74		
Eメールを送信する	75		
宛先を追加・削除する	76		
送信予約をする	77		
Eメールにデータを添付する	77		
D絵文字を利用する	78		

コミコミを利用する	78
本文入力中にできること	78
フォルダモードで本文を装飾する	79
Eメールを受信する	80
添付データを受信・再生する	81
添付画像を保存する	81
差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する	81
新着メールを問い合わせて受信する	83
Eメールを検索する	83
Eメールをフォルダモードで確認する	83
Eメール一覧画面でできること	84
Eメールを個別に操作する	85
Eメール詳細表示画面でできること	86
フォルダ一覧画面でできること	87
フォルダを作成／編集する	87
Eメールを会話モードで確認する	90
スレッド一覧画面でできること	90
スレッド内容表示画面でできること	90
Eメールを個別に操作する	90
Eメールを設定する	91
受信・表示に関する設定をする	92
送信・作成に関する設定をする	93
通知に関する設定をする	94
個別の通知に関する設定をする	95
Eメールアドレスの変更やその他の設定をする	95
Eメールをバックアップ／復元する	96
メールデータをバックアップする	96
メールデータを復元する	97
Eメールをまるごとバックアップする	97
まるごとバックアップデータを復元する	97
迷惑メールフィルターを設定する	98
SMSを利用する	101
SMSを送信する	101
SMSを受信する	102
SMSを返信／転送する	102
電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する	103
SMSを保護／保護解除する	103
SMSの電話番号を連絡先に登録する	103
SMSを検索する	103
SMSを削除する	104
SMSを設定する	104
受信フィルターを設定する	105
PCメールを利用する	105
PCメールのアカウントを設定する	105
アカウントの設定を変更する	106
PCメールのアカウントを削除する	107
PCメールを送信する	108
PCメールを受信する	108
PCメールを返信／転送する	109
PCメールを削除する	109
Gmailを利用する	110
Gmailを送信する	110
Gmailを受信する	110
Gmailのメニューを利用する	110
インターネット	111
インターネットに接続する	112
データ通信を利用する	112
ブラウザを利用する	113
Webページを表示する	113
Webページを移動する	113
ブラウザ画面のメニューを利用する	113
タブを利用する	114
Webページ内のテキストを検索する	114
Webページ内のテキストをコピーする	114
Webページ内の画像をダウンロードする	114
リンクを操作する	115
ブックマーク／履歴を利用する	115
ブックマークを追加する	115
履歴を確認する	116
履歴を削除する	116
ブラウザを設定する	116

ツール・アプリケーション	117
連絡先	118
連絡先を登録する	118
連絡先をお気に入りに追加する	119
プロフィールを登録する	119
連絡先を確認／編集する	119
グループ分けした連絡先を確認する	119
連絡先から電話をかける	120
連絡先のメニューを利用する	120
連絡先をインポート／エクスポートする	120
インポートする	120
エクスポートする	121
マルチメディア	121
カメラを利用する	121
カメラをご利用になる前に	121
撮影画面の見かた	122
撮影前の設定をする	123
プレビュー画面を利用する	124
撮影モードを変更する	124
静止画を撮影する	125
動画を録画する	125
ギャラリー	126
静止画／動画を表示する	126
ギャラリーのメニューを利用する	126
ビデオ	127
ビデオのメニューを利用する	128
ミュージック	128
楽曲データを再生する	128
ミュージックのメニューを利用する	129
プレイリストを利用する	129
プレイリストを編集する	129
テレビ	130
テレビをご利用になる前に	130
テレビの初期設定をする	131
テレビを見る	131
視聴画面について	131
操作画面について	132

視聴中の番組を録画する	133	カレンダーの内容について	141	リモートサポートを利用する	154
視聴中の設定を行う	133	カレンダーのメニューを利用する	142	auサービスTOPを利用する	154
テレビの録画や視聴を予約する	133	イベントやタスクの通知を解除または スヌーズを設定する	142	時計	155
番組表から予約する	133	Galaxy Apps	143	アラームを利用する	155
Gガイド番組表から予約する	133	ボイスレコーダー	143	アラームを止める	155
手動で予約する	134	音声を録音する	143	世界時計を利用する	156
予約を確認する	134	音声を再生する	143	ストップウォッチを利用する	156
録画した番組を再生する	134	ボイスレコーダーのメニューを利用する	143	タイマーを利用する	156
チャンネルを設定する	135	Sボイス	144	電卓	157
エリア情報を設定する	135	Sボイスをご利用になる前に	144	au Wi-Fi接続ツールを利用する	157
エリア情報を切り替える	135	Sボイスを利用できるようにする	144	QR・バーコードリーダーを 利用する	158
TVリンクを利用する	135	辞書	144	ファイル管理	159
TVリンクを登録する	135	おサイフケータイ®	145	ファイル管理	160
TVリンクを表示する	135	おサイフケータイ®とは	145	本製品の保存領域について	160
テレビを設定する	136	おサイフケータイ®のご利用にあたって	145	microSDメモリカードを利用する	160
Androidアプリ	136	リーダー／ライターとやりとりする	146	microSDメモリカードを取り付ける／ 取り外す	161
Google Playを利用する	136	他の携帯電話機とデータを送受信する	146	microSDメモリカードを取り付ける	161
アプリケーションを検索し、 インストールする	137	おサイフケータイ®を設定する	147	microSDメモリカードを取り外す	162
アプリケーションを管理する	137	おサイフケータイ®の機能をロックする	147	microSDメモリカードをフォーマット する	163
提供元不明のアプリケーションの ダウンロード	137	「NFC／おサイフケータイロック」 を解除する	147	メモリの使用量を確認する	164
インストールされたアプリケーション を削除する	138	NFCを利用する	148	マイファイルを利用する	164
YouTube	138	NFC機能を有効にする	148	マイファイルのメニューを利用する	164
YouTubeを利用する	138	Android Beamでデータを送受信する	148	本体内のデータをmicroSDメモリカード にバックアップする	165
Googleサービス	139	NFCメニューアプリを利用する	148	microUSBケーブル01（別売）で パソコンと接続する	166
Googleハングアウトを利用する	139	FeliCaに対応したサービスを利用する	149	メディアデバイス（MTP）モードで パソコンと接続する	166
Googleハングアウトにログインする	139	あんしんフィルター for au	150	カメラデバイスとして使用する	167
Googleマップを利用する	139	auお客様サポートアプリを 利用する	152	microUSBケーブル01（別売）を 安全に取り外す	167
GPS機能を利用する	139	auスマートサポートを利用する	152	au設定メニューからデータを バックアップする	168
地図上で現在地を検出する	140	auスマートサポートでできること	152		
ストリートビューを見る	140	Lookout for auを利用する	153		
周辺のスポットを確認する	140	位置検索をご利用いただくにあたって	153		
地図を拡大／縮小する	141	Lookout for auを利用する	153		
レイヤを変更する	141	リモートサポートを利用する	154		
カレンダー	141				
カレンダーを表示する	141				

データお預かり設定をする	168
Smart Switchを利用する	168
Galaxyアカウントを利用してサーバー上にバックアップする	168
データ通信	169
無線LAN (Wi-Fi®) 機能	170
Wi-Fi®機能を利用する	170
Wi-Fi®機能をオンにする	170
Wi-Fi®ネットワークに接続する	170
WPSのプッシュボタン方式でWi-Fi®ネットワークに接続する	171
Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する	171
静的IPを使用して接続する	171
Wi-Fi®機能を切断する	172
Wi-Fi®の詳細設定を行う	172
Adaptive Wi-Fiを設定する	172
Wi-Fi®機能のスリープ設定をする	172
Wi-Fi®証明書をインストールする	172
Wi-Fi Directを設定する	173
Bluetooth®機能	173
Bluetooth®機能をオンにする	174
他のBluetooth®機器を登録する	174
他のBluetooth®機器から検出可能にする	175
ペアリングを解除する	175
Bluetooth®機能でデータを送受信する	175
Bluetooth®機能でデータを送信する	175
Bluetooth®機能でデータを受信する	175
テザリング機能	176
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	176
Wi-Fi®テザリングを設定する	176
接続を許可する機器を設定する	177
USBテザリング機能を利用する	177
Bluetooth®テザリング機能を利用する	177
機能設定	178
設定メニューを表示する	179
接続	179
端末の公開設定	179
データ使用量	180
機内モード	180
テザリング	181
モバイルネットワーク	181
位置情報	181
その他の接続設定	181
サウンドとバイブ	182
通知	183
ディスプレイ	184
スクリーンセーバーを設定する	184
壁紙とテーマ	184
高度な機能	185
端末のメンテナンス	185
最適化機能を使用する	185
バッテリーの確認や設定をする	185
ストレージの確認や設定をする	186
不要なデータを削除する	186
microSDメモリカードのマウントを解除する	186
ロック画面とセキュリティ	186
画面ロックの種類を設定する	188
SIMカードロックを設定する	189
クラウドとアカウント	189
アカウント	189
バックアップと復元	190
au設定メニュー	190
ユーザー補助	191
ユーザー補助を利用する	192
一般管理	193
言語とキーボード	193
日付と時刻	193
本製品を初期化する	194
ソフトウェア更新	194
端末情報	194
auのネットワークサービス・海外利用	195
auのネットワークサービスを利用する	196
着信お知らせサービスを利用する	196
着信お知らせサービスについて	196
着信転送サービスを利用する	196
(標準サービス)	196
応答できない電話を転送する	196
(無応答転送)	197
通話中にかかってきた電話を転送する	197
(話中転送)	197
応答できない電話を転送する(国外転送)	197
かかってきたすべての電話を転送する	198
(フル転送)	198
着信転送サービスを遠隔操作する	198
(遠隔操作サービス)	198
発信番号表示サービスを利用する	199
(標準サービス)	199
電話番号を通知する	199
番号通知リクエストサービスを利用する	199
(標準サービス)	199
番号通知リクエストサービスを開始する	200
番号通知リクエストサービスを停止する	200
お留守番サービスEXを利用する	200
(オプションサービス)	200
お留守番サービス総合案内(141)を利用する	201
応答できない電話を転送する	201
(無応答転送)	201
通話中にかかってきた電話を転送する	202
(話中転送)	202
応答できない電話を転送する(国外転送)	202
かかってきたすべての電話を転送する	202
(フル転送)	202
電話をかけてきた方が伝言を録音する	203

ボイスメールを録音する	203
伝言お知らせについて	203
伝言・ボイスメールを聞く	204
応答メッセージの録音／確認／変更 をする	204
伝言の蓄積を停止する（不在通知）	205
伝言の蓄積停止を解除する	205
お留守番サービスを遠隔操作する (遠隔操作サービス)	205
英語ガイダンスへ切り替える	206
日本語ガイダンスへ切り替える	206
三者通話サービスを利用する (オプションサービス)	206
割込通話サービスを利用する (オプションサービス)	207
割込通話サービスを開始する	207
割込通話サービスを停止する	207
割込通話を受ける	207
迷惑電話撃退サービスを利用する (オプションサービス)	208
撃退する電話番号を登録する	208
登録した電話番号を全件削除する	209
通話明細分計サービスを利用する (オプションサービス)	209
海外利用	210
au世界サービスについて	210
海外利用に関する設定を行う	210
データサービス・メッセージサービス の通信料	211
渡航先で電話をかける	212
渡航先で電話を受ける	213
お問い合わせ方法	213
海外からのお問い合わせ	213
サービスエリアと海外での通話料	214
海外で安心してご利用いただくために	214
海外でのご利用上のご注意	215

付録	217
付録	218
ソフトウェアを更新する	218
ソフトウェアをダウンロードして 更新する	218
パソコンに接続して更新する	218
故障とお考えになる前に	219
アフターサービスについて	220
SIMロック解除	222
周辺機器のご紹介	223
利用できるデータの種類	223
主な仕様	224
携帯電話機の比吸収率などについて	225
索引	226
FCC RF exposure information	233
European RF Exposure Information	233
Declaration of Conformity	233
輸出管理規制	233
知的財産権について	233
おサイフケータイ [®] 対応サービス	235
ご利用上の注意	235

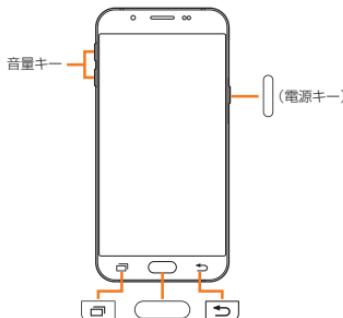
安全上のご注意

本書の表記方法について	10
安全上のご注意（必ずお守りください）	11
取り扱い上のお願い	18
Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について	21
データ通信料についてのご注意	23
アプリケーションについて	23
アプリの権限を設定する	24

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を以下のように簡略化しています。



■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です (▶P.37)。

表記例	意味
ホーム画面で「基本フォルダ」 →「設定」→「一般管理」	ホーム画面で「基本フォルダ」をタップし、表示されるウィンドウで「設定」をタップし、「一般管理」をタップします。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書はau Nano IC Card 04を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

本書に記載されているイラスト・画面は、実際の製品・画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

実際の画面



本書の表記例



memo

◎本書では「microSDTMメモリカード」、「microSDHCTMメモリカード」および「microSDXCTMメモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

◎本書の表記の金額は特に記載のある場合を除き全て税抜です。

◎本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークを省略している場合があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書 詳細版 Android 7.0対応版』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷 ^(※1) を負うことが想定される内容」を示しています。
	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が軽傷 ^(※2) を負うことが想定される内容や物的損害 ^(※3) の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。

	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card 04、周辺機器共通



危険

必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。



高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。



電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。



火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。



お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。



本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

警告

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

-  **ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。**また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ[®]をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。(NFC / おサイフケータイロックを設定されている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。)
-  **金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子、イヤホンマイク端子、コンセントなどに触れないように十分ご注意ください。**感電・発火・傷害・故障の原因となります。
-  **落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。**破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。
-  **屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。**落雷・感電のおそれがあります。
-  **接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。**発熱・火災・故障・感電・やけどの原因となります。
-  **本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。**感電したり、破損部だけがをする場合があります。
-  **本製品または指定の充電用機器（別売）が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災・故障・やけどの原因となります。**
-  **水などの液体をかけないでください。**また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかってしまった場合には直ちに指定の充電用機器（別売）の電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。



自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。交通事故や転倒・転落事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。



乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。



指定の充電用機器（別売）や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差してください。正しい方向で抜き差ししないと、発熱・発火・破損・故障の原因となります。

注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



カメラのレンズに直接日光などを長時間当てないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災・故障の原因となります。



直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・変形・故障の原因となる場合があります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置いたり充電をしないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレーション設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。故障・傷害の原因となります。



本製品を長時間使用したり、外部電源と接続した状態では熱くなることがあります。本製品や指定の充電用機器（別売）に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。また、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。

 本製品を充電する際は、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。たとえば配線などで定を超過すると、発熱による火災の原因となります。

 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

 使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をおやめください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップまたは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。

 イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、少しずつ音量を上げて適度な音量に調節してください。始めから音量を上げすぎて突然大きな音が出来たり、音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

 ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。

■本体について

 **危険** 必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

 本体にくぎをさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしないでください。発火や破損の原因となります。

 ペットが本体に噛みつかないようご注意ください。内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。

!**警告**

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

 航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

 ライトをご使用になる場合は、人の目の前、自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて発光させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

 ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に医師とご相談ください。

!**注意**

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（前面）	ガラス (GG4)	AFコーティング
外装ケース（背面）	アルミニウム	コーティング
スピーカー	SUS	光沢／艶出し仕上げ
リアカメラレンズ周囲部分	アルミニウム	陽極酸化処理
リアカメラレンズ透明カバー部	ガラス	AFコーティング
電源／画面ロックキー、音量キー	アルミニウム	陽極酸化処理
ホームキー／指紋センサー（周囲部分）	SUS	光沢／艶出し仕上げ
ホームキー／指紋センサー（中央部分）	PC	コーティング
ディスプレイ（タッチパネル）	ガラス (GG4)	AFコーティング
ライトパネル	PC	—
ライト装飾部	アルミニウム	陽極酸化処理
受話口装飾部	SUS	光沢／艶出し仕上げ
外装ケース（側面）	アルミニウム	陽極酸化処理
au Nano IC Card 04スロット	アルミニウム	陽極酸化処理
microSDメモリカードスロット	アルミニウム	陽極酸化処理
microUSB接続端子	SUS	ニッケルメッキ
ヘッドセット接続端子	SUS	Cu+Ti
au Nano IC Card 04トレイ	PC	—
microSDメモリカードトレイ	アルミニウム	陽極酸化処理

-  キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。
-  au Nano IC Card 04スロットやmicroSDメモリカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。
-  SC TVアンテナケーブル03、イヤホンなどを持って本製品を振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。
-  心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定にご注意ください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ずお確かめください。



砂浜などの上に直に置かないでください。スピーカー部、外部接続端子、ヘッドセット接続端子などに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

■ 内蔵電池について



（本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。）内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。



危険

必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗った後直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。



内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

■充電用機器について

⚠ 警告

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- ・ ACアダプタ（別売）：AC100～240V
- ※ 指定の充電用機器（別売）をご使用ください。



指定の充電用機器（別売）の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電・発熱・発火・火災・傷害の原因となります。指定の充電用機器（別売）が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。



指定の充電用機器（別売）のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災・傷害の原因となります。



雷が鳴り出したら指定の充電用機器（別売）に触れないでください。落雷による感電の原因となります。



お手入れをするときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。



電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災・やけど・感電の原因となります。



長時間使用しない場合は指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・故障の原因となります。



水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障・傷害の原因となります。万一、液体がかってしまった場合には直ちに充電用機器（別売）の電源プラグを抜いてください。



ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントに接続したままにしないでください。また、指定の充電用機器（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。



指定の充電用機器（別売）のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。

⚠ 注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



風呂場など湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器（別売）を抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。



指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ au Nano IC Card 04について

△ 注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



au Nano IC Card 04の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。



au Nano IC Card 04に損傷を与えるようなこと（高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど）はしないでください。データの消失や故障の原因となります。



au Nano IC Card 04は、直射日光が当たったり高温となる場所やほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。



au Nano IC Card 04は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関でのご使用について

△ 警告

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1.植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。

2.身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。

3.医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

4.医療機関の外で、植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

■ SC TVアンテナケーブル03について

△ 危険

必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



ヘッドセット接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。発熱による火災・故障・やけどの原因となります。

⚠ 警告

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・傷害・電子回路のショートによる故障の原因となります。

⚠ 注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
SC-TVアンテナケーブル03で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
ヘッドセット接続端子 (先端部)	BRASS(C3604)、 POM(F20-03)	ニッケルメッキ(1~5μm)、 金メッキ(0.03μm以上)
ヘッドセット接続端子 (外装)	LDPE737 HFW2290(White)/TPE	—
ケーブル	HAOXIN HFW2290-8006_WHITE	—
接続プラグ(外装)	LDPE737 HFW2290(White)/TPE	—
接続プラグ(先端部)	BRASS(C3604)、 POM(F20-03)	ニッケルメッキ(1~5μm)、 金メッキ(0.03μm以上)

■ SIM取り出し用ピン（試供品）について

⚠ 警告

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



SIM取り出し用ピン（試供品）の先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。

⚠ 注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
SIM取り出し用ピン（試供品）の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
本体	SUS	光沢／艶出し仕上げ



SIM取り出し用ピン（試供品）は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取り扱い上のお願い

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card 04、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかかるないように使用してください。多くのものが詰まつた荷物の中に入れたり、中で重い物の下になつたりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座つたりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
- また、外部機器をmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。また、保管する場合は、周囲温度0℃～45℃の範囲内で保管してください。)
 - ・ 充電用機器
 - ・ 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能ですが、長時間使用する場合は低温やけどの注意が必要です。また、保管する場合は、周囲温度0℃～45℃の範囲内で保管してください。)
 - ・ Galaxy A8本体
 - ・ au Nano IC Card 04 (Galaxy A8本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

- 充電中やテレビ視聴中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますですが異常ではありません。

■ 本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 手袋をしたままでの操作
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ 保護シートやシールなどを貼っての操作
 - ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
- 本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として、「技適マーク  」がau電話本体内で確認できるようになっております。
- 確認方法: ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【端末情報】→【認証情報】に表示されております。
- 本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となつた状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。

- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出しが近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部機器を接続するとときは、microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差してください。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えると、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 近接・照度センサーを指でふさいだり、近接・照度センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に照度センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接・照度センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

- タッチパネル操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。

- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 有機ELディスプレイについて

- 有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示したり、ディスプレイ照明の明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変化する場合があります。これは、有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありません。
- 有機ELディスプレイは非常に高度な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素などが存在することがあります。また見る方向によってじ状の色むらや明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 有機ELディスプレイに直射日光を当てたままにすると故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

■ 内蔵電池について

- 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくとも少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

■ au Nano IC Card 04について

- au Nano IC Card 04の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- ほかのICカードリーダー／ライターなどに、au Nano IC Card 04を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Nano IC Card 04のIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- au Nano IC Card 04にシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたICカードを挿入しないでください。故障の原因になります。

■ SIM取り出し用ピン（試供品）について

- SIM取り出し用ピン（試供品）に無理な力がかかるないようにご使用ください。故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。
- SIM取り出し用ピン（試供品）は本書に記載の使用用途以外また他の携帯端末には使用しないでください。
携帯端末の故障、破損の原因となります。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。

■ 著作権／肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などとすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興演、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

- 撮影した画像などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

■ ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

● 暗証番号

使用例	①お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ②お客様センターフォン応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● 画面ロックの設定

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	スワイプ

● PINコード

使用例	第三者によるau Nano IC Card 04の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

● ロックNo.（NFC／おサイフケータイロック）

使用例	「NFC／おサイフケータイロック」を設定する場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau Nano IC Card 04の無断使用を防ぐため、電源を入れたたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～16桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。

「入力必要」で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Nano IC Card 04が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認証を取得しています。
- 本製品の5GHz帯無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内でご使用ください。本製品の5GHz帯無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができないことがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内の使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

■ 2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth[®]機能／無線LAN (Wi-Fi[®]) 機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客様センターまでご連絡ください。



memo

◎ 本製品はすべてのBluetooth[®]・無線LAN (Wi-Fi[®]) 対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth[®]・無線LAN (Wi-Fi[®]) 対応機器との動作を保証するものではありません。

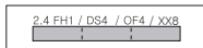
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth[®]・無線LAN (Wi-Fi[®]) の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth[®]・無線LAN (Wi-Fi[®]) によるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎ 無線LAN (Wi-Fi[®]) は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎ Bluetooth[®]・無線LAN (Wi-Fi[®]) 通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ Bluetooth[®]と無線LAN (Wi-Fi[®]) は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth[®]、無線LAN (Wi-Fi[®]) のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth[®]機能および無線LAN（Wi-Fi[®]）機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。



- Bluetooth[®]機能：2.4FH1/XX8

本製品は2.4GHz帯を使用します。FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。XX8はその他の方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。

- 無線LAN（Wi-Fi[®]）機能：2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ 5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN（Wi-Fi[®]）機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

W52 (5.2GHz帯 / 36, 40, 44, 48ch)

W53 (5.3GHz帯 / 52, 56, 60, 64ch)

W56 (5.6GHz帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

IEEE802.11 b/g/n

IEEE802.11 a/n/ac

J52 W52 W53 W56

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへの加入をおすすめします。

- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

※ 無線LAN（Wi-Fi[®]）接続の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないとご利用できない場合があります。

- アプリケーションの中には動作中スリープ状態に入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。

- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「許可しない」／「許可」をタップしてください。

例：テレビを初めて視聴する場合

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【テレビ】

確認画面が表示されます。

2 【許可】

3 画面の指示に従って操作

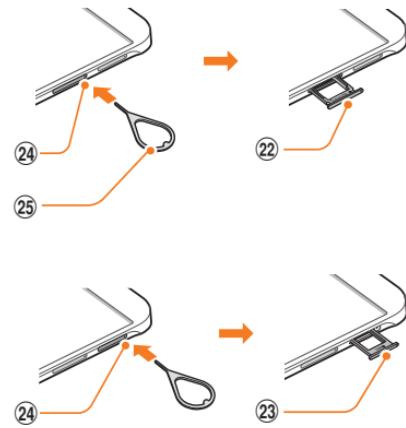
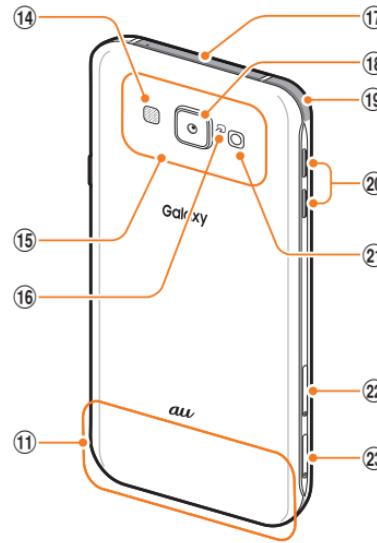
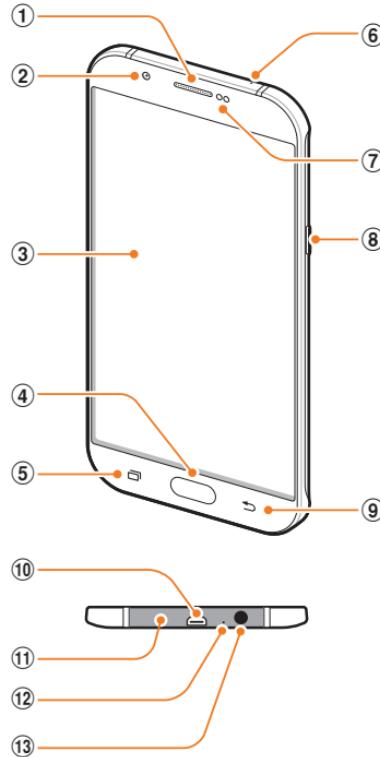


- ◎許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ◎権限の設定を変更するには、ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【アプリ】→設定を変更するアプリをタップ→【権限】→変更する権限の / と操作します。
- ◎アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- ◎本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

ご利用の準備

各部の名称と機能	26
au Nano IC Card 04について	28
au Nano IC Card 04を取り付ける／取り外す	29
充電する	31
電源を入れる／切る	33

各部の名称と機能



- ① **受話口**
通話中の相手の声などが聞こえます。
- ② **フロントカメラ**
自分を撮影するときなどに使用します。
- ③ **ディスプレイ（タッチパネル）**
- ④  **ホームキー／指紋センサー**
ホーム画面に戻ります。1秒以上押すと、「Googleアシスタント」を起動します。また、指紋認証に使用します。
- ⑤  **履歴キー**
最近使用したアプリケーションの一覧を表示します。ロングタッチすると分割画面表示を開始できます。
- ⑥ **送話口／マイク（上部）*1**
上部の送話口／マイクは、通話時やハンズフリー通話時に動作します。
- ⑦ **近接・照度センサー*2**
顔などの接近や周囲の明るさを検知して、ディスプレイの表示を消したり、明るさを自動調整します。
- ⑧  **電源／画面ロックキー**
1秒以上押して電源を入れます。
電源が入っているときに押すと画面ロックを設定できます。1秒以上押すと電源OFFや再起動、緊急時長持ちモードのオン／オフができます。
- ⑨  **バックキー**
アプリケーションを終了したり、1つ前の画面に戻したりします。また、アプリケーションによっては、ロングタッチするとメニューが表示されます。
- ⑩ **microUSB接続端子**
- ⑪ **LTE内蔵アンテナ部*3**
- ⑫ **送話口／マイク（下部）*1**
下部の送話口／マイクは、通話時やハンズフリー通話時、録音時、Sボイスなどの音声認識時に動作します。
- ⑬ **ヘッドセット接続端子**
イヤホンなどを接続する直径3.5mmの接続端子です。
- ⑭ **スピーカー**
着信音や、ハンズフリー通話中に相手の声などが聞こえます。
- ⑮ **NFC／Felicaアンテナ*3**
- ⑯  **マーク**
おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。
IC通信で、データの送受信を行います。
- ⑰ **GPS／LTE内蔵アンテナ部*3**
- ⑱ **リアカメラ**
静止画や動画を撮影します。
- ⑲ **Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ部*3**
- ⑳ **音量／シャッターキー**
着信音量やメディア再生音量などを調節します。
静止画や動画を撮影中は、シャッターとして機能します。
- ㉑ **ライト**
静止画や動画の撮影時に点灯します。
- ㉒ **microSDメモリカードスロット**
microSDメモリカードトレイには「microSD●」と印字されています。
- ㉓ **au Nano IC Card 04スロット**
au Nano IC Card 04トレイには「SIM●」と印字されています。
- ㉔ **トレイイジェクトホール**
au Nano IC Card 04スロットおよびmicroSDメモリカードスロットを取り出すためにSIM取り出し用ピン（試供品）を挿入する穴です。
- ㉕ **SIM取り出し用ピン（試供品）**

*1 該当の機能利用中に、送話口／マイク（上下2箇所）を指などでふさがないようご注意ください。また破損の原因となるため、SIM取り出し用ピン（試供品）を挿さないでください。

*2 近接・照度センサーは、保護シートなどでふさがないようにしてください。機能が正常に動作しない場合があります。

*3 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手をおおうと、通話／通信の品質に影響を及ぼす場合があります。



◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。背面カバーを無理に取り外そうとすると、破損や故障に原因となります。

◎ 電池は本体に内蔵されており、お客様による取り外しはできません。

◎ 強制的に再起動する場合は、「電源を入れる／切る」（▶P.33）をご参照ください。

au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04にはお客様の電話番号などが記録されています。

本製品はau Nano IC Card 04に対応しております。

au Nano IC Card 04

(裏面) (表面)



IC(金属)部分



- ◎ au Nano IC Card 04を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ au Nano IC Card 04のIC（金属）部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ au Nano IC Card 04を正しく取り付けていない場合やau Nano IC Card 04に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したau Nano IC Card 04はなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card 04を挿入しないでください。故障の原因となります。
- ◎ au Nano IC Card 04の取り付け／取り外しには、付属のSIM取り出し用ピン（試供品）が必要です。
- ◎ 付属のSIM取り出し用ピン（試供品）を、トレイイジェクトホール以外の穴などに挿入しないでください。また、本書に記載の用途以外に使用しないでください。

■ au Nano IC Card 04が挿入されていない場合

au Nano IC Card 04が挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、が表示されます。

- ・ 電話をかける^{*1}／受ける
- ・ SMSの送受信
- ・ Eメール (@ezweb.ne.jp) の初期設定および送受信
- ・ PINコード設定
- ・ 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

*1 110（警察）・119（消防機関）・118（海上保安本部）への緊急通報や157（お客さまセンター）への発信もできません。ただし、110（警察）・119（消防機関）・118（海上保安本部）への緊急通報は海外でGSM／UMTS／LTEネットワークを利用中で電波の強さが「圏外」以外の場合は、発信可能な場合があります（緊急通報番号は国によって異なるため、発信してもつながらない場合もあります）。

■ PINコードによる制限設定

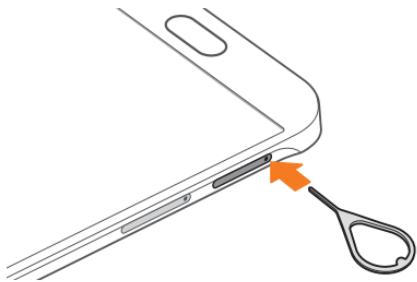
au Nano IC Card 04をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードロック設定により他人の使用を制限できます（▶P.189「SIMカードロックを設定する」）。

au Nano IC Card 04を取り付ける／取り外す

au Nano IC Card 04の取り付け／取り外しは、本製品の電源を切つてから行ってください。

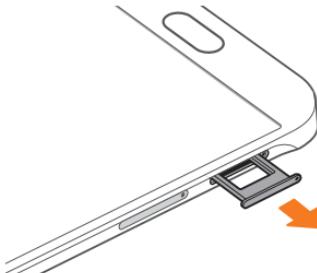
au Nano IC Card 04を取り付ける

- 1 SIM取り出し用ピン（試供品）の先端をau Nano IC Card 04のトレイイJECTホールにまっすぐ差し込むau Nano IC Card 04トレイが少し出ます。
・まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。



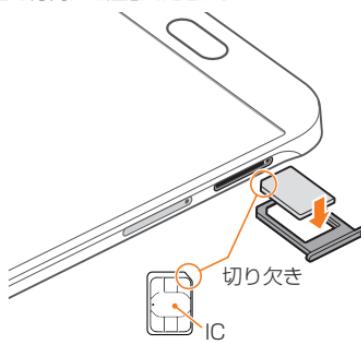
2 au Nano IC Card 04トレイをまっすぐ引き出す

- au Nano IC Card 04トレイには「SIM●」と印字されています。

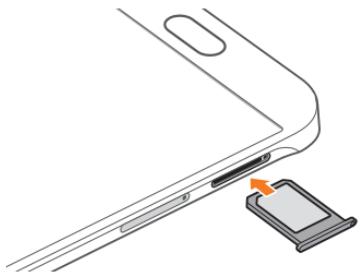


3 au Nano IC Card 04のIC（金属）面を下にしてau Nano IC Card 04トレイにはめこむ

- 切り欠きの方向にご注意ください。

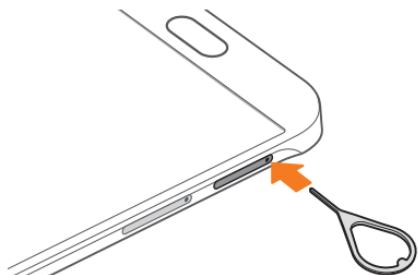


- 4 図の向きでau Nano IC Card 04スロットの奥までau Nano IC Card 04トレイをまっすぐ差し込む
- au Nano IC Card 04トレイの上下を逆にすると、au Nano IC Card 04が落下するおそれがあります。

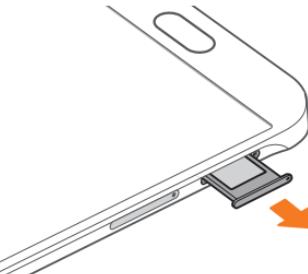


au Nano IC Card 04を取り外す

- 1 SIM取り出し用ピン（試供品）の先端をau Nano IC Card 04のトレイイジェクトホールにまっすぐ差し込む
au Nano IC Card 04トレイが少し出ます。
- まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

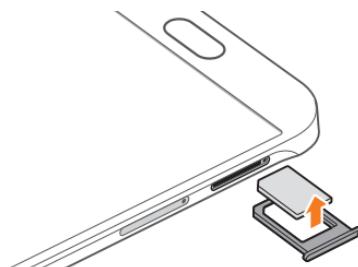


- 2 au Nano IC Card 04トレイをまっすぐ引き出す
- au Nano IC Card 04トレイには「SIM●」と印字されています。

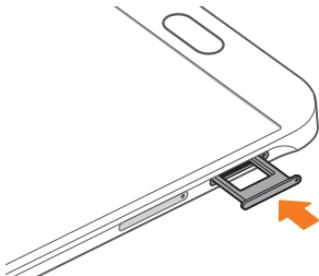


- au Nano IC Card 04トレイの上下を逆にすると、au Nano IC Card 04が落下するおそれがあります。

- 3 au Nano IC Card 04トレイからau Nano IC Card 04を取り出す



4 図の向きでau Nano IC Card 04スロットの奥までau Nano IC Card 04トレイをまっすぐ差し込む



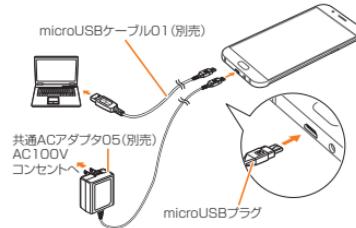
充電する

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

ご利用可能時間

連続待受時間	約520時間
連続通話時間	約1370分

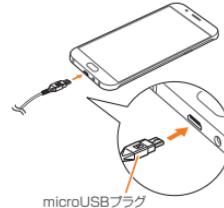
※ 日本国内ご利用の場合の時間です。海外ご利用の場合の時間については、「主な仕様」(▶P.224) をご参照ください。



microUSBプラグの差し込みかた

microUSBケーブル01 (別売) を使って充電する場合

下図のように本製品のmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込んでください。



誤った接続を行うと、本製品への重大な損傷を招くおそれがあります。
誤った接続による損傷は、補償の対象外となりますのでご注意ください。



memo

- ◎ 共通ACアダプタ03／05（別売）はAC100VからAC240Vまで対応しています。海外で充電する場合は、必ず共通ACアダプタ03／05（別売）をご使用ください。
- ◎ 充電の状態やバッテリー残量は、ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【端末情報】→【バッテリー情報】と操作すると確認できます。
- ◎ 充電中、本体が温くなることがありますが異常ではありません。
- ◎ パソコンを使って充電したり、カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなることがあります。
- ◎ アプリケーションや機能などのご利用状況により、内蔵電池の使用時間が短くなることがあります。
- ◎ 本製品は急速充電に対応しています。急速充電は電源OFFの状態か、画面のバックライトが消灯している状態で行うことができます。ただし、通話中は画面が消灯していても急速充電はされません。
- ◎ 電池残量が50%以上の場合、急速充電による充電速度が遅くなることがあります。

指定のACアダプタ（別売）を使って充電する

充電には指定のACアダプタ（別売）が必要です。ここでは、共通ACアダプタ05（別売）を使って充電する方法を説明します。

- ・ 指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器のご紹介」（▶P.223）をご参照ください。

充電時間は共通ACアダプタ05（別売）使用時、約110分です

1 共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグの刻印面を上にして、本製品のmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込む

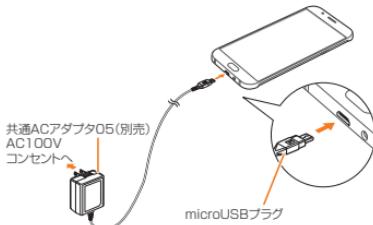
2 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

ステータスバーに が表示されます。

充電が完了すると、ステータスバーに が表示されます。

- ・ 電源OFFの状態で充電を開始すると、充電の状態を表すアニメーションが一定時間表示されます。画面が消えた後も、 / を押すことで再度表示されます。

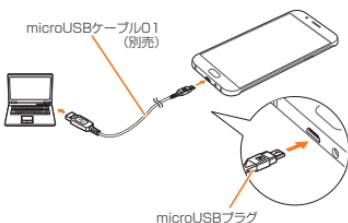
3 充電が終わったら、共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグを本製品からまっすぐ引き抜き、電源プラグをコンセントから抜く



パソコンを使って充電する

microUSBケーブル01（別売）とパソコンを使って充電することができます。接続方向をよくご確認のうえ、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

- 1 microUSBケーブル01（別売）のmicroUSBプラグの刻印面を上にして、本製品のmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込む
- 2 microUSBケーブル01（別売）のUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む
ステータスバーに  が表示されます。
充電が完了すると、ステータスバーに  が表示されます。
- 3 充電が終わったら、microUSBケーブル01（別売）を本製品とパソコンから取り外す



memo

◎充電中に画面のバックライトが消灯した場合は、 /  を押すとロック画面が表示されます。充電状態は、画面に表示される「充電中：XX%」で確認できます。また、バックライトが消灯中に充電が完了すると、ロック画面に「充電完了」、ステータスバーに  が表示されます。

電源を入れる／切る

電源を入れる

- 1  を1秒以上長押し

ロック画面が表示されます。画面ロックを解除（▶P.34）してください。

memo

- ◎電源を入れたとき、画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- ◎初めて電源を入れたときは初期設定画面が表示されます。初期設定について、詳しくは『設定ガイド Android 7.0対応版』をご参照ください。
- ◎「画面ロックの種類」（▶P.188）で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。

電源を切る

- 1  を1秒以上長押し

端末オプション画面が表示されます。

- 2 [電源OFF] → [電源OFF]

強制的に再起動する

通常の方法で電源が切れなくなったり、画面が動かなくなったりした場合は強制的に再起動することができます。

- 1  と音量キーの下側を同時に7秒以上長押し

memo

- ◎強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

セーフモードで起動する

動作不安定などの問題が生じたときは、診断用の起動モード「セーフモード」で起動します。

1 〔電源キー〕を1秒以上長押し

2 auのロゴが消えたあと音量キーの下側を押し続ける

セーフモードが起動すると画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。

- セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。



- 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
- お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
- セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。

画面ロックを設定する

画面ロックを設定すると、画面のバックライトが消灯し、キーやタッチパネルの誤動作を防止できます。

また、本製品では、設定した時間が経過すると、自動的に画面のバックライトが消灯して約5秒後に画面ロックがかかります。

1 画面表示中に〔電源キー〕

バックライトが消灯し、画面ロックが設定されます。

〔電源キー〕/〔〕を押すとバックライトが点灯し、ロック画面が表示されます。



- 「画面のタイムアウト」(▶P.184) でバックライトが消灯するまでの時間を変更できます。
- 画面ロックを無効にする設定はありません。
- 本製品をかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、誤操作防止のため、必ず画面ロックを設定してください。また、かばんなどの内で本製品の〔電源キー〕や〔〕が押されないようにしてください。

画面ロックを解除する

ロック画面は、電源を入れたときや、〔電源キー〕/〔〕を押してバックライトを点灯させたときに表示されます。

1 画面ロック中に〔電源キー〕/〔〕

2 画面を上下左右にスワイプ



- 「画面ロックの種類」(▶P.188) で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。解除方法を「なし」に設定している場合は、ロック画面は表示されません。

Googleアカウントの設定をする

本製品にGoogleアカウントを設定すると、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスを利用できます。Googleアカウントの設定画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

1 アカウントの追加画面→【メールアドレスまたは電話番号】／【または新しいアカウントを作成】

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「メールアドレスまたは電話番号」をタップし、メールアドレスを入力して「次へ」をタップします。以降は、画面の指示に従って設定してください。

Googleアカウントをお持ちではない場合は「または新しいアカウントを作成」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。



- ◎ Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますか。Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になられません。
- ◎ ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

au IDを設定する

au IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「au かんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。au IDの設定について、詳しくは『設定ガイド Android 7.0対応版』をご参照ください。

1 アプリ一覧画面で【au】→【au ID 設定】

2 【au IDの設定・保存】→暗証番号を入力→【OK】

3 画面の指示に従って操作し、au IDを設定

au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定してください。

Galaxyアカウントの設定をする

「端末リモート追跡サービス」(▶P.187) やGalaxy Apps (▶P.143) の一部の機能など、Galaxyサービスを利用するには、あらかじめ Galaxyアカウントの設定を行う必要があります。

Galaxyアカウントの設定は、Galaxyアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

・リモートコントロールはFind My Mobile (端末リモート追跡) から操作できます。

Find My Mobile (端末リモート追跡) の詳細については、以下のホームページをご参照ください。

<http://findmymobile.samsung.com/login.do>

1 Galaxyアカウントの設定画面→【アカウントを作成】

Galaxyアカウントをすでにお持ちの場合は【サインイン】→メールアドレスとパスワードを入力→【サインイン】と操作してください。

2 必要な項目を入力・設定→【次へ】

3 「利用規約」などの内容を確認しチェックを入れる→【同意する】

4 画面の指示に従って操作し、アカウントを認証する



- ◎ 設定したGalaxyアカウントのパスワードは、「リモートコントロール」を解除するときなどに必要になります。メモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけてください。

基本操作

基本操作	37
タッチパネルの使いかた.....	37
高度な機能の使いかた.....	38
ホーム画面を利用する.....	40
分割画面表示で表示する.....	42
アブリーライブ画面を利用する.....	43
本製品の状態を知る.....	47
クイック検索ボックスを利用する.....	49
BRIEFINGを利用する.....	49
緊急時長持ちモードを有効にする.....	50
基本的な操作を覚える.....	50
指紋認証機能を利用する.....	53
文字入力	55
文字を入力する.....	55
文字列を選択／切り取り／コピー／貼り付ける.....	57
文字入力の設定をする.....	57

基本操作

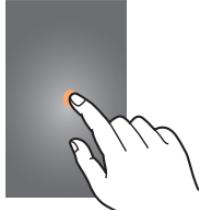
タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先がとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
- 次の場合タッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたまでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に載せたまでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼っての操作
 - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作

■タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



■ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。

■スライド

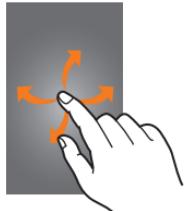
画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



■フリック（スワイプ）

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

- 最初はゆっくりと、最後は軽くはらうように指を動かしてください。



■ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。



■ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



高度な機能の使いかた

本製品を動かす（モーション）、ディスプレイ上でスワイプやタップするなどの動作で、次の操作ができます。

- 高度な機能を利用する前に、ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【高度な機能】→利用する高度な機能をオンにしてください。

※一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。

■スマートステイ

フロントカメラで本製品の画面を見ていることを検出すると、画面のタイムアウトが無効になるように設定します。

■片手モード

「片手モード」をオンにし、「画面表示サイズの縮小方法」で「ジェスチャー」を選択すると、画面の右下または左下から斜め上にスワイプして、画面サイズを縮小することができます。「ボタン」を選択すると、□を素早く3回タップして、画面サイズを縮小することができます。

■カメラをクイック起動

□を素早く2回押してカメラを起動します。

■マルチウィンドウ

使用中のアプリを、スワイプでポップアップ表示にしたり、□をリングタッチして分割画面表示（▶P.42）にしたりできるようにします。

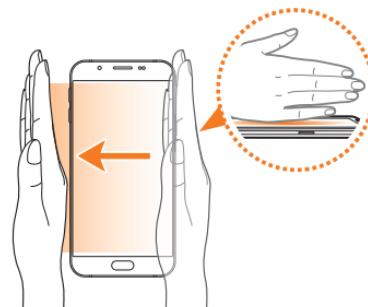
■スマートキャプチャ

画面キャプチャ後に、「スクロールキャプチャ」、「ペン」、「トリミング」、「共有」が表示されるようになります。画面の非表示領域をキャプチャしたり、画面キャプチャを共有またはトリミングすることができます。



■スワイプキャプチャ

手の側面で画面上を右から左、または左から右にスワイプすると、画面の表示内容を画像として保存します。



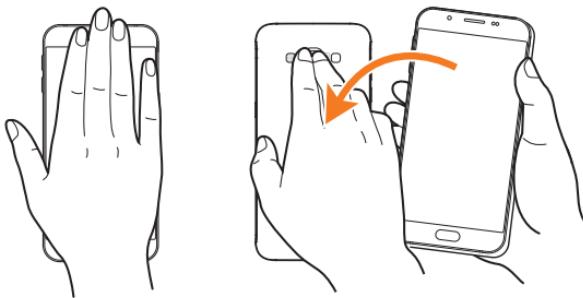
■スマートアラート

不在着信がある状態で、画面の表示が消えているときに本製品を持ち上げると振動して通知します。



■簡単に消音

着信音やアラームの鳴動中などに、手のひらでタッチするか本製品を伏せると、消音します。



■スワイプして発信／メッセージ送信

「ダイヤル」または「連絡先」アプリで、連絡先または電話番号をスワイプして発信やメッセージ送信を行うかどうかを設定します。

■デュアルメッセージセンター

同じアプリをそれぞれ個別のアカウントで使用します。

ホーム画面にはもう1つのアプリアイコンが表示されます。

デュアルメッセージセンターが利用可能なアプリはデュアルメッセージセンター画面に記載されているアプリのみです。

■SOSメッセージを送信

設定した送信先に緊急メッセージを送信できます。

■Direct share

共有パネルから、ダイレクトに特定の相手とコンテンツを共有できます。



◎ 暗い色の手袋などを着用したり、センサーの認識範囲外でジェスチャー動作をした場合は、センサーの特性によりジェスチャー機能が正しく動作しない場合があります。

◎ 端末本体に過度な動き（揺れ、衝撃など）を与えた場合、センサーの特性によってモーション機能が正しく動作しない場合があります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にフリック(▶P.37)すると切り替えることができます。□を押すと、いつでもホーム画面を表示することができます。



- ① **ウィジェット**
タップすると起動や操作ができます。
- ② **ダイヤルアイコン**
タップすると電話が起動します。
- ③ **ホーム画面の位置**
現在表示中の位置が表示されます。



- ◎ 本書では、ホーム画面をTouchWizホームの状態で説明しています。ホーム画面は、TouchWizかんたんホームやauベーシックホームに切り替えられます(▶P.42「ホーム画面を切り替える」)。
- ◎ ホーム画面で画面を上下にフリックすると、アプリ一覧画面(▶P.43)が表示されます。

ホーム画面をカスタマイズする

■ ショートカット／ウィジェットを追加する

ホーム画面にアプリケーションやブックマークなどのショートカットや、ウィジェットを追加できます。

ウィジェットとは、ホーム画面に追加して利用できるアプリケーションです。

- ・ ブックマークのショートカットを追加する方法はアプリケーションごとに異なります。

1 ホーム画面でアイコンのない壁紙部分をロングタッチ

- ・ アプリケーションのショートカットを追加する場合は、ホーム画面で画面を上下にフリックし、手順③へ進みます。

2 [ウィジェット]

3 ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチ

- ・ ウィジェットによっては、▶をタップ→ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチと操作します。
- ・ アプリケーションのショートカットを追加する場合は、ホーム画面に追加したい項目のアイコンをロングタッチします。

4 ウィジェット／ショートカットアイコンを追加したい位置までドラッグして指を離す

データの選択や設定の画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

- ・ ウィジェット／ショートカットアイコンをホーム画面の左端／右端までドラッグすると、他のページに移動できます。
- ・ サイズを変更できるウィジェットの場合は、サイズ調節の枠が表示されます。枠をドラッグしてサイズを変更することができます。

■ フォルダを追加する

- 1 ホーム画面でフォルダにしたいアイコンをロングタッチ
- 2 フォルダとしてまとめたいアイコンまでドラッグして指を離す
- 3 フォルダ名を入力→ [完了]

■ ショートカット／ウィジェット／フォルダを移動／削除する

ホーム画面に追加したショートカットやウィジェット、フォルダの表示位置を変更したり、削除したりできます。

- 1 ホーム画面で移動したいアイコンをロングタッチ
- 2 アイコンを移動したい位置までドラッグして指を離す
 - ・アイコンをホーム画面の左端／右端までドラッグすると、他のページに移動できます。
 - ・アイコンをロングタッチ→ [ショートカットを削除] / [削除] / [フォルダを削除] と操作すると、アイコンを削除できます。



- ◎ ホーム画面に追加したアプリケーションのショートカットを削除しても、アプリケーションそのものを削除（アンインストール）するわけではありません。ただし、アイコンをロングタッチ→ [アンインストール] → [OK] と操作すると、アプリケーションを削除できます。

■ ホーム画面を並べ替える

ホーム画面の位置を入れ替えたり、追加／削除したりできます。

■ ホーム画面を並べ替える場合

- 1 ホーム画面でアイコンのない壁紙部分をロングタッチ
ホーム画面がサムネイル表示されます。
- 2 移動したいホーム画面を選択してサムネイルをロングタッチ→移動したい位置までドラッグして指を離す

- ・ホーム画面のサムネイルの をタップすると、ホーム画面を削除できます。
- ・ホーム画面のサムネイルに「+」が表示されている場合は、タップするとホーム画面を追加できます。



◎ をタップすると、標準ホーム画面（ を押したときに表示されるホーム画面）を切り替えることができます。

◎ BRIEFINGの / をタップすると、BRIEFINGの表示／非表示を切り替えることができます。

ホーム画面を切り替える

■auベーシックホームに切り替える

auベーシックホームは、スマート操作で共通化したau提供のホームアプリです。

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【アプリ】
→【⋮】→【標準アプリ】

2 【ホーム画面】→【auベーシックホーム】→□

ホーム画面が切り替わります。

- 初めて起動したときは利用規約などに同意する必要があります。画面の指示に従って操作してください。
- 元のホーム画面に戻す場合は、ホーム画面で【設定】→【アプリ】→【⋮】→【標準アプリ】→【ホーム画面】→【TouchWizホーム】→□と操作します。

かんたんモードに切り替える

スマートフォン初心者でも使いやすいように、よく使う連絡先や設定などを大きなアイコンでホーム画面に表示することができます。

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【ディスプレイ】
→【かんたんモード】

2 【かんたんモード】→【適用】

ホーム画面が切り替わります。

- 元のホーム画面に戻す場合は、ホーム画面で【設定】→【ディスプレイ】→【かんたんモード】→【標準モード】→【適用】と操作します。

分割画面表示で表示する

2つの画面を表示したり、ポップアップで異なるアプリを同時に使用することができます。

対応している画面を表示した状態で□をロングタッチすると分割画面表示を開始できます。対応していない画面を表示している場合は、分割画面表示で起動するアプリを選択する画面が表示されます。
※一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。



①

① 選択しているウィンドウ



- ① →表示されるアプリケーションのウィンドウのタイトルバー右上の□をタップすると、分割画面表示を開始できます。
- をタップすると□(ウィンドウの切り替え)／□(ポップアップウィンドウで起動)が表示されます。
- ポップアップ画面では、□(ウィンドウを最小化)／□(ウィンドウを最大化)／×(アプリを終了)が表示されます。
- を上下にドラッグすると表示領域を調整できます。

アドバイス画面を利用する

アドバイス画面には、本製品にインストールされているアプリケーションのアイコンが表示され、アイコンをタップしてアプリケーションを起動できます。

- ・ アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

アドバイス画面を表示する

1 ホーム画面を上下にフリック

アドバイス画面が表示されます。

- ・ 1画面に収まらない場合は、左右にフリック (▶P.37) すると、画面を切り替えられます。

■主なアプリケーションの種類

アプリケーション	概要	ページ
ダイヤル	電話の発信／着信、通話履歴などを表示します。	P.59
連絡先	連絡先を管理します。	P.118
SMS	SMSを送受信します。	P.101
ブラウザ	インターネットに接続します。	P.113
ギャラリー	静止画や動画を閲覧します。	P.126
カメラ	静止画を撮影、動画を録画します。	P.121
ミュージック	音楽を再生します。	P.128
ビデオ	動画を再生できます。	P.127
テレビ	テレビを視聴します。	P.130
Eメール	PCメール（複数のアカウントを使用可）を利用できます。	P.105
電卓	基本的な計算ができます。	P.157
時計	アラームの設定や時計などを表示します。	P.155
マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示・管理できます。	P.164
ボイスレコーダー	音声を録音できます。	P.143
カレンダー	スケジュールを管理できます。	P.141
メモ	テキストのメモを作成できます。	—
辞書	辞書を利用して単語を調べることができます。	P.144
Sボイス	音声コマンドで端末を操作します。	P.144
Galaxy Apps	役に立つアプリケーションのダウンロードや、インストールしたアプリケーションのアップデートができます。	P.143
設定	本製品の各種設定を行います。	P.179
おサイフケータイ	本製品をリーダー／ライターにかざすだけで、電子マネーでのショッピングやクーポン情報の取得などができます。	P.145
取扱説明書	本製品の取扱説明書を表示します。	P.1
Playストア	Google Playからアプリケーションをダウンロード／購入します。	P.136

アプリケーション	概要	ページ
Play Music	音楽を再生したり、Google Playミュージックを利用できます。	—
Google	本体内やウェブ上の検索を行います。	P.49
Chrome	インターネットに接続します。	—
Gmail	Gmailを利用します。	P.110
マップ	現在地の確認／他の場所の検索／経路の検索などを行えます。	P.139
YouTube	YouTubeで動画を再生します。	P.138
ドライブ	画像や動画などをGoogle ドライブに保存したり、共有したりすることができます。	—
Playムービー＆TV	Google Playの映画やテレビ番組をレンタルしたり、本製品に保存した動画を再生したりできます。	—
ハングアウト	写真や絵文字、ビデオハングアウトなどを使って会話を楽しめるコミュニケーションツールです。	P.139
フォト	写真や動画を閲覧できます。Google フォトにログインして、バックアップすることができます。	—
Word	Android向けのMicrosoft Wordアプリです。	—
Excel	Android向けのMicrosoft Excelアプリです。	—
PowerPoint	Android向けのMicrosoft PowerPointアプリです。	—
OneNote	タスク一覧、講義や会議のノート、休暇の計画など、整理しておきたいことや覚えておきたいことをすべて記録できるデジタルノートブックです。	—
OneDrive	ファイルや写真をOneDriveに保存すれば、スマートフォン、タブレット、PCからアクセスして共有できます。	—
Eメール	Eメール (@ezweb.ne.jp) の送受信ができます。	P.70
au ID 設定	au IDを設定します。	P.35

アプリケーション	概要	ページ
au Market	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。	—
Player (LISMO)	うたパスアプリをより便利にお楽しみいただくための音楽アプリです。	—
auテレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにテレビ連携や遠隔録画予約機能がご利用いただけます。	P.133
Wowma! for au	日用品・グルメ・ファッショングから家電まで2800万品の品ぞろえからお買い物が楽しめるau公式のショッピングアプリです。	—
スクリーンショットシェア	表示中の画面を、カンタンな操作で撮影、保存することができます。 撮影したスクリーンショットにスタンプを押したり編集して、Facebook・TwitterなどのSNSやEメールで友達と共有できます。 ※ メジャーアップデート (OS更新)により、スクリーンショットシェアの一部機能が利用できなくなります。画像の編集・保存、Facebook・TwitterなどのSNSやEメールで共有する機能は、今まで通りご利用いただけます。	—
NFCメニュー	NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行なうことができます。	P.148
リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。	P.154
Lookout for au	端末を紛失したり、盗難にあったときにKDDIオペレーターがリモートで端末の位置検索やロックをかけることができるアプリです。	P.153

アプリケーション	概要	ページ
デジラアプリ	データ通信の残データ容量を手軽に確認できます。 データ容量が少なくなった際は追加購入(チャージ)ができます。 auおすすめコンテンツ(映画、コミックなど)も無料で楽しめます。	—
au Wi-Fi接続ツール	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。	P.157
ゲームギフト*	大人気ゲームのギフト配信を中心に、攻略情報や新作ゲーム事前登録情報、先行プレイなど、様々なお得を提供するアプリです。	—
ナビウォーク*	乗物・歩徒を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。	—
あんしんフィルター for au	お子さまが「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。	P.150
SATCH	QRコードやバーコードを読み取ることができます。その他、ARを楽しむことができます。ARとは対象物をカメラにかざして、動画やCGなどを表示できる機能です。アプリ内のキャンペーンページの案内に沿ってお楽しみください。	P.158
データお預かり	写真やアドレス帳などスマートフォンに保存されている様々なデータをauのサーバに預けたり、SDカードに保存したりするアプリです。 機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。	P.168

アプリケーション	概要	ページ
故障紛失サポート	スマートフォンの調子が悪いときのトラブル診断やかんたん検査、簡単操作で故障紛失サポートセンターへ電話相談、インターネットでの交換申込、データ移行をトータルにサポートするアプリです。	P.220
サービスTOP	ニュース、天気、乗換案内などはもちろん、プレゼントやクーポン、auのスマートフォンを楽しむためのお得で便利な情報をお届け。	P.154
ビデオバス	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品が見放題でお楽しみいただけます。	—
うたバス	最新J-POPやカラオケ人気曲、アニソン、洋楽など3000以上のプレイリストが聴ける「聴き放題」と、楽曲を購入してダウンロードし再生できる「音楽プレイヤー」を持ったアプリです。	—
ブックバス	雑誌・コミック・小説など多くの電子書籍を楽しむことができます。	—
Disney pass	ディズニー公式の壁紙、きせかえ、動画などが使い放題の月額サービス。au限定のコンテンツや、映画観賞券、グッズのプレゼントなど、お得な会員特典もあります。その他にも、au限定デザインのカバーもご用意。カバーに同梱のディズニーパス・カードからご登録いただくと、ディズニーパスが無料で楽しめます。	—
au WALLET	au WALLETをより便利に使いこなすためのアプリです。 au WALLETプリペイドカードへのチャージやカード残高の確認、au WALLETクレジットカードの請求額の確認、auかんたん決済の情報の確認、ポイントの残高・お買い物履歴・特典の確認などをご利用いただけます。	—

アプリケーション	概要	ページ
au WALLET Market	au WALLET Marketは、日常生活をより豊かにする「こだわりのもの」をお店でもネットでも気軽にご購入いただける、「お買い物上手」なショッピングサービスです。	—
auお客さまサポート	au電話の契約内容や日々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。	P.152
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報、特別警報）、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。	—
Facebook	友達の近況チェックや写真・動画のアップロード、知り合いやグループとのメッセージのやりとりができる無料の『実名制』コミュニケーションアプリです。	—

※ 簡単にダウンロード／アップデート（更新）できるショートカットアプリです。利用するにはダウンロード／インストールが必要です。



- ◎アプリ一覧画面には、いくつかのフォルダ内にまとめられているアプリケーションもありますが、表ではフォルダを示していません。
- ◎「取扱説明書」アプリケーションを利用すると、さまざまな機能の操作方法や設定方法を確認できます。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードしてインストールしてください。
- ◎ショートカットアプリを利用してインストールすると、名前が変更されたり、表示位置が移動される場合があります。
- ◎本製品を初期化しても、プリセットされているアプリケーションは削除されません。

アプリ一覧画面をカスタマイズする

アプリ一覧画面に表示されるアイコンの並べ替えができます。

1 アプリ一覧画面で任意のアイコンをロングタッチ→移動したい位置までドラッグして指を離す

- ・アプリ一覧画面の左端／右端までドラッグすると、アイコンを他のページに移動できます。
- ・アイコンをロングタッチして、表示される「アンインストール」や「無効」をタップすると、アプリケーションをアンインストールしたり、無効にしたりすることができます。フォルダの場合はフォルダをロングタッチして、表示される「フォルダを削除」をタップするとフォルダのみが削除され、フォルダ内のアプリケーションはアンインストールされません。

本製品の状態を知る

画面上部のステータスバーには本製品の状態を示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側には不在着信や新着メール、実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。



アイコンの見かた

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	着信中／発信中／通話中
	不在着信あり
	新着Gmailあり
	新着PCメールあり
	新着Eメール (@ezweb.ne.jp) あり
	サーバーにメールあり
	Eメール (@ezweb.ne.jp) の送信失敗あり
	新着SMSあり／お留守番サービスの伝言お知らせ・着信お知らせサービスの着信お知らせあり
	伝言メモ機能自動応答設定中
	伝言メモの録音メッセージあり
	データダウンロード中／完了
	データアップロード中／完了
	アラーム通知あり
	Sプランナーの通知あり
	エラーメッセージあり
	Google Playからインストール済みアプリケーションのアップデート通知
	アプリケーションのインストール完了
	ソフトウェア更新設定

アイコン	概要
	Googleマップのナビ起動中
	VPN接続中
	USBテザリング機能オン
	Wi-Fi®テザリング機能をオン
	Bluetooth®テザリング機能有効
	テザリング機能を2つ以上同時にON
	Player (LISMO)で音楽再生中
	テレビ起動中
	緊急速報メールあり
	スクリーンショット完了
	非表示の通知情報あり
	「通知をミュート」設定中



◎通知アイコンには、複数件の通知があったことを示す、アイコンが重なったデザインで表示されるものもあります。

■主なステータスアイコン

アイコン	概要	ページ
	電波の強さ	—
	電波の強さ (海外利用中)	—
	4G (LTE / WiMAX 2+) データ通信状態*	—
	4G (LTE / WiMAX 2+) データ使用可能	—
	4G (LTE / WiMAX 2+) データ通信中	—
	無線LAN (Wi-Fi) 通信状態	P.170
	無線LAN (Wi-Fi) 使用可能	—
	無線LAN (Wi-Fi) 通信中	—
	Bluetooth 機能オン	P.173
	Bluetooth デバイスと接続中	P.174
	Wi-Fi Direct機能で接続中	P.173
	機内モード設定中	P.180
	マナーモード (バイブ) 設定中	P.183
	マナーモード (サイレント) 設定中	P.183
	電池レベル状態	—
	100% / 充電中	—
	アラーム設定中	P.155
	NFCのReader/Writer, P2PがON	P.148
	NFC / おサイフケータイ ロック設定中	P.147
	位置情報測位中	—

* 「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況などに応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

■通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されているときは、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、通知の概要を確認できます。また、通知パネルのアイコンをタップして機能を設定したり、通知情報などを確認したりすることができます。通知パネルの「—」(③)を下にドラッグすると、すべてのクリック設定が表示されます(右図)。

1 ステータスバーを下にスライド



- ① 日付と時刻が表示されます。
- ② 各種機能のオン／オフを切り替えます(クリック設定ボタン)。「—」(③)を下にドラッグすると、表示されていないアイコンを表示できます。
- ③ 下にドラッグするとすべてのクリック設定が表示されます。
- ④ 進行中情報や通知情報が表示されます。
- ⑤ 通知をブロックするアプリを選択します。
- ⑥ 設定メニュー画面が表示されます。
- ⑦ 通知情報(お知らせ)の表示を消去します。
 - 通知情報の種類によっては、消去できない場合があります。
- ⑧ 接続中のネットワークの通信事業者名が表示されます。
 - 上にスライドすると通知パネルを閉じます。
- ⑨ ディスプレイの明るさを調整します。



- ◎ 通知内容によっては消去できない場合があります。
- ◎ クイック設定ボタンは、オンに設定されている場合は青色で表示されます。

クイック検索ボックスを利用する

本体やWebページの情報を検索できます。

1 ホーム画面でクイック検索ボックスをタップ

① : Google音声検索に切り替えます。

- Google Nowのお知らせ画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字が含まれるアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／キーボードの [?] キー

Google検索の検索結果を表示します。

一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 ホーム画面でクイック検索ボックスの [?] キー

Google音声検索画面が表示されます。

2 送話口に向かってキーワードを話す

Google検索の検索結果が表示されます。

検索時のメニューを利用する

1 ホーム画面で [Google] → [Google] → [≡] → [設定]

2 設定したい項目をタップ

- ② をタップすると、ヘルプを表示することができます。

BRIEFINGを利用する

BRIEFINGでは、ニュースやブログの情報などの情報をまとめて表示することができます。

1 一番左のホーム画面で画面を右にフリック

- 初めて起動したときは、「スタート」をタップしてください。

2 画面を上下にスライドして、情報を見る

- 情報をタップすると、情報の詳細を見るることができます。
- をタップすると、表示したいカテゴリーの選択や通知などの設定ができます。

緊急時長持ちモードを有効にする

緊急時長持ちモードを有効にすると、以下の設定を自動的に変更することで電池の消費を抑えることができます。

- ・画面の色をグレースケールに自動調整
- ・必要最低限のアプリのみ使用可能
- ・スリープ状態時にデータネットワークを制限
- ・Wi-Fi®やBluetooth®などの接続機能をオフ

1 〔電源キー〕を1秒以上長押し

端末オプション画面が表示されます。

2 [緊急時長持ちモード] → [有効]

画面の色がグレースケールに変更され、緊急時長持ちモードが有効になります。

- ・初めて起動したときは利用規約に同意する必要があります。画面の指示に従って操作してください。



- ◎緊急時長持ちモードを無効にするには、〔電源キー〕を1秒以上長押し→〔緊急時長持ちモード〕と操作します。
- ◎緊急時長持ちモードを有効にすると、一部の機能が制限されます。
- ◎緊急時長持ちモードを有効から無効にすると、ホーム画面の一部ウィジェットが表示されなくなり、再配置が必要になることがあります。

基本的な操作を覚える

ここでは、本製品でよく使う操作を説明します。

縦横表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に画面の縦／横画面表示を切り替えることができます。

1 ステータスバーを下にスライド→ [縦画面]



memo

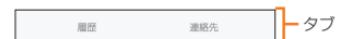
- ◎ステータスバーを下にスライド→〔自動回転〕と操作して自動回転をオフにすると、縦画面表示で固定されます（一部機能によっては、横画面になる場合もあります）。
- ◎ホーム画面など、表示中の画面によっては、本製品の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

項目を選択する

表示された項目やアイコンを選択するには、画面を直接タップします。

タブを切り替える

タブが表示されている画面では、表示／確認したいタブをタップすると画面を切り替えられます。



メニューを表示する

画面のメニューを表示するには、[⋮]をタップ／入力欄や項目をロングタッチして表示する方法などがあります。アプリケーションによっては[?]をロングタッチするとメニューが表示される場合があります。

例：ブラウザ画面で[⋮]をタップする場合



《ブラウザ画面》

例：ブラウザ画面でリンクをロングタッチする場合



《ブラウザ画面》

設定を切り替える

設定項目の横にチェックボックスやラジオボタンまたはオン／オフスイッチが表示されているときは、チェックボックスやラジオボタンまたはオン／オフスイッチをタップすることで設定のオン／オフを切り替えることができます。

アイコン	説明
<input checked="" type="checkbox"/> / <input checked="" type="radio"/> / <input checked="" type="switch"/>	設定がオンの状態です。
<input type="checkbox"/> / <input type="radio"/> / <input type="switch"/>	設定がオフの状態です。

データを複数選択する

データを移動／保存／削除などする際に、複数のデータを選択できます。

選択するデータをタップすると、チェックボックスにチェックが入り、データが選択された状態になります。

チェックボックスにチェックが入った項目をもう一度タップすると、チェックボックスのチェックが外れて選択が解除されます。

最近使用したアプリケーションを表示する

最近使用したアプリケーションを表示してアクセスできます。

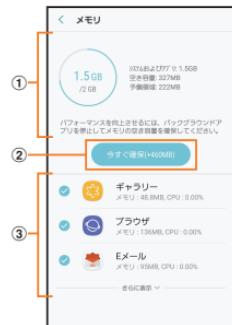


最近使用したアプリケーションが一覧で表示されます。

- 一覧からアプリケーションをタップすると、アプリケーションが起動します。
- 【全て閉じる】をタップすると一覧からすべてのアプリケーションを削除します。

起動中のアプリケーションを確認／終了する

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【端末のメンテナンス】→【メモリ】



- ① メモリステータス
メモリの使用状況を確認します。
- ② 今すぐ確保
「今すぐ確保」をタップすると、チェックが入っているアプリケーションを終了します。
- ③ 起動中のアプリケーション一覧
「さらに表示」をタップすると非表示のアプリを表示することができます。

画面の表示内容を画像として保存する

□と□(電源キー)を同時に1秒以上長押しすると、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)できます。動作が完了するとステータスバーに□が表示されます。



◎ 画像は、「ギャラリー」(▶P.126)の「画面キャプチャ」アルバムに保存されます。

◎ 起動中のアプリケーションによっては、スクリーンショットが動作しない場合があります。

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能は、指紋センサーに指を押し当てて行う認証操作です。指紋認証機能を使用すると、ロック画面の解除やGalaxyアカウントへの認証操作などを簡単に行うことができます。

■ 指紋認証利用時の注意

- 本機能は指紋の特徴情報を認証に利用するためのものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で繰り返し読み取る必要があります。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指を押し当てた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指が濡れている、汗をかいている、または手が乾燥しているなど、指の状態によっては指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下することがあります。その場合、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
- 指紋の登録や認証の際は、指を指紋センサーの中心に押し当てます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を押し当ててください。
- 指を曲げたり、指先だけで指紋センサーに触れたりすると、正常に認識できないことがあります。
- 指の押し当て方が弱かったり指の離し方が速すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。
- できるだけ指紋の渦の中心を指紋センサーの中心に押し当ててください。
- 〔電源キー〕／□を押してからロック画面が表示されるまでの間は、指紋センサーに触れないでください。指紋センサーが機能しなくなることがあります。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動でき場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。異なる2つの指紋を指紋センサーが誤認識する可能性は非常に低いですが、特徴が非常に似た異なる指紋を同一の指紋と認識する可能性があります。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかつたことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時の注意

- 指紋センサーの表面を、ペン先など鋭利なものでついたりしないでください。
- 指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- ぶつけたり、強い衝撃を与えたいために故障や破損の原因となります。また、指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでついたりしないでください。
- 爪やストラップの金具など硬いものを押し付けると、指紋センサー表面に傷が付くことがあります。
- 泥などで指紋センサー表面が汚れたり、表面に傷が付いたりすると、故障や破損の原因となることがあります。
- お買い上げ時に貼り付けられている保護フィルムをはがしてからご使用ください。保護フィルムを貼り付けたまま使用すると、正常に認識できないことがあります。
- 指紋センサー表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分が付着したり結露が発生すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下することがあります。指紋センサー表面はときどき清掃してください。
- 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が解消されることがあります。
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい、乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長時間の使用によりゴミがたまることがあります、その場合でも先のとがったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、静電気を取り除いてください。冬季など乾燥する時期は、特にご注意ください。

■ 指紋認証機能を設定する

指紋を登録したり、利用する機能やバックアップパスワードを設定します。

- ・ロック画面の解除操作の設定については「画面ロックの種類を設定する」(▶P.188)をご参照ください。
- ・「免責条項」画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

■ 指紋を登録する

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【ロック画面とセキュリティ】→【指紋認証】

2 【続行】→【パターン】、【PIN】、【パスワード】のいずれかをタップ

3 画面の指示に従って操作

■ 画面ロックの解除方法として利用する場合

以下は、指紋を登録してある場合の操作です。

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【ロック画面とセキュリティ】

2 【画面ロックの種類】

3 登録したロック解除方法を入力

4 【指紋認証】の○をタップして○にする

■ Galaxyアカウントへの認証操作で利用する場合

以下は、指紋を登録してある場合の操作です。

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【ロック画面とセキュリティ】→【指紋認証】

2 登録したロック解除方法を入力

3 「Galaxyアカウント」の○をタップして○にする

4 画面の指示に従って操作

■ 指紋を削除する

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【ロック画面とセキュリティ】→【指紋認証】

2 登録したロック解除方法を入力

3 【編集】

4 削除する指紋にチェックを入れる→【削除】→【削除】

■ 指紋認証を行う

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサーに指を置く
 • 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度指紋センサーに指を置いてください。



◎ 指紋が正しく認証されない場合は、画面をスワイプし、指紋登録時に登録したロック解除方法を使用しても、画面ロックを解除することができます。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。

ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

初期状態ではGalaxy日本語キーボードを利用することができます。また、そのほかに「Google音声入力」機能を使って文字を入力することもできます。



① 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリケーションや機能専用のキーボードが表示される場合があります。

入力方法を切り替える

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【一般管理】→【言語とキーボード】→【標準キーボード】
- 2 利用したい入力方法を選択

Galaxy日本語キーボードで入力する

Galaxy日本語キーボードは、「テンキー」と「QWERTYキーボード」の2種類のキーボードを利用できます。

- ・ **テンキー**：一般的な携帯電話のようなキー配列のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを文字が入力されるまで数回タップして入力します。「フリックタイプ」を「Off」以外に設定している場合は、キーをロングタッチするとキーポップアップが表示され、入力したい文字が表示された方向にフリックしても入力できます。
- ・ **QWERTYキーボード**：パソコンなどと同じキー配列のキーボードです。日本語はローマ字入力で行います。



《テンキー》



《QWERTYキーボード》

- ① 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
 - ・ 予測変換をオフに設定して文字入力中や、予測変換候補の表示中に「変換」をタップすると、通常変換候補が表示されます。
 - ・ + をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の表示エリアを拡大できます。 - をタップすると、元の表示に戻ります。
- ② 確定前の文字を逆順に切り替えます。
 - ・ 文字を入力していないときは、表示されているキーの操作を実行します。
 - ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。
 - キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
 - ▼ : 音声入力に切り替える
 - 国 : クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
 - ◎ : Galaxy日本語キーボードの設定メニューを表示
 - : 標準キーボード／片手操作キーボードを表示
- ③ カーソルを左に移動します。

- ④ 英数力ナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補／通常変換候補に戻ります。
- ・ 文字が入力されていないときは  (数字／絵文字／顔文字／記号切替) が表示されます。
- ⑤ 日本語／英語入力モードに切り替えます。
- ⑥ 大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
- ・ 英語入力モードの場合は「A／a」と表示されます。
- ⑦ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
- ⑧ カーソルを右に移動します。
- ・ 同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときにもタップします。ただし、「自動カーソル移動」を「Off」以外に設定している場合は、自動的にカーソルが移動します。
 - ・ 「ワイルドカード予測」／「日本語ワイルドカード予測」をオンにしている場合は、タップするとワイルドカード予測 (▶P.56) を利用できます。
- ⑨ 通常変換候補を表示します。
- ・ 変換候補が表示されていない場合や、英語入力モードの場合はタップするとスペースを入力できます。
- ⑩ 操作状態や選択中の入力欄に対応したキーが表示され、入力した文字の確定や、改行、次の入力欄への移動などができます。
- ⑪ 表示されているキーの操作を実行します。
- ・ ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。
キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
↓ : 音声入力に切り替える
図 : クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
⌚ : Galaxy日本語キーボードの設定メニューを表示
🕒 : 標準キーボード／片手操作キーボードを表示
- ⑫ 数字／記号一覧を表示します。
- ・ ロングタッチすると絵文字／顔文字／記号一覧を表示します。
 - ・ 絵文字／顔文字／記号は、タップをタップして切り替えます。 をタップすると、キーボードを表示します。

■ キーボードの種類を切り替える

- 1 キーボード表示中に  (表示されていない場合は、 /  のいずれかをロングタッチ)
- Galaxy日本語キーボードの設定メニューが表示されます。
- 2 [テンキー ⇄ QWERTYキーボード]
- 3 [テンキー] / [QWERTYキーボード] → [OK]



○手順③で「カスタム設定」を選択した場合は、画面の向き、入力モードごとにキーボードのタイプを設定できます。

■ 半角／全角を切り替える

- 1 キーボード表示中に  をロングタッチ
- 2 [半角] / [全角]

■ ワイルドカード予測を利用する

- ・ 「日本語予測変換」と「日本語ワイルドカード予測」をオンに設定している場合に利用できます。
- ・ 英文／ハングル入力時は「予測変換」と「ワイルドカード予測」をオンに設定している場合に利用できます。

■ 例：「携帯」を入力する場合

- 1 キーボード表示中に「け」を入力
- 2  を3回タップする

「け〇〇〇」が表示され、予測変換候補に「携帯」が表示されます（必要に応じて  をタップして予測変換候補の表示エリアを拡大してください）。

- ・ 読みの文字数を変更するには、 /  をタップします。

- 3 予測変換候補から「携帯」

文字列を選択／切り取り／コピー／貼り付ける

1 入力した文字列をロングタッチ

アイコン（ / ）が表示され、間にある文字列が選択されます。アイコンをドラッグして、選択範囲を変更できます。

2 利用するアイコンをタップ

全て選択	入力した文字列をすべて選択します。
切り取り	選択した文字列を切り取り／コピーします。切り取り／コピーした文字列はクリップボードに保存されます。
コピー	
貼り付け*	切り取り／コピーした文字列を貼り付けます。

* 切り取り／コピーの操作後など、クリップボードにテキストデータが保存されている場合に表示されます。



- ◎ アプリケーションによっては、利用できない機能があります。
- ◎ アプリケーションによっては、アイコンの形状が異なります。
- ◎ 手順②以外のアイコンが表示される場合があります。
- ◎ 文字入力欄をタップすると、アイコン（）が表示されます。アイコンをドラッグすると、カーソルを移動できます。アイコンをタップすると「貼り付け」「クリップボード」を利用できます。
- ◎ 文字入力欄で文字が入力されていないエリアをロングタッチしても、「貼り付け」「クリップボード」を利用できます。

文字入力の設定をする

Galaxy日本語キーボードの設定を行う

Galaxy日本語キーボードを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【一般管理】→【言語とキーボード】→【オンスクリーンキーボード】→【Galaxy日本語キーボード】

2	入力言語	入力できる言語を、システムの言語、日本語、英語、韓国語の組み合わせから選択します。
	テンキー↔QWERTYキーボード	キーボードの種類を切り替えます。
	フリック入力	フリックタイプの選択、フリック感度やトグル入力を設定します。
	表示／操作補助	キーサイズ・候補表示行数などの表示やキー操作音・キーポップアップなどの操作補助を設定します。
	予測／変換	学習辞書に語句を保存したり、変換候補の表示などを設定します。
	音声入力	「Google音声入力」を設定します。
	辞書登録	ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
	外部アプリ連携	マッシュルーム拡張を使用するかどうかを設定します。
	バックアップと復元	NFC（▶P.145）を通じて他の端末とバックアップデータを送受信できます。
	リセット	学習辞書やGalaxy日本語キーボードの設定をリセットします。
	iWnn IME for Galaxy	Galaxy日本語キーボードのバージョンが表示されます。

電話

電話	59
電話をかける	59
電話を受ける	63
伝言メモを利用する	66
自分の電話番号を確認する	66
通話関連機能の設定をする	66

電話

通話中の手順は、通話画面が最大化の場合で記載しています。

電話をかける

1 ホーム画面で【ダイヤル】→【●】



① 検索結果欄

番号を入力するごとに連絡先や履歴などが検索され、入力候補が表示されます。検索結果欄を上または下にスワイプすると、入力候補の一覧が表示されます。入力候補がない場合は「連絡先に追加」が表示されます。

② 電話番号入力欄

入力した電話番号が表示されます。

③ SMSキー

SMSを作成・送信します (▶P.101)。

④ ボイスパーティー

ボイスパーティーを使用します。

⑤ :

メニューを表示します (▶P.60)。

⑥ 削除キー

最後に入力したまたはカーソルの左側にある番号を削除します。ロングタッチすると、入力した番号またはカーソルの左側にある番号をすべて削除できます。

⑦ 発信キー

⑧ 非表示キー

キーバットを表示／非表示にすることができます。

2 相手の電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

・スピードダイヤル(▶P.60)を登録済みの場合は、短縮番号を割り当てたキーをロングタッチすると、スピードダイヤルで発信できます。

3 【📞】

通話中画面が表示されます。

4 通話が終了したら【📞】



◎ 本製品を顔に近づけるなどして近接センサーを覆ったとき（イヤホンなどを取り付けている場合を除く）や、操作せずに画面のタイムアウト（▶P.184）の設定時間が経過すると、通話中画面は自動的に消えます。近接センサーから顔などを離す、または【電源キー】/【】を押すと、通話中画面を表示できます。

◎ 通話音量を調節するには、通話中に音量キーを押します。

◎ 通話画面が最大化のときに【】を押すと、ホーム画面が表示され、ステータスバーに通話状態が表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルの通知をタップすると、通話画面（最大化）に戻ります。

■キーパッド画面のメニューを利用する

1 キーパッド画面→【⋮／⋮】

2	2秒間の停止を追加() ^{※1}	「.」を入力します。電話番号に続けて「.」と番号を入力して発信すると、発信してから約2秒後にブッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。
	待機を追加(:) ^{※1}	「:」を入力します。電話番号に続けて「:」と番号を入力して発信すると、電話がつながって「はい」をタップしたときにブッシュ信号（番号）が送信されます。
	連絡先に追加 ^{※2}	入力した電話番号を連絡先に登録します。
	メッセージを送信 ^{※1}	SMSを作成・送信します。
	ボイスパーティー	ボイスパーティーを起動します。
	スピードダイヤル	▶P.60「スピードダイヤルを登録する」
	キーパッドで起動／前回の表示で起動	ダイヤルを起動する際の表示画面を指定します。 ・「キーパッドで起動する」に設定すると、ダイヤルの起動画面はキーパッド画面となります。 ・「前回の表示で起動」に設定すると、次にダイヤルアプリ起動した際、前回アプリを開いた画面（連絡先タブや履歴タブなど）が表示されます。
	設定	▶P.66「通話関連機能の設定をする」

※1 キーパッド画面で番号を入力すると表示されます。

※2 発着信履歴のある番号を入力すると表示されます。

■通話中に利用できる操作

通話中は以下の操作が行えます。

操作	説明
⌚	シンクコールのポップアップを開きます（▶P.65）。
通話を追加	別の相手に電話をかけることができます。
音声補正	音声補正を有効にするかどうかを切り替えます。
Bluetooth	Bluetooth [®] 対応機器と接続してハンズフリーで通話します。
スピーカー	相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。
キーパッド	キーパッドを表示してブッシュ信号を送信します。
消音	自分の声を相手に聞こえないようにします。

■通話中画面のメニューを利用する

1 通話中画面→【⋮】

2	保留	通話を一時的に保留します。
	録音	通話を録音します。
	連絡先に追加	入力した電話番号を連絡先に登録します。 ・電話番号を連絡先に登録した場合、「連絡先を表示」と表示されます。タップすると、連絡先の詳細を表示します。
	メッセージを送信	SMSを作成・送信します。

■スピードダイヤルを登録する

スピードダイヤルを登録すると、キーパッド画面で短縮番号をロングタッチして簡単に電話をかけることができます。

- 2桁以上の短縮番号を利用する場合は、最後の桁をロングタッチしてください。

1 キーパッド画面→【⋮】→【スピードダイヤル】

スピードダイヤル設定画面が表示されます。

2 短縮番号（2～999）を選択

3 【♀】を選択→連絡先を選択



memo

- 短縮番号1には留守番電話が登録されており、変更／削除できません。
- スピードダイヤル設定画面では、登録済みの短縮番号をタップしてSMS送信や電話発信ができます。
- 短縮番号を削除するには、スピードダイヤル設定画面で短縮番号の「-」をタップします。

■緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。



- ◎ 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用しての接続はできません。
- ◎ 警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- ◎ 緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができます。
- ◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- ◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかげになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- ◎ 着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に解除されます。
- ◎ au Nano IC Card 04以外のSIMカードが挿入されている場合、110（警察）・119（消防機関）・118（海上保安本部）への緊急通報が発信できない可能性があります。
- ◎ 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

履歴を利用して電話をかける

履歴では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴、着信拒否履歴を一覧で確認できます。

1 ホーム画面で【ダイヤル】→「履歴」タブ

履歴画面が表示されます。

- 📞 : 着信
- 📞 : 発信
- 📞 : 不在着信
- 📞 : 着信拒否
- 📞 : ブロックリストの電話

2 かけたい相手を選択

履歴詳細画面が表示されます。

3 【発信】



- ◎ [メッセージ] をタップするとSMSを作成できます。

- ◎ 履歴画面で履歴を左にスライドするとSMS送信、右にスライドすると電話発信ができます。

■履歴画面／履歴詳細画面のメニューを利用する

1 履歴画面／履歴詳細画面→[⋮／⋮]

2 フィルター	全ての通話、不在着信、着信拒否などをフィルターして表示できます。
削除	履歴を選択し削除できます。
通話の録音ファイル ^{※1}	通話中の録音を再生できます。
録音メッセージ	伝言メモでの録音メッセージを再生できます。
合計通話時間	直前の電話、発信、着信および全ての通話の通話時間を表示します。
設定	▶P.66「通話関連機能の設定をする」
連絡先をリンク ^{※2}	他の連絡先とリンクします。 ・他の連絡先とリンクした場合、「リンクした連絡先を管理」が表示されます。
メインの連絡先に設定 ^{※2}	通常使用する電話番号を設定します。 ・連絡先に2つ以上の電話番号を登録している場合に表示されます。
連絡先をブロック／連絡先のブロックを解除 ^{※2}	表示している電話番号をブロックリストに追加します。また、追加した電話番号をブロックリストから削除します。 ・電話番号を連絡先に登録していない場合、「番号をブロック」／「番号指定拒否を解除」が表示されます。
通話履歴を削除 ^{※2}	通話履歴を削除します。

※1 通話中の録音ファイルがあるときのみ表示されます。

※2 履歴詳細画面の場合に表示されます。

ボイスパーティーで電話をかける

複数人（最大30人）で同時に通話できます。

1 キーパッド画面→[⋮]→[ボイスパーティー]

ボイスパーティー履歴が表示されます。

初回起動時は、確認画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 ☎	連絡先に登録されている電話番号を選択してメンバーに追加します。
宛先を入力	電話番号を直接入力してメンバーに追加します。

3 [完了]

電話を発信するメンバーを追加するには再度「☎」をタップして選択するか、宛先を入力し「+」をタップします。

- ・メンバーを削除するには[⋮]→[削除]をタップします。

4 [発信]

ボイスパーティーに電話を発信します。

5 通話→[⌚]

- ・それぞれのメンバーの「⌚」をタップすると、選択したメンバーのみ通話を終了できます。



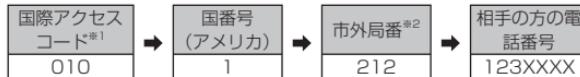
- ◎ボイスパーティーを利用するにはお申込みが必要です。
※ボイスパーティーは2018年3月31日にサービス終了予定です（新規申込みの受付は終了しました）。
- ◎発信者には通話先に応じた通話料（人分）が課金されます。
- ◎発信先として、緊急通報番号（110、119、118）や時報（117）などの特番は対象外です。
- ◎ボイスパーティーでの発信時は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず発信者番号が通知されます。
- ◎発信後、どの着信者からも20秒間応答がない場合、ボイスパーティーは終了されます。
- ◎発信者・着信者はボイスパーティーと三者通話を同時にご利用できません。
- ◎発信者・着信者はボイスパーティー中、割込着信をご利用できません。
- ◎発信者・着信者はボイスパーティー中にブッシュ信号を送信できません。
- ◎着信者がお留守番サービス、着信転送サービスを利用している場合、着信者はボイスパーティーに参加できません。
- ◎auのVoLTE対応機種に着信した場合、伝言メモは応答しません。
- ◎着信者には発信者以外のメンバーの名前や電話番号は表示されません。

au電話から海外へかける (au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→【】→国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→【】
- 国際アクセスコードは国によって異なります。



※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。



- ◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
- ◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
- ◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一緒にしてのご請求となります。
- ◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
一般電話から  0077-7-111（通話料無料）
受付時間 9:00～20:00（年中無休）

電話を受ける

- 1 着信中に【受話】／【スピーカー受話】

画面ロック中に着信した場合は、全画面表示の着信画面が表示されます。電話を受ける場合は、を円の外までドラッグ／スライドします。アプリ操作中で、かつシンクコールを使用する設定がオンの場合は、シンクコールの着信画面が表示されます（▶P.65）。

- 2 通話が終了したら【終話】／【】

着信を拒否する場合

- 1 着信画面で【拒否】

- ・着信音が止まって電話が切れます。相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。
- ・画面ロック中に着信した場合は、全画面表示の着信画面が表示されます。着信を拒否する場合は、を円の外までドラッグ／スライドします。

電話がかかってきた場合の表示について

初期状態では、着信すると次の内容が表示されます。

- ・相手の方から電話番号の通知があると、ポップアップ表示された操作パネルに電話番号が表示されます。電話帳（連絡先）に登録されている場合は、名前が表示されます。
- ・相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。

「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能*」

* 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。着信時に相手の方の電話番号や名前を表示しないようにすることもできます（▶P.199）。



- ◎LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいている場合、通知パネルを開いて「モバイルデータ」をオフにしてご利用ください(▶P.48)。
- ◎「通話ブロックの設定をする」(▶P.68)で着信を自動的に拒否するように設定できます。

かかってきた電話に出なかった場合は

- ◎ステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または電話帳(連絡先)に登録されている名前が表示されます。

着信時に着信音、バイブレータを無効にするには

- ◎着信中に (電源キー) / 音量キーを押すと、着信音やバイブレータを停止できます。

他の機能をご利用中に着信した場合は

- ◎動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画していたデータは保存されます。
- ◎ボイスレコーダーなどで録音していた場合は、電話を受けると、録音が中断され、録音していたデータは保存されます。

着信中にシンクコール表示が行われない場合は

- ◎本体メモリの空き容量が少ない状態では、着信時にシンクコールが表示されないことがあります。
その場合は、通知パネルから着信応答を行うか、不要なアプリを削除してメモリの空き容量を増やしてください。また、メモリ負荷の高いアプリ等を長時間使用する場合は、事前にシンクコール設定にて「表示している画面のまま受話する」を「OFF」にしておくことをおすすめします。

着信に伝言メモで応答する

スリープ状態のときに着信があった場合、伝言メモを設定していませんでも、手動で起動できます。

- 1 着信中に「メッセージを送信」を上にスライド
- 2 「伝言メモ」をタップ

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する

- 1 着信中に「メッセージを送信」を上にスライド

送信する着信拒否メッセージをタップ

- ・「新規メッセージを作成」をタップすると、メッセージを作成して送信できます。



- ◎既存の着信拒否メッセージを編集することができます。操作については、「拒否メッセージを編集する」(▶P.68)をご参照ください。

シンクコールについて

操作画面のまま、通話することができます。さらに、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用して、通話相手と「表示中の画面、カメラ越しの風景、画面上の手書き内容、お互いの位置情報」をリアルタイムで共有することもできます。

■ 通話中に利用できる操作

通話中にシンクコールのポップアップが表示されていない場合は、「」をタップすると、次の操作ができます。

- 利用方法については、ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【au設定メニュー】→【シンクコール】→【シンクコールについて】と操作して使用方法をご参照ください。

スピーカー ON / スピーカー OFF	ハンズフリー通話のON / OFFを切り替えます。
終話	通話を終了します。
画面シンク	通話中に画面を相手に送信します。
カメラシンク	カメラで写している映像を相手に送信します。
位置シンク	お互いの位置情報を地図上に表示します。
手書きシンク	画面上で手書きの文字を共有します。
メディア	利用中の他の機能の音量を調整します。
通話	通話中の通話音量を調整します。
	▶P.65「シンクコールを設定する」
	ポップアップを閉じます。



◎ 分割画面表示（▶P.42）しながら、画面シンクをご利用いただいた場合、通話相手に分割画面表示している内容も共有されます。

シンクコールを設定する

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【au設定メニュー】→【シンクコール】

2	シンクコールについて	シンクコールの使用方法を表示します。
	シンクコールを有効にする	シンクコールを利用するかどうかを設定します。
	表示している画面のまま受話する	受話ボタンをタッチして着信に応答した際に、操作中の画面表示を継続するかどうかを設定します。オフにすると電話画面を表示します。
	手書きシンクの自動保存	手書きシンクを利用して終了した際に、手書きシンクした画像を自動でデータフォルダへ保存するかどうかを設定します。
	通話終了後のお知らせ	通話相手がシンク機能を利用可能な場合、通話終了後にお知らせを表示します（通話相手がアドレス帳に登録されている場合のみ）。
	利用規約	シンクコールの利用規約を表示します。
	プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示します。
	オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。
	バージョン情報	シンクコールアプリのバージョンを確認します。

3 【閉じる】

伝言メモを利用する

伝言メモを設定すると、お留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。1件あたりの最大録音時間は13時間です。

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→【⋮】→【設定】→【伝言メモ設定】

2	メッセージで自動応答	伝言メモでの応答を毎回自動で行うかどうかを設定します。
	応答メッセージを再生するまでの時間	伝言メモ機能で応答するまでの時間を設定します。
	言語	応答メッセージの言語を設定します。
	録音メッセージ	録音されたメッセージの一覧を表示します。

memo

- ◎録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに  が表示されます。ステータスバーを下にスライド→[新しい録音メッセージ]をタップすると、録音メッセージ画面が表示され、録音された伝言メモを確認できます。
- ◎録音された伝言メモを削除するには、録音メッセージ画面で【編集】→削除する伝言メモにチェックを入れる、または【全て選択】をタップ→【削除】→【OK】と操作します。

自分の電話番号を確認する

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【端末情報】
「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

通話関連機能の設定をする

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→【⋮】→【設定】
通話設定画面が表示されます。

2	番号が未登録の連絡先を非表示	電話番号が登録されている連絡先のみを「連絡先」タブに表示します。	
	着信ブロック	ブロックモード ブロックリスト クイック拒否メッセージ	ブロックモードのオン／オフや自動着信拒否の対象を選択します。 ブロックする電話番号を管理します。 着信拒否時にメッセージ送信するメッセージを作成したり編集したりできます。
	通話応答／終了	ホームキーを押して着信に応答 音声で着信に応答 自動応答 電源キーを押して通話終了	【ホームキー】を押して通話に応答するかどうかを設定します。 「応答」または「拒否」と音声入力して通話に応答するかどうかを設定します。 ヘッドセットやBluetooth [®] デバイスが接続された状態で通話がかかってきた場合、2秒後に自動的に応答します。 【電源キー】を押して通話を終了するかどうかを設定します。
	伝言メモ設定	▶P.66「伝言メモを利用する」	
	発信者情報を表示	各発信者の最新の連絡先情報を表示します。	
	ポップアップで通話を表示	他のアプリを使用中は、通話中の電話を全画面ではなくポップアップで表示します。	

通話通知	通話開始時のバイブ	通話応答時に本製品を振動させるかどうかを設定します。
	通話終了時のバイブ	通話が終了したときに本製品を振動させるかどうかを設定します。
	通話開始時のサウンド	通話開始音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話終了時のサウンド	通話終了音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話中の通知	通話中にアラームなどのイベントが発生したときに音でお知らせするかどうかを設定します。
着信音とキーパッド音	着信音	電話着信音を設定します。
	バイブパターン	バイブレーションのパターンを設定します。
	着信時にバイブ	電話の着信時に、バイブレーションも動作するかどうかを設定します。
	ダイヤルキーパッド音	ダイヤルキーパッドをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。
発信者番号通知		発信者番号を通知するかどうかを設定します。
通話を録音	録音の通知	通話の録音が完了した後に、通知を受信するかどうかを設定します。
	通知の自動録音	選択した番号に発着信した通話を自動的に録音するかどうかを設定します。

auサービス	留守番電話と通話転送	留守番電話メッセージの再生や通話を転送するタイミングを設定します。
	着信拒否	迷惑電話撃退サービス (►P.208) の対象にする電話番号を管理したり、非通知の着信を拒否するかどうかを設定します。
	割込通話	通話中に着信通知を受信するかどうかを設定します。
	ローミング	海外利用中に留守番電話や通話転送を停止するかどうかを設定します。
	シンクコール設定	►P.65「シンクコールを設定する」
	ガイド言語を変更	ガイダンスのガイド言語を変更できます。
	オプションサービスを使用	オプションサービス申し込み画面に移動します。
	Webサイトに移動	auのWebサイト画面に移動します。
	電話 (157)	お客さまセンター (157／通話料無料) へ電話をかけます。
電話について		本アプリについての情報を確認します。

通話ブロックの設定をする

あらかじめブロックリストに電話番号を追加しておくと、着信を自動的に拒否します。

■ ブロックリストに追加する

着信をブロックする電話番号を登録します。

1 通話設定画面→【着信ブロック】→【ブロックリスト】

- 「不明な発信者をブロック」をオンにすると、電話番号を通知できない着信を拒否できます。

2 拒否したい電話番号を入力

- △をタップすると、連絡先から電話番号を選択できます。

3 [+]

■ クイック拒否メッセージを編集する

電話を応答できないときに送信するメッセージ（SMS）を編集します。

1 通話設定画面→【着信ブロック】→【クイック拒否メッセージ】

クイック拒否メッセージ一覧画面が表示されます。

2 編集したいクイック拒否メッセージを選択

3 クイック拒否メッセージを編集→【保存】



- ◎ クイック拒否メッセージを新規作成する場合は、「メッセージを入力」欄にクイック拒否メッセージを入力→「+」と操作します。
- ◎ クイック拒否メッセージ一覧画面で、削除したいクイック拒否メッセージの-をタップすると、クイック拒否メッセージを削除することができます。

メールについて	70	PCメールを利用する	105
Eメールを利用する	70	PCメールのアカウントを設定する	105
Eメールの表示モードを切り替える	71	PCメールのアカウントを削除する	107
Eメールを送信する	75	PCメールを送信する	108
Eメールを受信する	80	PCメールを受信する	108
新着メールを問い合わせて受信する	83	PCメールを返信／転送する	109
Eメールを検索する	83	PCメールを削除する	109
Eメールをフォルダモードで確認する	83	Gmailを利用する	110
Eメールを会話モードで確認する	90		
Eメールを設定する	91		
Eメールをバックアップ／復元する	96		
迷惑メールフィルターを設定する	98		
SMSを利用する	101		
SMSを送信する	101		
SMSを受信する	102		
SMSを返信／転送する	102		
SMSを保護／保護解除する	103		
SMSの電話番号を連絡先に登録する	103		
SMSを検索する	103		
SMSを削除する	104		
SMSを設定する	104		

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■ Eメール

Eメール（@ezweb.ne.jp）は、Eメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるauのサービスです。文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます（▶P.70）。

■ SMS

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。他社携帯電話との間でもSMSの送信および受信をご利用いただけます（▶P.101）。

■ PCメール

「Eメール」アプリケーションを利用して、Exchange ActiveSyncアカウント、一般的のISP（プロバイダ）が提供するPOP3やIMAPに対応したメールアカウントなどを設定し、パソコンと同じように本製品からメールを送受信できます（▶P.105）。

■ Gmail

Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます（▶P.110）。

Eメールを利用する

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめEメールアドレスの初期設定を行なう必要があります。詳しくは、『設定ガイド Android 7.0対応版』をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。



◎Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。

◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。

◎ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【アプリ】→「Eメール（●）」→【ストレージ】→【データを消去】を行なった場合、保存されたEメールのデータや設定情報がすべて削除されます。事前にバックアップを行なってください。バックアップについては、「Eメールをバックアップ／復元する」（▶P.96）をご参照ください。

Eメールの初期設定について

◎Eメールの送受信は無線LAN（Wi-Fi[®]）通信で利用できますが、初期設定は4G（LTE／WiMAX 2+）通信で行ってください。

◎時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。

◎Eメールアドレスを変更する操作については、「Eメールアドレスの変更やその他の設定をする」（▶P.95）をご参照ください。

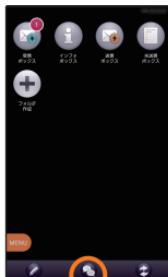
◎ファイル添付、ファイル保存、バックアップ／復元、着信音設定時などにおいて、確認ダイアログ（Eメールに必要な許可のお願い）が表示される場合には、「許可」をお願いします。

Eメールの表示モードを切り替える

指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードと、相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面で【Eメール】→【切替】

表示モードが切り替わります。



《フォルダモード》



《会話モード》

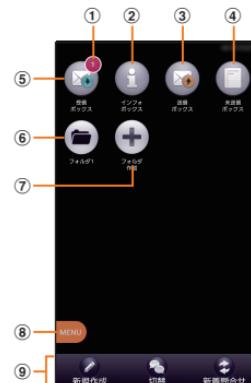


◎本書ではフォルダモードでの操作を基準に説明しています。会話モードでは、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

フォルダモードでの画面の見かた

■ フォルダ一覧画面の見かた

フォルダ一覧画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。



《フォルダ一覧画面》

① フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。

② インフォボックス

③ 送信ボックス

④ 未送信ボックス

⑤ 受信ボックス

⑥ フォルダ

⑦ フォルダ作成

⑧ メニューボタン

⑨ アクションバー

■Eメール一覧画面の見かた



①宛先／差出人の名前またはEメールアドレス

- : アドレス帳に登録があるアドレスと送受信した場合
- : アドレス帳未登録のアドレスと送受信した場合
- ※ プロフィールアイコンの表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.93)で変更することができます。
プロフィールアイコンをタップすることで背景色を変更することができます。
背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.93)で戻すことができます。

Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が表示されます。

受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。

連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。

※ 連絡先にEメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

②フラグ設定Eメール一覧表示ボタン

一覧画面内のすべてのEメールとフラグ設定Eメール一覧を切り替えて表示できます。

③ : 未読のEメール

④ 件名

⑤ メニューボタン

⑥ アクションバー

⑦ 2行表示／本文プレビュー表示切替ボタン

横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

⑧ 添付データあり

⑨ 受信メール

: 返信したEメール

: 転送したEメール

: 返信／転送したEメール

送信メール

: 返信のEメール

: 転送のEメール

⑩ 保護されたEメール

⑪ フラグ

: フラグ設定Eメール

: フラグ未設定Eメール

⑫ : 送信に失敗したEメール

⑬ : 送信予約Eメール

: 自動再送信Eメール

⑭ 受信／送信切替スライダ

フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

■ Eメール詳細表示画面の見かた



① **Sub** : 件名

② **受信メール**

From : 差出人の名前またはEメールアドレス
To / **CC** :宛先の名前またはEメールアドレス

送信メール

To / **CC** / **BCC** :宛先の名前またはEメールアドレス

③ :添付データ

: インライン添付データ

④ **本文**

本文表示エリアでピンチイン、ピンチアウトすることで、本文表示の拡大・縮小が可能です。

⑤ Eメールの状態

- : 送信に失敗したEメール
- : 返信したEメール
- : 転送したEメール
- : 返信／転送したEメール
- : 複数の宛先あり
- : BCCの宛先で受信したEメール
- : 送信予約しているEメール
- : 自動再送信に登録されたEメール
- : 保護されたEメール
- : フラグ付きEメール

⑥ 前のEメール／次のEメールを表示

※ 本文表示エリアを左右にフリックすることで、前のEメール／次のEメールを表示することができます。

⑦ 詳細情報の表示／非表示

※ デフォルトでは非表示になっています。

⑧ メニューボタン

⑨ アクションバー

会話モードでの画面の見かた

■スレッド一覧画面の見かた

相手先ごとにEメールをまとめたスレッドが一覧表示されます。



① すべて表示／お気に入り表示切替タブ

すべてのスレッド一覧と、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。

② スレッド

■: アドレス帳に登録があるアドレスと送受信した場合
■: アドレス帳未登録のアドレスと送受信した場合
※ プロフィールアイコンの表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.93)で変更することができます。
プロフィールアイコンをタップすることで背景色を変更することができます。
背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.93)で戻すことができます。

③ (赤色): 新着Eメールあり

(青色): 未読Eメールあり

④ メニューボタン

⑤ インフォボックス

インフォボックスメールを表示できます。

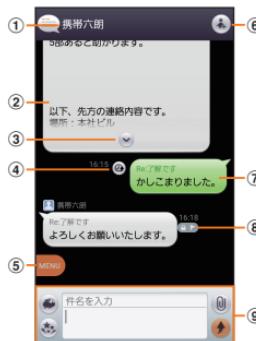
※ 新着／未読メールがある場合は、「インフォボックス」タブの右上に合計の件数が表示されます。

⑥ ★ (オレンジ): お気に入り

★ (グレー): お気に入り解除

⑦ アクションバー

■スレッド内容表示画面の見かた



① スレッド名称(相手先)

連絡先未登録の場合は、メールアドレスが表示されます。

② 受信したEメール

③ 続き表示ボタン

本文をすべて表示するときに使用します。
閉じるときは □ をタップします。

④ (■): 送信予約Eメール

(○): 自動再送信Eメール

⑤ メニューボタン

⑥ 宛先一覧表示ボタン

送受信しているアドレスを一覧で表示します。宛先を追加・削除すると別のスレッドとして表示されます。

⑦ 送信したEメール

⑧ アイコン

「Eメール詳細表示画面の見かた」⑤ (▶P.73) をご参照ください。

⑨ メール作成バー

■メール作成バーの見かた



① 件名入力欄

「件名を非表示」に設定している場合は表示されません。

② コミコミボタン

「コミコミ」アプリを起動するときに使用します。

③ 絵文字ボタン

デコレーション絵文字やピクチャを入力するときに使用します。

④ 添付ボタン

データを添付するときに使用します。

⑤ 送信ボタン

⑥ 本文入力欄

Eメールを送信する

■ フォルダモードでEメールを送信する場合

1 ホーム画面で【Eメール】

2 【新規作成】

送信メール作成画面が表示されます。

3 【】

「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

4

アドレス帳引用	連絡先のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	連絡先のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 <ul style="list-style-type: none">グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。
メール受信履歴引用	受信メール履歴／送信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 Eメールアドレスにチェックを入れる→【選択】
メール送信履歴引用	Eメールアドレスにチェックを入れる→【削除】→Eメールアドレスにチェックを入れる→【削除】→【削除】と操作すると、履歴を削除できます。
プロフィール引用	本製品に登録されている自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け ^{※1}	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。

※1 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

5 件名入力欄をタップ→件名を入力

6 本文入力欄をタップ→本文を入力

7 【完了】→【送信】→【送信】

■会話モードでEメールを送信する場合

1 スレッド一覧画面→【新規作成】

宛先入力画面が表示されます。

- 過去に送受信した相手先にEメールを送信する場合は、スレッドをタップしてEメールを送信することができます。その場合は、手順④へ進みます。

2 []

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.75)の手順④をご参照ください。

「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

- 入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。

3 【作成】

スレッド内容表示画面が表示されます。

4 件名入力欄をタップ→件名を入力

5 本文入力欄をタップ→本文を入力

6 [] → [送信]



- デコレーションアニメには対応しておりません。
- 件名や本文には、半角カナおよび半角記号「-」(長音)「・」(濁点)「。」(半濁点)、・「」は入力できません。
- 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To / Cc / Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
- 絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるau電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。

◎送信時確認表示は非表示に設定することもできます(▶P.94)。

◎フォルダモードでは送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。

◎あらかじめ「自動再送信」(▶P.94)をオンにしておくと、メールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。また、送信予約をすると、日時指定送信か、あるいはお客様のau電話が電波の届かない場所でメールを送信したい場合に範囲内復帰時に自動送信することができます。

宛先を追加・削除する

■宛先を追加する場合

1 送信メール作成画面→未入力のアドレス入力欄の []

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.75)の手順④へ進みます。

未入力のアドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面→入力済みのアドレスの [] → [削除]



- フォルダモードでは入力済みのアドレスの [To] をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先は種類を変更することはできません。

送信予約をする

■ フォルダモードで送信予約する場合

- 1 フォルダモードの送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力→【完了】
- 2 【送信予約】→【OK】

- 3 送信する日付を設定→【設定】

- 4 送信する時間を設定→【設定】

未送信ボックスに④が付いた送信予定のEメールが保存されます。

■ 会話モードで送信予約する場合

- 1 スレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

- 2 【MENU】→【送信予約】→【OK】

- 3 送信する日付を設定→【設定】

- 4 送信する時間を設定→【設定】

スレッド内容表示画面に④が付いた送信予定のEメールが表示されます。



- Eメールの自動送信は20件まで設定できます。
- 送信予約が設定されているメールを編集したり、指定した日時を変更しようとすると、いったん送信予約は解除されます。
- 電波状況などにより、指定した日時に送信できない場合があります。
- 指定した日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
- 日時指定したメールが海外利用中に送信された場合、料金が高額となることがありますのでご注意ください。
- 電波が届かない状態で送信予約をすると、日時指定送信が圏内復帰時に自動送信するかを選択することができます。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件（合計2MB以下）のデータを添付できます。

1 送信メール作成画面→【添付する】

会話モードではスレッド内容表示画面で「④」をタップします。

【Eメールに必要な許可のお願い】画面が表示された場合は、画面の指示に従ってアクセス権限を付与してください。

2	ギャラリー（静止画）	ギャラリーの静止画データを添付します。
	ギャラリー（動画）	ギャラリーの動画データを添付します。
	カメラ（静止画）	静止画を撮影して添付します。
	カメラ（動画）	動画を録画して添付します。
	ストレージ	ファイル種別を選択して内部ストレージまたはmicroSDメモリカードのデータを添付します。
	その他	他のアプリを利用してデータを添付します。

■ 静止画データを添付する場合

3 リサイズするサイズをタップ

静止画データをリサイズして添付することができます。



- 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
- 1データあたり2MB以上の静止画データ（JPEG、PNG）を添付、または合計2MB以上のデータを添付する際、静止画データ（JPEG、PNG）のサイズを縮小する場合があります。
- 静止画データ（JPEG、PNG）のサイズを縮小したい場合には、「画像サイズをケータイ用に変更」にチェックを入れてください。
- 受信側の端末によっては、受信できない、または、正しく表示できない場合があります。
- フォルダモードではデータを添付した後に、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。
- 添付データを削除するには、削除する添付データの【×】→【削除】と操作します。

D絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→ [D絵文字]

会話モードではスレッド内容表示画面で「」をタップします。

2 [D絵文字を探す]

3 メニューリストから探す

au Webポータルに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。

お気に入りからコンテンツを探す

他のアプリを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ 内部ストレージの絵文字を利用する場合

2 [ストレージ]

■ D絵文字パレットのカテゴリを追加する場合

2 [カテゴリ追加]

3 カテゴリ名称を入力→ [作成]

4 作成したカテゴリに表示するデコレーション絵文字を選択→ [追加]

■ カテゴリ順序の入れ替えや編集を行う場合

2 [カテゴリ設定] → [編集]

3 [三] を移動したい位置までドラッグ→ [完了]

追加したカテゴリは「削除」により削除ができます。カテゴリを削除してもデコレーション素材の元データは削除されません。

コミコミを利用する

コミコミは漫画のフキダシにあるセリフを自由に書き換えてメールで送信できるアプリです。コミコミを利用するには、あらかじめauスマートパスから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

1 送信メール作成画面→ [コミコミ]

会話モードではスレッド内容表示画面で「」をタップします。

コミコミアプリで画像を選択し、Eメールアイコンをタップすると添付画像として作成画面に登録されます。

本文入力中にできること

1 送信メール作成画面／会話モードのスレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→ [MENU]

2

削除	Eメールを削除します。 ・会話モードのときのみ選択できます。
検索	▶P.83「Eメールを検索する」 ・会話モードのときのみ選択できます。
送信予約	▶P.77「送信予約をする」 ・会話モードのときのみ選択できます。
アドレス帳引用	連絡先から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 ・冒頭文／署名はあらかじめ登録してください(▶P.93)。
文字サイズ	文字サイズを切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
装飾全解除	すべての装飾を解除します。 ・フォルダモードのときのみ選択できます。

■ フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾してメールを作成することができます。

■ 本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送付できます（デコレーションメール）。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [装飾]

3 装飾の開始位置を選択→【選択開始】→[◀]/[▶]で終了位置を選択

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。

4 文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スwing」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色 ^{※1}	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存された画像やギャラリーの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※1 「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 [完了]→[送信]→[送信]



◎本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。

※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。

※挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。

◎「Eメールにデータを添付する」（▶P.77）の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。

◎装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。

◎手順4で【memo】→[装飾全解除]→[解除]と操作すると、装飾を解除できます。

◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。

◎デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。

◎会話モードでは、本文を装飾できません。

■速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したり、フォント／背景色を変更して、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめau Marketから対応するアプリをダウンロードしてください。

- ・フォルダモードでのみ利用できます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [速デコ]

装飾結果プレビュー画面が表示されます。

「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 [確定]



○装飾結果プレビュー画面で [?] をロングタッチ→【設定】と操作すると、速デコの設定を変更できます。

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が完了すると、以下の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知も「基本通知設定」(▶P.94)または「個別通知設定」(▶P.95)でオフにすることができます。

- ・画面消灯時にEメールを受信すると画面が点灯します。
- ・ロック画面上に通知ポップアップを表示することができます。

※ 初期状態ではオフに設定されています。



《通知ポップアップ》

- ・ステータスバーに  が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
- ・ステータスバーに名前、Eメールアドレス、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前とEメールアドレスが表示されます。

2 ホーム画面で【Eメール】

Eメールのフォルダー一覧画面が表示されます。

- ・新着Eメールがあるフォルダには  (赤色) と件数が表示され、未読Eメールがあるスレッドには  (青色) と件数が表示されます。

3 [受信ボックス]／フォルダをタップ

受信メール一覧画面が表示されます。

4 Eメールをタップ

Eメール詳細表示画面が表示されます。



- ◎Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに  が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」(▶P.92) をオフに設定している場合は、バックグラウンドで受信しません。
- ◎「メール自動受信」(▶P.92) をオフに設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り  が表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」(▶P.83) の操作を行い、Eメールを受信してください。
- ◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもデータ通信料がかかる場合があります。
- ◎受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- ◎受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 Eメール詳細表示画面を表示

2 添付データをタップ→ [表示]

未受信の添付データは、添付データのファイル名をタップすると受信が開始されます。受信完了後、もう一度添付データをタップ→ [表示] と操作してください。



- ◎通常のEメール（テキストメール）では、添付データがオンライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。
※ データによっては、オンライン再生されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を内部ストレージまたはmicroSDメモリカードに保存できます。

1 Eメール詳細表示画面→添付データをタップ

2 [ストレージへ保存]

3 [保存]

保存先を変更せずに「保存」をタップした場合は、「マイファイル」(▶P.164) の「MyFolder」フォルダ（「MyFolder」は「private」→「au」→「email」内に表示）に保存されます。



◎添付画像を保存する保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。

◎未受信の添付画像は保存できません。サーバーから画像を受信してから操作してください (▶P.81)。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 Eメール詳細表示画面／会話モードのスレッド内容表示画面を表示

■ 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ

- 差出人／宛先のEメールアドレスはフォルダモードのときのみ利用できます。

3	Eメール作成	選択したEメールアドレス宛てにEメールを作成します。 ・選択メニューが表示された場合は、使用するアプリを選択してください。
	アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを連絡先に登録します。
	アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
	振分け条件に追加 ^{*1}	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 【新規振分けフォルダ作成】／【「×××」（×××はフォルダ名）に追加】→【保存】 ・ロックされたフォルダ（▶P.89）を選択した場合は、フォルダロックの解除パスワードを入力します。 ・「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.87「フォルダを作成／編集する」
	拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.98「迷惑メールフィルターを設定する」
	迷惑メール報告 ^{*1}	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

*1 フォルダモードのときのみ選択できます。

■件名をコピーする場合

2 Eメール詳細表示画面で件名をタップ→【コピー】

■本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3	音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
	特番付加184	選択した電話番号に「184（発信者番号非通知）」を付加して電話をかけます。
	特番付加186	選択した電話番号に「186（発信者番号通知）」を付加して電話をかけます。
	au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 ・au国際電話サービスを利用した国際電話のかかけたについては、下記のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
	SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.101「SMSを送信する」
	アドレス帳登録	選択した電話番号を連絡先に登録します。
	電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3	開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。
	URLをコピー	選択したURLをコピーします。



◎本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」(▶P.92) をオフに設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 ホーム画面で【Eメール】

2 【新着問合せ】

新着のEメールがあるかどうかを確認します。



◎会話モードではスレッド内容表示画面で、メール作成バーより上の部分を上方へスクロールさせ、指を離しても新着メールを問い合わせて受信することができます。

Eメールを検索する

1 ホーム画面で【Eメール】

2 【MENU】 → 【全検索】

3 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

4 【🔍】／キーボードの【🔍】

検索結果一覧画面が表示されます。

日時が新しいEメールから順に表示されます。

フォルダ一覧画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。



◎「🕒」をタップすると、キーワード検索以外にも検索条件のアイコンをタップしたり、日付を指定して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールをフォルダモードで確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。

送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面で【Eメール】

フォルダ一覧画面が表示されます。

受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。

未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます(送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります)。

■受信メールを確認する場合

2 【受信ボックス】または【フォルダ】を選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール詳細表示画面が表示されます。

【返信】：返信のEメールを作成

【転送】：転送のEメールを作成

【保護】／【保護解除】：Eメールを保護／保護解除

【フラグ】／【フラグ解除】：Eメールにフラグを付ける／フラグを解除

Ⓐ：前のEメールを表示

Ⓑ：次のEメールを表示

■送信メールを確認する場合

2 【送信ボックス】または【フォルダ】を選択

送信メール一覧画面が表示されます。

フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール詳細表示画面が表示されます。

〔再送信〕：同じEメールをもう一度送信

〔コピー/編集〕：コピーして編集

〔保護〕／〔保護解除〕：Eメールを保護／保護解除

〔フラグ〕／〔フラグ解除〕：Eメールにフラグを付ける／フラグを解除

〔□〕：前のEメールを表示

〔□〕：次のEメールを表示

■ 未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]

未送信メール一覧画面が表示されます。

送信に失敗したEメールをロングタッチ→〔送信失敗理由〕と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。

日時指定した送信予約メールをロングタッチ→〔送信予約情報〕と操作すると、送信日時を確認できます。送信日時を編集すると、いったん送信予約は解除されます。

送信予約メールをロングタッチ→〔送信予約解除〕と操作すると、送信予約が解除されます。

3 Eメールをタップ

未送信メールをタップした場合、未送信メール詳細表示画面が表示されます。

送信予約メールをタップした場合、送信予約メール詳細表示画面が表示されます。

〔送信〕：宛先が入力されているEメールを送信

〔編集〕：Eメールを編集

〔コピー/編集〕：保護されたEメールをコピーして編集

〔保護〕／〔保護解除〕：Eメールを保護／保護解除

〔フラグ〕／〔フラグ解除〕：Eメールにフラグを付ける／フラグを解除

〔□〕：前のEメールを表示

〔□〕：次のEメールを表示



memo

○宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。

○受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。

○受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。

○送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメール、送信予約メールは削除されません。

Eメール一覧画面でできること

1 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→〔MENU〕

2

削除

Eメールを削除します。

削除するEメールにチェックを入れる→〔削除〕→〔削除〕

- ・「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。
- ・保護されたEメールは選択できません。

検索

▶P.83「Eメールを検索する」

移動

Eメールを移動します。

移動するEメールにチェックを入れる→〔移動〕→移動先のフォルダを選択

- ・あらかじめフォルダを作成してください(▶P.87)。
- ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。

保護／解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 保護／解除するEメールにチェックを入れる→【保護】／【解除】 <ul style="list-style-type: none"> 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,750件まで保護できます。 送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または750件まで保護できます。
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 フラグを付ける／外すEメールにチェックを入れる→【つける】／【解除】 <ul style="list-style-type: none"> 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに、挿入されていない場合は内部ストレージに保存します。 保存するEメールにチェックを入れる→【保存】 <ul style="list-style-type: none"> 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.97）。
フォルダ編集	表示中の受信ボックス／フォルダを編集します。 ▶P.87「フォルダを作成／編集する」
選択受信	本文が未受信のEメールの本文を取得します。 本文を取得するEメールにチェックを入れる→【受信】 <ul style="list-style-type: none"> 「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。

※ 画面により選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→操作するEメールをタップ

2	返信	Eメールに返信します。 <ul style="list-style-type: none"> 送信メール作成画面が表示されます。 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 宛先には、差出人／返信先のEメールアドレスが入力されます。
	全員に返信	同報されている全員に返信します。 <ul style="list-style-type: none"> 送信メール作成画面が表示されます。 宛先が複数ある場合のみ選択できます。
	転送	転送するEメールを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> 送信メール作成画面が表示されます。 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
	送信	未送信のEメールを送信します。 <ul style="list-style-type: none"> 宛先がないEメールでは表示されません。
	編集	未送信のEメールを編集して送信します。 <ul style="list-style-type: none"> 送信メール作成画面が表示されます。
	コピー／編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 <ul style="list-style-type: none"> 送信メール作成画面が表示されます。
	保護／保護解除	Eメールを保護します。 <ul style="list-style-type: none"> 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
	フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 <ul style="list-style-type: none"> フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
	送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
	送信予約情報	送信予約日時を確認します。

送信予約解除	送信予約を解除します。
削除	Eメールを削除します。
移動	Eメールを移動します。 移動先のフォルダを選択 ・あらかじめフォルダを作成してください (►P.87)。
拒否リスト登録	選択したメールアドレスを、迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ►P.98 「迷惑メールフィルターを設定する」
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

※ 画面により選択できる項目は異なります。

Eメール詳細表示画面でできること

- 1 受信メール詳細表示画面／送信メール詳細表示画面／未送信メール詳細表示画面／送信予約メール詳細表示画面
→ [MENU]

2 削除	Eメールを削除します。
転送	転送するEメールを作成します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
移動	Eメールを移動します。 移動先のフォルダを選択 ・あらかじめフォルダを作成してください (►P.87)。

本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップする、または [] / [] でカーソルを移動→ [選択開始] → [] / [] で選択範囲を指定→ [コピー] ・ Eメール詳細表示画面で本文を長タップ→ [本文選択] と操作しても本文選択画面を表示できます。 ・ 本文選択画面で文字列をダブルタップ→ [] / [] をドラッグして選択範囲を指定(または[全て選択]をタップして本文全体を選択)→ [コピー] と操作することもできます。 ・ 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 ・ 紫文字やインライン画像もコピーできます。 ・ 一部の装飾(文字位置／効果、背景色)はコピーされません。
文字サイズ	本文の文字サイズを切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
送信予約情報	送信予約日時を確認します。
送信予約解除	送信予約を解除します。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。
ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに、取り付けられていない場合はシステムメモリ(本体)に保存します。 ・ 保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます(►P.97)。
文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift_JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 ・ 変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。

※ 画面により項目の表示順や選択できる項目は異なります。

フォルダ一覧画面でできること

1 フォルダ一覧画面→ [MENU]

2 全検索	▶P.83「Eメールを検索する」
フォルダ編集	▶P.87「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 削除するフォルダにチェックを入れる→ [削除] → [削除] <ul style="list-style-type: none">・ロックされたフォルダは選択できません。・フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 <ul style="list-style-type: none">・ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロックの解除パスワードを入力します。
同期設定	タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した後で、本製品とタブレットを同期するための設定を行います。



同期設定について

- ◎タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した場合、本製品とタブレットを同期するため、メールの保存先が「端末（ローカル）」から「メールサーバー」に変更となります。
- ◎同期設定前に送受信したメールがある場合、該当のメールはすべて「過去メール」ボックスに保存されます。
- ◎その他の変更点については、auホームページをご参照ください。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

■ フォルダを作成する

1 フォルダ一覧画面→ [フォルダ作成]

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■ フォルダアイコンを変更する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ

4 アイコンを選択→カラーを選択→ [OK] → [保存]

■ フォルダ画像を設定する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ→ [ギャラリーから写真を選択]

4 画像を選択→切り抜き範囲を指定→ [切り抜き] → [OK] → [保存]

メール



◎最大20個のフォルダを作成できます。

■ フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 フォルダ一覧画面→ [MENU] → [フォルダ編集] → フォルダを選択

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロックの解除パスワードを入力します。

■ 振分け条件を設定する場合

2 [振分け条件追加] → [▾]

3 メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 Eメールアドレスを入力→ [OK] → [保存] ・ <input checked="" type="checkbox"/> をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け*1」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 ドメインを入力→ [OK] → [保存] ・ <input checked="" type="checkbox"/> をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け*1」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 件名を入力→ [OK] → [保存] ・ 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

*1 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

■ アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 「アドレス帳登録外」／「不正なメールアドレス」にチェックを入れる→ [保存]



振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。

全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。

同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。

「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある をタップして、条件を編集したり、削除することができます。

振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。

一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス>ドメイン>件名>その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン>2番目のメールアドレス／ドメイン>…>最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーションなどを設定できます。

1 フォルダ一覧画面→ [MENU] → [フォルダ編集] → 受信ボックス／フォルダを選択

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロックの解除パスワードを入力します。

2 [フォルダ別設定]

3

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	端末本体にプリセットされている着信音／通知音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	microSDメモリカードまたは内部ストレージの音楽を着信音に設定します。
その他		他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 [OFF]／パターンを選択→[OK]	
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.80「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.80「Eメールを受信する」	

4 [OK] → [保存]

■ フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロックの解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。あらかじめ「Eメール設定」の「プライバシー設定」でフォルダロックの解除パスワードを設定してください(▶P.91)。

1 フォルダ一覧画面→[MENU]→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダを選択

2 [フォルダロック]→フォルダロックの解除パスワードを入力→[OK]

「フォルダロック」にチェックが入ります。フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 [保存]

■ フォルダを並び替える

1 フォルダ一覧画面→移動するフォルダをロングタッチ
画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 移動する場所までドラッグして指を離す



◎作成したフォルダ以外は移動できません。

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにスレッドにまとめて表示されます。新着のEメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

1 ホーム画面で【Eメール】→【切替】

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。

- 新着Eメールがあるスレッドには●(赤色)、未読Eメールがあるスレッドには●(青色)が表示されます。

2 確認するスレッドをタップ

スレッド内容表示画面が表示され、Eメールを確認できます。

スレッド一覧画面でできること

1 スレッド一覧画面→【MENU】

2 削除

選択したスレッドをすべて削除します。

削除するスレッドにチェックを入れる→【削除】→【削除】

- スレッド内のEメールはすべて削除されます。
- 「全選択」をタップすると、一覧表示しているスレッドをすべて選択できます。
- スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。
- 削除するスレッドをロングタッチ→【削除】→【削除】と操作しても削除できます。

全検索

▶P.83「Eメールを検索する」

件名を表示／件名を非表示

件名の表示／非表示を設定します。

同期設定

タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した後で、本製品とタブレットを同期するための設定を行います。

スレッド内容表示画面でできること

1 スレッド内容表示画面→【MENU】

2 削除

Eメールを削除します。

検索

▶P.83「Eメールを検索する」

Eメールを個別に操作する

1 スレッド内容表示画面→操作するEメールをロングタッチ

2 詳細表示

Eメール詳細表示画面を表示します。

転送

転送するEメールを作成します。

- 送信メール作成画面が表示されます。
- 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
- 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。

保護／保護解除

Eメールを保護します。

- 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。

フラグ／フラグ解除

Eメールにフラグ付けます。

- フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。

削除

Eメールを削除します。

コピー

テキストをコピーします。

画像保存

オンライン画像を保存します。

迷惑メール報告

表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

文字コード

文字コードを変更します。

共有

データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※ Eメールにより選択できる項目は異なります。

Eメールを設定する

1 ホーム画面で【Eメール】

2 [MENU] → [Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

3	受信・表示設定	▶P.92「受信・表示に関する設定をする」
	送信・作成設定	▶P.93「送信・作成に関する設定をする」
	通知設定	基本通知設定 ▶P.94「通知に関する設定をする」 個別通知設定 ▶P.95「個別の通知に関する設定をする」
	添付ファイル保存設定^{*1}	保存場所の設定 メールにファイルが添付されているとき、添付ファイルが自動的に保存される場所を選択します。 本体メモリに保存：本体メモリに保存します。 ストレージに保存：内部ストレージに保存します。 添付ファイル一括移動 自動的に保存された添付ファイルを別の場所にまとめて移動します。 ストレージへ一括移動：本体メモリから内部ストレージに移動します。 本体メモリへ一括移動：内部ストレージから本体メモリに移動します。

プライバシー設定	パスワード設定／パスワード変更 フォルダロック、シークレット機能のパスワードを設定／変更します。 パスワード（4～16文字の英数字）を入力→【OK】→同じパスワードを再度入力→【OK】→ひみつの質問を選択→【OK】→ひみつの質問の回答を入力→【OK】 <ul style="list-style-type: none">・パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。・フォルダロック解除時にパスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。【表示する】→回答を入力→【OK】と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット パスワードをリセットします。 パスワードを入力→【OK】→【リセット】 <ul style="list-style-type: none">・パスワード未設定の場合は選択できません。・パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。
	シークレット シークレット機能の有効／無効を設定します。 パスワードを入力→【OK】 <ul style="list-style-type: none">・表示されるシークレットモードの説明をよくお読みになりご利用ください。・パスワード未設定の場合は設定できません。・シークレット機能を有効／無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。

バックアップ・復元	▶P.96「Eメールをバックアップ／復元する」
auアプリサイドメニュー連携設定	<p>auアプリサイドメニュー連携設定</p> <p>サイドメニューから、KDDI提供のauサービス・アプリへのアクセス数集計に必要な情報の取得・収集に関する設定を行います。</p> <p>また、当設定を実施することで、サイドメニュー内のお知らせ表示の状態を、KDDI提供のauアプリ間で連携することができます。</p> <p>[auアプリサイドメニュー連携設定] → [設定する] / [設定しない] → [完了]</p>
プライバシーポリシー	お客様情報の外部送信について表示します。

※1 受信／送信／未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減することができます。本操作の「添付データ」はファイル検索を行ってもデータを確認することができません。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付画像を保存する」(▶P.81)をご参照ください。

受信・表示に関する設定をする

1 Eメール設定画面→【受信・表示設定】

2

メール自動受信

サーバーに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバーに到着したことをお知らせします。

メール受信方法

全受信 差出人・件名と本文を受信します。

指定全受信

*1 指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。

アドレス帳：連絡先に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信します。

個別アドレスリスト：「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信します。

個別アドレスリスト編集：個別アドレスを登録します。

- ・ をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け^{※2}」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。

- ・ 登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの → [削除] と操作します。

差出人・件名受信^{※1}

差出人・件名のみを受信します。

添付自動受信

受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。

添付自動受信 サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」	
アドレス帳登 録名表示	連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定しま す。	
プロフィール アイコンを表 示	プロフィールアイコンを表示するかどうかを設定しま す。	
プロフィール アイコン色の リセット	プロフィールアイコンの背景色をリセットします。	
マガジン ビュー	マガジンビューを使用するかどうかを設定します。	
文字サイズ	Eメール詳細表示画面／送信メール作成画面の本文の文 字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」	
外部画像表 示アドレス	外部のWebサイトに表示された画像を常に表示するア ドレスの確認、削除をします。	
テーマ設定	Eメールアプリの画面デザインを設定します。	
背景画像設定	背景画像 (縦画面)	背景画像を設定します。 【設定する】→画像を選択→切り抜き 範囲を指定→【切り抜き】 <ul style="list-style-type: none">選択メニューが表示された場合は、使 用するアプリケーションを選択してく ださい。
	背景画像 (横画面)	
フォルダ表 示形式	フォルダー覧の表示形式をグリッド表示かツリー表示に 切り替えます。	

※1 差出人・件名のみを受信したEメールは、受信メール一覧画面でEメールをタップす
ると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール詳細表示画面が表示されたと
きは、【】→【本文受信】→【本文取得】と操作すると、本文を取得できます。本
文受信は、電波状態の良いところで行ってください。

※2 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

送信・作成に関する設定をする

1 Eメール設定画面→【送信・作成設定】

2

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、 宛先に設定されるアドレスを設定します。 【設定する】→返信先のEメールアドレス（半 角64文字まで）を入力→【OK】
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 【設定する】→差出人名称を入力→【OK】
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 【設定する】→冒頭文(全角833／半角2,500 文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBま で)を入力→【完了】→【設定】 <ul style="list-style-type: none">冒頭文には、最大10種類の画像／デコレ ーション絵文字を挿入できます。冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコ レーション絵文字の制限（最大20種類、または は合計100KB以下）に達した場合は、本文 入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入 できません。冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、 冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は 異なるファイルとして扱われます。会話モードでは自動的に挿入されないので、 スレッド内容表示画面で本文入力欄をタップ →【】→【挿入】→【冒頭文】と操作し て挿入してください。

署名	<p>本文の末尾に挿入する文を設定します。 [設定する] → 署名 (全角833 / 半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで) を入力 → [完了] → [設定]</p> <ul style="list-style-type: none"> 署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 会話モードでは自動的に挿入されないので、スレッド内容表示画面で本文入力欄をタップ → [] → [挿入] → [署名] と操作して挿入してください。
返信メール引用	<p>返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 会話モードでは、チェックを入れてオンに設定していても受信メールの内容は引用されません。
送信時確認表示	誤送信防止のために送信時の確認画面を表示するかどうかを設定します。
自動再送信	送信に失敗したメールを自動的に再送信するかどうかを設定します。
宛先候補表示	宛先入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面 → [通知設定] → [基本通知設定]

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音通知音	端末本体にプリセットされている着信音／通知音を設定します。
	ストレージから探す	microSDメモリカードまたは内部ストレージの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF] / パターンを選択 → [OK]	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」	<ul style="list-style-type: none"> 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
ステータスバー通知	Eメール受信時のステータスバーの通知について設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」「OFF」	
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。	
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.80「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.80「Eメールを受信する」	
電源キー押下による着信音鳴動停止	着信音鳴動中に[]（電源キー）を押して着信音を停止するかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> 着信音が停止するのは、画面が点灯／消灯するタイミングです。

個別の通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→【通知設定】→【個別通知設定】

2 【新規設定】

3 【アドレス帳引用】／【メール受信履歴引用】／【メール送信履歴引用】→設定するアドレスを選択

「メール受信履歴引用」／「メール送信履歴引用」をタップした場合は、設定するアドレスにチェックを入れる→【選択】と操作します。

4	着信音	OFF Eメールプリセット 着信音 通知音 ストレージから探す その他	着信音が鳴りません。 Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。 端末本体にプリセットされている着信音／通知音を設定します。 microSDメモリカードまたは内部ストレージの音楽を着信音に設定します。 他のアプリを利用して着信音を設定します。
	バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 【OFF】／パターンを選択→【OK】	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。
	着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」
	通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.80「Eメールを受信する」	Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.80「Eメールを受信する」
	メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.80「Eメールを受信する」	Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.80「Eメールを受信する」

Eメールアドレスの変更やその他の設定をする

1 【MENU】→【アドレス変更／フィルター設定】

2 Eメールアドレスの変更へ

EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。

1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→【送信】

2. 【承諾する】

3. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分（変更可能部分）を入力→【送信】→【OK】

- Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数字小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「_」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。

- 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

- 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。

- Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。

迷惑メールフィルターの設定／確認へ

オススメの設定はこちら

▶P.98「迷惑メールフィルターを設定する」

自動転送先の設定へ

本製品で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。

- 1.暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]
 - 2.Eメールアドレス入力欄をタップ→転送先のEメールアドレスを入力→[送信]
- ・自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。
 - ・自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。
 - ※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。
 - ・「エラー！Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。
 - ・Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。
 - ・自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。



◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールを2つの方法でバックアップすることができます。また、バックアップしたメールデータは本製品へ読み込むことができます。



◎ 本製品ではバックアップしたデータは、microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカード（/外部SDカード/private/au/email/BU）に、取り付けられていない場合はシステムメモリ（本体）（/内部ストレージ/private/au/email/BU）に保存されます。

メールデータをバックアップする

メールデータ（メール本文・添付ファイル）をバックアップすることができます。

- 1 **Eメール設定画面→[バックアップ・復元]**
- 2 **[メールデータバックアップ]→[OK]**
microSDメモリカードが取り付けられている場合は、バックアップデータをmicroSDメモリカードに保存できます。
- 3 **バックアップするデータを作成するための文字コードを選択→[OK]**
文字コードについては「ヘルプ」をタップしてご確認ください。
- 4 **バックアップするフォルダにチェックを入れる→[OK]**
ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロックの解除/パスワードを入力します。
会話モードではバックアップするメール種別を選択します。

メールデータを復元する

バックアップしたメールデータ（メール本文・添付ファイル）を復元することができます。

- 1 Eメール設定画面→ [バックアップ・復元]
- 2 [メールデータ復元]
- 3 復元するメール種別を選択→ [OK]
- 4 復元するバックアップデータにチェックを入れる→ [OK]
 - ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
 - ・「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
 - ・「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。
- 5 [追加保存]／[上書き保存]→ [OK]

「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。



◎添付されたデータもバックアップできます。

※ バックアップしたファイルサイズが端末本体に保存可能なサイズを超過した場合はバックアップできません。不要な添付ファイル付きメールを削除したうえで再度バックアップを行ってください。

◎メールデータのバックアップでは、シークレット機能を有効にし、シークレット機能が一時解除されている状態ではバックアップ、復元がご利用いただけません。シークレット機能を無効にしたうえでバックアップ、復元の操作を行っていただくか、まるごとバックアップをご利用ください。

◎シークレット機能を有効にしてメールデータのバックアップを行うと、シークレット対象のメールデータはバックアップされませんのでご注意ください。

◎バックアップしたメールデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、選択したメール種別に応じて、「受信ボックス」／「送信ボックス」／「未送信ボックス」に保存されているすべてのEメールを削除して（保護されているメールデータや未読メールも削除されます）、バックアップしたメールデータを復元します。

◎復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得することはできません。

Eメールをまるごとバックアップする

Eメールアプリに保存されているメールデータ（メール本文・添付ファイル）、Eメール設定、振分け条件を、まるごとバックアップすることができます。シークレット対象のメールデータもバックアップできます。

- 1 Eメール設定画面→ [バックアップ・復元]

- 2 [まるごとバックアップ]

バックアップデータは、microSDメモリカードが取り付けられている場合は、microSDメモリカードに保存されます。

まるごとバックアップデータを復元する

まるごと復元を実施すると、現在Eメールアプリに保存されているメールデータ（本文・添付ファイル）、Eメール設定、振分け条件をすべて消去し、復元します。

- 1 Eメール設定画面→ [バックアップ・復元]

- 2 [まるごと復元]

- 3 復元するバックアップデータにチェックを入れる→ [OK]

■復元前にメールデータがない場合

- 4 [OK]

■復元前にメールデータをバックアップする場合

4 [バックアップ] → [OK]

シークレット機能を有効にしてメールデータバックアップを行うと、シークレット対象のメールはバックアップされません。

5 バックアップするデータを作成するための文字コードを選択→ [OK]

文字コードについては「ヘルプ」をタップしてご確認ください。

6 バックアップするフォルダにチェックを入れる→ [OK]

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロックの解除パスワードを入力します。
会話モードではバックアップするメール種別を選択します。

7 [OK] → [OK] → [OK]

■復元前にメールデータをバックアップしない場合

4 [まるごと復元] → [OK] → [OK]



◎まるごと復元が完了するとEメールアプリが再起動されます。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりますとしてくるEメールを拒否する機能があります。

1 [MENU] → [アドレス変更／フィルター設定]

■おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこれら] → [OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ] → 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→ [送信]

オススメ設定	オススメ設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
個別設定	受信リストに登録／アドレス帳受信設定をする	<p>個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。</p> <p>受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールをすべてブロックする場合は、「個別設定」の「携帯／PHS以外からのメールを拒否する」を「設定する」に設定し、「携帯／PHS等の事業者毎に受信／拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」すべての事業者を「受信しない」に設定してください。</p> <p>※「必ず受信」にチェックを入れることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。ただし、「ご自身のEメールアドレス」またはその一部（@ezweb.ne.jp）などを設定する場合は、「必ず受信」のチェックを外してください。</p> <p>アドレス帳受信設定へ：</p> <p>「auアドレス帳」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。</p>
	拒否リストに登録する	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯／PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯／PHS事業者ごとにメールを一括で受信／拒否します。

個別設定	その他の詳細設定をする	<p>迷惑メールおまかせ規制： メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。</p> <p>なりすまし規制： 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。（高）（低）の2つの設定を選択いただけます。</p> <p>※ 以前ご利用の携帯電話で（中）を設定されている場合も（高）（低）のみ選択可能です。</p> <p>※「受信リスト設定」の「必ず受信」にチェックを入れて登録することにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。</p> <p>HTMLメール規制： メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。</p> <p>URLリンク規制： 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。</p> <p>ウィルスメール規制： 添付ファイルがウィルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。</p>
全ての設定を一括解除する		迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

- ※ 「ヘルプ」をタップすると迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。
- ※ 最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。



- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- ◎ 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
 ウイルスメール規制>受信リスト設定（「必ず受信」チェック有り）>なりすまし規制>拒否リスト設定>受信リスト設定>アドレス帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>携帯／PHS以外のメール拒否設定>迷惑メールおまかせ規制
- ◎ 「受信リスト設定（「必ず受信」チェック有り）」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「受信リスト設定（「必ず受信」チェック有り）」に登録することにより、そのメールアドレスが>To(宛先) もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※ Bcc(窓口)のみに含まれていた場合(一部メールマガジン)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- ◎ 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
- ◎ 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。

◎ 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。

この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証（SPFレコード記述）を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。

※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「受信リスト設定（「必ず受信」チェック有り）」に登録してください。

SMSを利用する

「SMS」アプリはau電話番号でメッセージのやりとりができるアプリケーションです。

au電話番号宛だけでなく、国内他事業者や海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【SMS】

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 【+】

SMS作成画面が表示されます。

- 同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、手順4へ進みます。

3 [宛先を入力] →相手先電話番号を入力

【国】→連絡先から相手先を選択することもできます。

海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

010 + 国番号 + 相手先電話番号

※ 相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

※ 連絡先から相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

4 [メッセージを入力] →本文を入力

本文は、全角最大70／半角最大160文字まで入力できます。

5 [送信]

送信したメッセージをロングタッチ→【送達確認結果】と操作すると送信結果を確認できます。



◎メッセージ作成中に【ト】をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。

◎SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり（蓄積）可能時間	72時間まで ※ 蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	300件 ※ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されたたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

◎発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。

◎絵文字を他社の携帯電話に送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。

また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換される場合があります。

◎SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに【△】が表示される場合があります。

◎国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/sms/>

◎「ギャラリー」アプリの共有などから「簡単に共有」を利用する場合、共有相手にSMSが送信されることがあります。「SMS」アプリには送信履歴が残りません。また、ご利用の料金プランに応じた送信料が発生します。

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、ポップアップ通知され、メール受信音が鳴ります。

2 ホーム画面で【基本フォルダ】→【SMS】

未読のSMSがあるスレッドには  が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。



◎SMSの受信は、無料です。

◎受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。

◎スレッド内容表示画面で  →  と操作すると、相手先に電話をかけることができます。

◎受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

◎受信したSMSがダイアログ表示される場合があります。「閉じる」をタップするとメッセージを破棄します。

◎本体メモリ（内部ストレージ）が不足した場合、SMSを正しく受信できません。

◎データお預かりアプリでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

SMSを返信／転送する

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【SMS】

2 返信／転送するスレッドをタップ

■返信する場合

3 【メッセージを入力】→本文を入力

4 【送信】

■転送する場合

3 転送するメッセージをロングタッチ

オプションメニューが表示されます。

4 【転送】

5 【宛先を入力】→相手先電話番号を入力

 →連絡先から相手先を選択することもできます。

6 【本文を入力】

7 【送信】

電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面を表示

■本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

- 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択してください。

■本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 本文中のEメールアドレスをタップ

3 Eメールを作成

- 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択してください。

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。

- 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択してください。

SMSを保護／保護解除する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ

3 【保護】／【保護解除】

保護したメッセージには  が表示されます。

SMSの電話番号を連絡先に登録する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 → [アドレス帳への登録]

連絡先の登録画面が表示されます。「連絡先を登録」または「連絡先を更新」をタップしてください。詳しくは、「連絡先を登録する」(▶P.118)をご参照ください。

- スレッド一覧画面で登録する相手先の  → [はい] と操作しても連絡先の登録画面が表示されます。

SMSを検索する

1 スレッド一覧画面→ →キーワードを入力 半角と全角を区別して入力してください。

2 キーボードの

検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【SMS】
- 2 1件削除する場合
- 3 削除するメッセージがあるスレッドをタップ
- 4 削除するメッセージをロングタッチ
- 5 【削除】→【削除】
- スレッドごと削除する場合
- 2 削除するスレッドをタップ
- 3 【:】→【メッセージの全件削除】→【削除】
- 複数のスレッドを削除する場合
- 2 削除するスレッドをロングタッチ
- 3 続けて削除するスレッドをタップ
- 4 【:】→【削除】
- すべてのスレッドを削除する場合
- 2 【:】→【全てのスレッドを削除】→【削除】

SMSを設定する

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【SMS】
- 2 【:】→【設定】
SMS設定メニューが表示されます。
- 3

通知設定	SMS受信時のポップアップ通知を設定します。 OFFに設定すると、着信音、バイブレーションもOFFになります。 【差出人・本文】／【差出人】／【通知のみ】 ／【OFF】→【OK】
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 【OFF】／【プリセットから選択】／【ダウンロード曲から選択】→着信音を選択→【OK】
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 【OFF】／【パターンを選択】→【OK】
LED	本製品では設定できません。
文字サイズ	本文の文字サイズを設定します。 【特大】／【大】／【中】／【小】／【極小】→【OK】
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 署名(全角20／半角45文字 ^② まで)を入力→【設定】 ※半角カナは20文字まで
受信フィルター	▶P.105「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手に届いた際、送信したメッセージに <check>を表示させるかどうかを設定します。</check>
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 【ホワイト】／【ブラック】／【ピンク】／【グリーン】／【ブルー】／【オレンジ】→【OK】



◎ SMS設定メニュー→【:】→【初期値に戻す】→【はい】と操作すると、初期値に戻すことができます。

受信フィルターを設定する

1 SMS設定メニュー→【受信フィルター】

2 指定番号	指定した電話番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号リストが表示されます。 入力欄をタップ→登録したい電話番号を入力→【追加】 <ul style="list-style-type: none">■をタップすると、連絡先から宛先を選択して電話番号を登録できます。スレッド内容表示画面で [■] →【受信フィルター登録】→【追加】と操作しても登録することができます。登録した電話番号を削除するには、【削除】→削除したい電話番号にチェックを入れる→【削除】→【はい】と操作します。電話番号は、最大150件まで登録できます。
アドレス帳登録外	連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信しないようになります。

PCメールを利用する

「Eメール」アプリケーションを利用して、普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります (▶P.105)。

PCメールのアカウントを設定する

初めてPCメールを使用するときには、PCメールのアカウントを設定します。

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。
- 登録するメールアカウントによって操作が異なる場合があります。

1 アプリ一覧画面で【Eメール】

2 PCメールのメールアドレスとパスワードを入力

3 【サインイン】

自動的にメールサーバーの設定が行われます。

- 「手動設定」をタップした場合、または「サインイン」をタップしても自動的に設定できない場合は、アカウントタイプの選択画面が表示されます。画面の指示に従い、手動でPCメールアカウントを設定してください。

メールサーバーの設定が完了すると、設定したアカウントのメールが読み込まれ、メール一覧画面（受信トレイ）が表示されます。



- ◎ 2件目以降のPCメールアカウントを設定するには、メール一覧画面で【☰】→【⊕】→【アカウント追加】と操作します。
- ◎ 複数のPCメールアカウントを設定している場合は、メール一覧画面で【☰】→【全てのアカウント】と操作すると、設定したPCメールアカウントの受信メールがすべて表示されます。
- ◎ メール一覧画面で【☰】をタップするとメニュー項目が表示され、フィルターの変更や設定、メールの削除や別のフォルダへの移動などの操作が行えます。

アカウントの設定を変更する

1 アプリ一覧画面で【Eメール】

メール一覧画面が表示されます。

2 【☰】→【⊕】

(メールアドレス)	アカウントを同期	アカウントを同期するかどうかを設定します。
	アカウント名	アカウント名を変更します。
	ユーザー名	ユーザー名（差出人名）を変更します。
	常にCc/Bccに自分を追加	PCメールを送信するときに、自分のメールアドレスにもCc／Bccで送信するかどうかを設定します。
	署名	PCメールを作成するときに自動的に署名を入力するかどうかを設定します。さらに「署名を編集」をタップすると、署名を入力・編集できます。
	画像を表示	メール内の画像を表示するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">「受信サイズの制限」で設定したサイズを超える場合は、画像は表示されません。
	添付ファイルを自動ダウンロード	Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかどうかを設定します。
	同期スケジュール	メールを同期するタイミングなどを設定します。
	同期するEメールの期間	Eメールのサーバーと同期をする期間を設定します。
	受信サイズの制限	受信するEメールのサイズを設定します。

(メールアドレス)	ローミング中の受信サイズを制限	海外利用中に受信するEメールのサイズを設定します。
	サーバー設定	受信メールサーバーと送信メールサーバーを設定します。
メールボックスを管理	メールボックスの表示／非表示や並べ替えができます。	
表示形式	メール一覧画面の表示形式を設定します。	
内容のサイズを自動調整	画面に合わせてPCメールを縮小表示します。メール詳細画面で拡大することができます。	
通知	VIP	優先送信元からPCメールを受信したときに、通知音や振動でお知らせするかどうかを設定します。通知音／バイブのオン／オフを個別に設定することもできます。
	(メールアドレス)	特定のメールアドレスでPCメールを受信したときに、通知音やバイブでお知らせするかどうかを設定します。通知音／バイブのオン／オフを個別に設定することもできます。
迷惑メールアドレス	迷惑メールとして登録した送信元アドレスとドメインのリストを編集します。	
分割表示モード	横画面表示のときに、分割表示を有効にするかどうかを設定します。	
削除時に確認	Eメールを削除するときに確認するかどうかを設定します。	
Eメールについて	Eメールのバージョンを表示します。	



◎アカウントによって、表示される項目が異なることがあります。また、前記以外の項目が表示される場合もあります。

PCメールのアカウントを削除する

- メール一覧画面→ [] → [] → 削除したいアカウントをタップ
- [削除] → [削除]

PCメールを送信する

1 メール一覧画面→[②]

メール作成画面が表示されます。

- 複数のPCメールアカウントを設定している場合は、メール作成画面で「送信元」欄をタップすると、メールアカウントを切り替えられます。

2 「宛先」欄をタップ→宛先を入力

- CcまたはBccを追加するには、[④] → 「Cc」／「Bcc」欄をタップします。
- アルファベットまたは名前を入力すると、登録されている連絡先に前方一致するメールアドレスの候補表示をします。
- 又をタップすると、連絡先からメールアドレスを選択して入力できます。
- 宛先を削除するには、宛先の[⑤]をタップします。[⑤]が表示されていない場合は、再度「宛先」欄をタップすると表示されます。

3 「件名」欄をタップ→件名を入力

4 本文欄をタップ→本文を入力

5 必要に応じて添付／挿入操作を行う

- 添付する場合は「添付」をタップします。本文中に挿入する場合は「[⑥]」→「リッチテキストメニューを表示」をタップして本文装飾メニューを表示し、[⑦]をタップします。
- 添付は「ドキュメント」「ギャラリー」「その他」などから選択できます。
- 挿入は「カメラ」「ギャラリー」「その他」などから選択できます。

6 [送信]



○作成中のメッセージを下書きに保存するには [⑧] → [下書きに保存]をタップします。

PCメールを受信する

1 メール一覧画面→[③]→確認したいアカウント名をタップ

2 メール一覧を下にスライド

3 メールをタップ

メール詳細画面が表示されます。



○新しいメールの受信をお知らせする[✉]がステータスバーに表示されます。

○受信したPCメールのアドレスをタップすると、連絡先に登録したり、連絡先に登録済みの場合は連絡先の内容を表示したりすることができます。

○メール詳細画面で「[⋮]」をタップするとメニュー項目が表示され、メールの移動やファイルとしての保存などの操作が行えます。

添付ファイルを保存する

1 メール詳細画面→添付ファイル欄をタップ

添付ファイルの一覧が表示されます。

2 保存したいファイルの【保存】

添付ファイルは、「ギャラリー」(▶P.126)の「Download」フォルダに保存されます。

- 複数の添付ファイルがある場合は「全て保存」が表示され、タップするとすべての添付ファイルを保存できます。



○添付ファイルのあるメールは、メール一覧画面に[📎]が表示されます。

■ メールを別のフォルダに移動する

1 メール一覧画面→移動したいメールをロングタッチ→移動したいメールにチェックを入れる→ [⋮] → [移動]

2 移動したいフォルダをタップ



- ◎ フォルダを作成するには、メール一覧画面で画面上部の [⋮] → [全てのフォルダ] → [フォルダを作成] → 作成先を選択→ フォルダ名を入力→ [作成] と操作します。
- ◎ 登録したアカウントによっては、フォルダへの移動や、フォルダの作成ができない場合があります。

PCメールを削除する

1 メール一覧画面→削除したいメールをロングタッチ→削除したいメールにチェックを入れる

2 [削除] → [削除]



- ◎ メール詳細画面→ [削除] → [削除] と操作しても、メールを削除できます。

PCメールを返信／転送する

1 メール詳細画面→ [返信] / [転送]

複数の宛先が含まれているメールの場合は、「全員に返信」をタップすると、全員に返信することができます。

2 本文を入力

「転送」をタップした場合は、「宛先」→転送先の宛先を入力します。「元の宛先を含める」にチェックを付けると、元メールの宛先を追加できます。

3 [送信]

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます。

- ・Gmailの利用にはメールアドレスの設定が必要です。メールアドレスの設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。

Gmailを送信する

- 1 ホーム画面で [Google] → [Gmail]
- 2 []
- 3 [To] →宛先を入力
- 4 [件名] →件名を入力
- 5 [メールを作成] →本文を入力
- 6 []
[] → [下書きを保存] と操作すると下書き保存されます。

Gmailを受信する

- 1 ホーム画面で [Google] → [Gmail]
- 2 受信したメールをタップ

Gmailのメニューを利用する

Gmail受信トレイ画面で [] をタップするとメニュー項目が表示され、設定などの操作が行えます。

- ・ [] → [設定] →設定するメールアドレスをタップ→ [ラベルの管理] と操作すると、メールの同期と通知設定ができます。
- ・ メニュー項目画面上部のアカウント名をタップすると受信トレイのカテゴリを切り替えたり、別のフォルダを表示することができます。

インターネット

インターネットに接続する	112
データ通信を利用する	112
ブラウザを利用する	113
Webページを表示する	113
ブックマーク／履歴を利用する	115
ブラウザを設定する	116

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN（Wi-Fi®）機能を使用してインターネットに接続できます。

- ・データ通信（▶P.112「データ通信を利用する」）
- ・無線LAN（Wi-Fi®）機能（▶P.170「無線LAN（Wi-Fi®）機能」）



◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用できません。

データ通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面で「基本フォルダ」→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「APN」→「LTE NET for DATA」を選択してください。



◎LTEフラットなどのデータ通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、データ通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

■データ通信ご利用上の注意

- ・画像を含むホームページの閲覧、動画データのダウンロード、通信を行うアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額／割引サービスの加入をおすすめいたします。
- ・ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://www.au.com/support/>

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

Webページを表示する

1 ホーム画面で【ブラウザ】

ブラウザ画面が表示されます。



◎ ブラウザ画面では、本製品を横向きにして閲覧することもできます。本製品を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、通知パネルを開く→「回」と操作します。

Webページを移動する

1 ブラウザ画面→画面上部のアドレスバーをタップ→[×] 検索／URL入力欄が表示されます。

2 URLまたは検索したいキーワードを入力

検索候補の一覧が検索／URL入力欄の下に表示されます。

3 検索候補から目的の項目を選択／キーボードの【実行】 Google検索の検索結果が表示された場合は、目的の項目を選択します。



◎ 検索／URL入力欄のマイクをタップすると、音声で検索したいキーワードを入力できます。

ブラウザ画面のメニューを利用する

ブラウザ画面で【:】をタップするとメニュー項目が表示され、Webページの保存やブックマークに追加、ブラウザの設定などの操作が行えます。

タブを利用する

Webページを表示中に新しいタブを開くことができます。

■新しいタブを開く

1 ブラウザ画面→【タブ】→【新規タブ】

新しいタブが開かれホームページに設定したWebページが表示されます。

■タブを切り替える

1 ブラウザ画面→【タブ】

2 表示するタブをタップ

■タブを閉じる

1 ブラウザ画面→【タブ】

2 閉じるタブの【×】

Webページ内のテキストを検索する

1 ブラウザ画面→リンクのないテキストをロングタッチ

テキストが拡大表示されます。指を離すとテキストの前後に●と●、メニューが表示されます。

2 ●／●をドラッグしてテキストの範囲を指定

指定されたテキストはハイライト表示されます。

3 【その他】→【検索】

検索バーに検索件数が表示されます。選択中の検索対象には青色のハイライト、その他の検索対象には青色の枠が表示されます。

4 【^】／【▼】

前の検索対象／次の検索対象にハイライトが移動します。

- ・検索を終了するには【×】をタップします。

Webページ内のテキストをコピーする

1 ブラウザ画面→リンクのないテキストをロングタッチ

テキストが拡大表示されます。指を離すとテキストの前後に●と●、メニューが表示されます。

2 ●／●をドラッグしてテキストの範囲を指定

指定されたテキストはハイライト表示されます。

- ・全文を選択するには「全て選択」をタップします。

3 【コピー】

「クリップボードにコピーしました。」というメッセージが表示されます。

- ・指定した範囲のテキストを共有するには「共有」、辞書で検索するには「辞書」、表示中のWebページ内で検索するには「検索」、Web検索するには「Web検索」をタップします。表示されていない項目は、「その他」をタップすると表示されます。



memo

◎コピーしたテキストは、他のアプリケーションでも利用できます。貼り付け先の入力欄をロングタッチ→【貼り付け】と操作します。

◎テキストを選択できないWebページもあります。

Webページ内の画像をダウンロードする

1 ブラウザ画面→ダウンロードする画像／画像を含むリンクをロングタッチ

2 【画像を保存】



memo

◎ダウンロードした画像は、「ギャラリー」アプリケーションなどから確認できます。

リンクを操作する

1 リンクを操作するWebページを開く

2 リンクをタップ

■ リンクのメニューを利用する

テキストのリンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、リンク先のWebページを開く、リンクを保存、リンクをコピーなどの操作が行えます。

画像を含むリンクをロングタッチすると、画像の保存やコピーなどの操作が行えます。

・ リンクのない画像をロングタッチしても、画像の保存やコピーなどの操作ができます。



◎ リンクやWebページによっては、ロングタッチしてもメニューが表示されない場合や、選択した操作を実行できない場合があります。

ブックマーク／履歴を利用する

履歴の確認やブックマークの保存ができます。

1 ブラウザ画面→【ブックマーク】

ブックマーク画面が表示されます。

2 開くブックマークをタップ

■ ブックマークを追加する

1 ブラウザ画面→【⋮】→【ブックマークに追加】

2 タイトルを確認／編集

・ ブックマークを保存するフォルダを変更したい場合は、「全て」をタップ→保存したいフォルダを選択します。

3 【保存】

■ ブックマーク画面のメニューを利用する

ブックマーク画面で【⋮】をタップするとメニュー項目が表示され、ブックマークの編集（ブックマークの削除／並べ替えなど）、フォルダの作成の操作が行えます。

履歴を確認する

- 1 ブラウザ画面→【ブックマーク】→「履歴」タブ
履歴画面が表示されます。
- 2 「今日」「昨日」など閲覧した時期をタップ
- 3 確認するURLをタップ

履歴を削除する

- 1 ブラウザ画面→【ブックマーク】→「履歴」タブ
履歴画面が表示されます。
- 2 [⋮] →【履歴を削除】
すべての履歴が削除されます。

ブラウザを設定する

ホームページの設定や標準検索エンジンの設定、プライバシーの設定などを行うことができます。

- 1 ブラウザ画面→[⋮] →【設定】
ブラウザ設定画面が表示されます。
- 2 必要な項目を設定



- ◎ ブラウザ設定画面→【ホームページ】→【現在のページ】と操作すると、表示されているWebページがホームページに設定されます。また、設定されたURLは「ホーム」をタップすると表示されます。
- ◎ キャッシュなどの一時的に本製品に保存されたファイルを削除するには、ブラウザ設定画面→【プライバシー】→【個人データを削除】→削除したい項目にチェックを入れる→【削除】と操作してください。
- ◎ ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【アプリ】→【ブラウザ】→【その他の設定】と操作してもブラウザ設定画面を表示できます。

ツール・アプリケーション

連絡先	118
連絡先を登録する.....	118
連絡先を確認／編集する.....	119
連絡先から電話をかける.....	120
連絡先のメニューを利用する.....	120
連絡先をインポート／エクスポートする.....	120
マルチメディア	121
カメラを利用する.....	121
ギャラリー	126
静止画／動画を表示する.....	126
ギャラリーのメニューを利用する.....	126
ビデオ	127
ビデオのメニューを利用する.....	128
ミュージック	128
楽曲データを再生する.....	128
ミュージックのメニューを利用する.....	129
プレイリストを利用する.....	129
テレビ	130
テレビの初期設定をする.....	131
テレビを見る.....	131
視聴中の番組を録画する.....	133
視聴中の設定を行う.....	133
テレビの録画や視聴を予約する.....	133
録画した番組を再生する.....	134
チャンネルを設定する.....	135
TVリンクを利用する.....	135
テレビを設定する.....	136
Androidアプリ	136
Google Playを利用する.....	136
アプリケーションを管理する.....	137
YouTube	138
YouTubeを利用する.....	138
Googleサービス	139
Googleハンガーアウトを利用する.....	139
Googleマップを利用する.....	139
カレンダー	141
カレンダーを表示する.....	141
カレンダーのメニューを利用する.....	142
イベントやタスクの通知を解除または スヌーズを設定する.....	142
Galaxy Apps	143
ボイスレコーダー	143
音声を録音する.....	143
音声を再生する.....	143
ボイスレコーダーのメニューを利用する.....	143
Sボイス	144
Sボイスをご利用になる前に.....	144
Sボイスを利用できるようにする.....	144
辞書	144
おサイフケータイ®	145
NFCを利用する.....	148
FeliCaに対応したサービスを利用する.....	149
あんしんフィルター for au	150
auお客さまサポートアプリを 利用する	152
auスマートサポートを 利用する	152
Lookout for auを利用する	153
リモートサポートを利用する	154
auサービスTOPを利用する	154
時計	155
アラームを利用する.....	155
世界時計を利用する.....	156
ストップウォッチを利用する.....	156
タイマーを利用する.....	156
電卓	157
au Wi-Fi接続ツールを 利用する	157
QR・バーコードリーダーを 利用する	158

連絡先

連絡先を登録する

連絡先画面では、連絡先の各種情報が表示されます。連絡先に写真を追加することもできます。



- 連絡先に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「アカウントを登録する」(▶P.189)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の連絡先を同期できます。

1 アプリ一覧画面で【連絡先】



《連絡先画面》

① 検索ボックス

名前や電話番号などを入力して、連絡先を検索できます。

② プロフィール (▶P.119「プロフィールを登録する」)

③ 最近追加した連絡先

④ お気に入り

⑤ 連絡先一覧

連絡先をタップ→[詳細]と操作すると連絡先詳細画面が表示され、アイコンをタップして電話発信やSMS送信などの操作ができます。

⑥ 連絡先登録件数

⑦ 連絡先登録ボタン

⑧ :

メニューを表示します。

⑨ インデックス

ドラッグして目的のインデックス上で指を離すと、選択したインデックスに属する連絡先を検索できます。

2 [○]

連絡先の新規登録画面が表示されます。

- 一度保存先を選択すると、次回からは同じ保存先に保存されますが、連絡先の新規登録画面で変更することができます。

3 名前を入力

名前入力欄の右側に表示されている▼をタップすると敬称などを入力できます。

4 必要に応じて他の項目を入力・設定

電話番号やメールアドレスを入力したり、着信音を設定できます。

- 「+」をタップすると項目を追加、「-」をタップすると項目を削除できます。
- 電話番号入力欄などの右側に表示されているタイプ欄をタップすると、タイプを変更できます。

5 [保存]

連絡先をお気に入りに追加する

■連絡先画面から追加する

1 連絡先画面→追加したい連絡先をタップ→【詳細】

連絡先詳細画面が表示されます。

2 【☆】(青色)

☆(白色)に変わり、連絡先画面の「お気に入り」欄に追加されます。

プロフィールを登録する

1 連絡先画面→【プロフィール情報なし】

2 【編集】→必要な項目を入力→【保存】



○登録されているプロフィールを編集する場合は、プロフィールアイコンをタップ→【編集】と操作して、編集してください。

連絡先を確認／編集する

1 連絡先画面→確認／編集したい連絡先をタップ→【詳細】

連絡先詳細画面が表示されます。

▣: SMSを作成できます。

▢: 電話をかけることができます。

▢: メールを作成できます。

▢: ウェブサイトを表示できます。

▢: シンクコールをご利用可能な電話番号です。

■連絡先を編集する場合

連絡先詳細画面→【▢】と操作します。



○連絡先画面で連絡先を左にスワイプするとSMSを作成して送信、右にスワイプすると電話発信ができます。

グループ分けした連絡先を確認する

連絡先の登録時に設定したグループ別に、連絡先を管理・利用できます。

1 連絡先画面→【⋮】→【グループ】

グループ画面が表示されます。

2 確認したいグループをタップ→連絡先をタップ→【詳細】

連絡先詳細画面が表示されます。

■ グループを追加／編集する

1 グループ画面→【作成】

- 登録済みのグループを編集するには、グループ画面→編集したいグループをタップ→【編集】と操作します。

2 グループ名を入力

3 【メンバーを追加】→追加したい連絡先にチェックを入れる→【完了】

4 【グループ着信音】→画面の指示に従って着信音を選択

- 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択してください。

5 【保存】



- ◎ グループ画面でグループをタップし、[...] → [削除] → [グループのみ]をタップすると、グループを削除することができます。

連絡先から電話をかける

1 連絡先画面→電話をかけたい連絡先をタップ

- 連絡先を右にスワイプしても、電話をかけられます。

2 [📞]

連絡先のメニューを利用する

連絡先画面／連絡先詳細画面で [...]／[≡]をタップするとメニュー項目が表示され、連絡先の共有、連絡先に関する設定などの操作が行えます。

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先をシステムメモリ（本体）やmicroSDメモリカード、au Nano IC Card 04へインポート／エクスポートできます。

- 連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

システムメモリ（本体）やmicroSDメモリカード、au Nano IC Card 04に保存されている連絡先をインポートします。

1 連絡先画面→ [...] → [連絡先を管理] → [連絡先をインポート／エクスポート]

2 [インポート] → [内部ストレージ]／[外部SDカード]／[SIMカード]

3 インポート先を選択→【完了】

4 [本体] → [インポート]

Googleアカウントなどを設定している場合は、インポート先が表示されます。

- システムメモリ（本体）／microSDメモリカードに2件以上のvCardファイルが保存されている場合や「SIMカード」を選択した場合は、インポートしたい連絡先／vCardファイルまたは「全て」にチェックを入れる→【完了】と操作します。

エクスポートする

連絡先をシステムメモリ（本体）やmicroSDメモリカード、au Nano IC Card 04へエクスポートします。

- 連絡先画面→[⋮]→[連絡先を管理]→[連絡先をインポート／エクスポート]
- [エクスポート]→[内部ストレージ]／[外部SDカード]／[SIMカード]
 - 「内部ストレージ」を選択した場合は、すべての連絡先がエクスポートされます。
 - 「外部SDカード」を選択した場合は、すべての連絡先がエクスポートされます。
 - 「SIMカード」を選択した場合は、エクスポートしたい連絡先または「全て」にチェックを入れる→[完了]→[エクスポート]と操作します。
 - au Nano IC Card 04にエクスポートできる連絡先は最大50件です。

マルチメディア

カメラを利用する

「カメラ」アプリケーションを利用して、静止画の撮影や、動画の録画ができます。

本製品を傾けることで、横向きと縦向きのどちらでも撮影／録画ができます。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
- 特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
- また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 動画を録画する場合は、送話口を指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、送話口の音声の品質が悪くなる場合があります。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。

- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体
- 本製品は強い光が出ますので、フラッシュを目に近付けて点灯させないでください。フラッシュ点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- 本製品の温度が高くなると、フラッシュがオフになる場合があります。本製品の温度が下がった後、フラッシュをオンにできます。
- マナーモード設定中でも静止画撮影時のシャッター音、動画録画の開始音や終了音は鳴ります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- 本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

撮影画面の見かた

ここでは、本製品を横向きにした状態の画面で説明しています。

1 ホーム画面で【カメラ】

静止画／動画撮影画面が表示されます。
操作アイコンは初期状態のものです。



① 設定 (▶P.123)

② フラッシュ設定

③ フロントカメラ／リアカメラの切り替え

④ ステータス

設定の状況をお知らせする各種アイコンが表示されます。

⑤ 現在のモード

設定中の撮影モードが表示されます。撮影モードを切り替え後、しばらくすると表示が消えます。

⑥ 肌の色合い

⑦ プレビュー縮小表示

直前に撮影した静止画／動画のプレビューが縮小表示され、タップするとプレビュー画面 (▶P.124) を表示できます。

⑧ シャッターボタン (静止画撮影用)

⑨ 録画開始ボタン (動画撮影用)

⑩ フォーカス

⑪ 明るさ調整



- ◎撮影画面で右にフリックすると撮影モードが表示されます(▶P.124)。
- ◎撮影画面で左にフリックするとエフェクトが表示されます。
- ◎カメラを起動して約2分間何も操作をしないと、カメラは自動的に終了します。

撮影前の設定をする

撮影画面やカメラの設定メニューから、撮影の各種設定ができます。

1 静止画／動画撮影画面を表示

2 ☰ (カメラ設定)

3 各項目を設定

画像サイズ (リアカメラ)	リアカメラの静止画撮影サイズを選択します。
動画サイズ (リアカメラ)	リアカメラの動画撮影サイズを選択します。
タイマー (リアカメラ)	リアカメラのセルフタイマーを設定します。
画像サイズ (フロントカメラ)	フロントカメラの静止画撮影サイズを選択します。
動画サイズ (フロントカメラ)	フロントカメラの動画撮影サイズを選択します。
プレビュー通りに写真を保存	撮影した画像を左右反転せずプレビューに表示されたとおりに保存します。
撮影方法	タップして写真を撮影、手のひらを向けて写真を撮影など機能のオン／オフを設定します。
タイマー (フロントカメラ)	フロントカメラのセルフタイマーを設定します。
グリッドライン	ガイドラインを表示するかどうかを設定します。

位置情報タグ	撮影した静止画／動画に位置情報を付加するかどうかを設定します。
写真を確認	撮影後にプレビューを表示するかどうかを設定します。
クイック起動	□ (ホームキー) を素早く2回押してカメラを起動できるようにするかどうかを設定します。
保存場所	撮影した静止画／動画の保存場所を設定します。
音声コントロール	音声コントロール機能のオン／オフを設定します。
フローティングカメラボタン	シャッターボタン (静止画撮影用) を画面上で移動できるようにするかどうかを設定します。
音量キー機能	音量キーを押したときの操作を「写真を撮影」「動画を撮影」「ズーム」「音量を調節」から選択します。
設定をリセット	設定をリセットします。

4 設定が終了したら <



- ◎メニュー項目によっては、同時に設定できない場合があります。

プレビュー画面を利用する

プレビュー画面を表示して、撮影した静止画／動画を確認できます。また、Eメールで送信したり壁紙に設定したりできます。

1 静止画／動画撮影画面→プレビュー縮小表示をタップ

プレビュー画面が表示され、画面下部にはメニュー項目が表示されます。

- 左右にスライドすると他の静止画／動画を確認できます。動画で[▶]をタップすると、動画が再生されます。選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択してください。

2 画面下部のメニュー項目を選択

共有：表示中の静止画／動画を送付したり、「ドライブ」などにアップロードしたりできます。

編集：表示中の静止画や動画を編集します。

削除：表示中の静止画／動画を削除します。



memo

◎メニュー項目が表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。

◎メニュー項目はデータの種類により異なります。

◎ホーム画面で[ギャラリー]→[アルバム]→[カメラ]と操作すると、撮影した静止画／動画の一覧が表示されます。

◎静止画で[⋮]をタップするとメニューが表示され、静止画の印刷、壁紙に設定などができます。

撮影モードを変更する

1 ホーム画面で【カメラ】

静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 右にフリック

自動	色合いや明るさを最適化するように露光を自動調整します。
プロ	色合いや明るさなどを手動で調整します。
パノラマ	水平／垂直方向に本製品を動かしてパノラマ写真を撮影できます。
自分撮り ^{※1}	画面をタップすることで、簡単に自分撮りができます。
ワイド自分撮り ^{※1}	広角で自分撮りすることで、大人数での撮影ができます。
連写 ^{※2}	[▶]をロングタッチ／音量キーを1秒以上長押しすると、最大30枚まで連続して撮影することができます。
HDR(リッチトーン)	HDR撮影をするかどうかを設定します。
夜景 ^{※2}	暗い場所でもフラッシュなしで、明るく鮮明な撮影ができます。
+	Galaxy Apps(▶P.143)から撮影モードをダウンロードできます。

※1 フロントカメラに切り替わっているときに表示されます。

※2 リアカメラ、フロントカメラどちらの場合にも表示されます。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で【カメラ】

静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける

- ・画面をピンチすると、ズーム調節ができます（1.0倍～最大約4.0倍）。ただし、撮影モードの設定によっては、ズーム調整ができない場合があります。
- ・画面をタップすると、フォーカスが移動してピントを合わせます。

3 【□】

シャッター音が鳴って撮影され、撮影した静止画が自動的に保存されます。

memo

- 撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。
- カメラの設定メニューの「音量キー機能」で「写真を撮影」を選択した場合、音量キーを押しても静止画を撮影できます（▶P.123）。

動画を録画する

1 ホーム画面で【カメラ】

静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける→【●】

開始音が鳴り、動画撮影が開始されます。

- ・画面をピンチすると、ズーム調節ができます（1.0倍～最大約4.0倍）。ただし、撮影モードの設定によっては、ズーム調整ができない場合があります。
- ・「□」をタップすると、動画撮影を一時停止できます。
- ・「■」をタップすると、動画撮影中に静止画も撮影できます。
- ・「●」をタップすると、一時停止した動画撮影を再開できます。

3 撮影を終了するときは【○】

終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

memo

- 動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。
- カメラの設定メニューの「音量キー機能」で「動画を撮影」を選択した場合、音量キーを押しても動画を撮影できます。なお、「音量キー機能」で「写真を撮影」を選択した場合、音量キーを押すと、動画撮影中に静止画も撮影できます（▶P.123）。

ギャラリー

本体やmicroSDメモリカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。
対応しているファイル形式は次の通りです（ファイルによっては再生できない場合があります）。

静止画	JPEG、PNG、GIF、AGIF、BMP、WBMP、WEBP
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、WEBM



◎ 本製品は、DivXには対応していません。DivX形式のファイルを再生するには、対応するアプリケーションをインストールしてください。

1 ホーム画面で【ギャラリー】

撮影日別に並んだデータ一覧画面またはアルバム一覧画面が表示されます。アルバム一覧画面が表示された場合はアルバムをタップしてデータ一覧画面を表示します。



◎ 表示設定が「アルバム」の場合はデータ一覧画面で画面を左右にフリックすると、アルバム一覧の表示／非表示が切り替えられます。

静止画／動画を表示する

1 データ一覧画面→表示したい静止画／動画をタップ

静止画／動画が表示されます。静止画／動画を切り替えるには画面を左右にスライド／フリックします。

- ・画面をタップすると操作アイコンが表示され、データの共有や編集・削除などの操作ができます。

2 動画を再生する場合は、▶をタップ

動画が再生されます。

- ・選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択してください。

ギャラリーのメニューを利用する

アルバム一覧画面／ストーリー一覧画面／アルバム内のデータ一覧画面またはストーリー内のストーリー一覧画面で⋮をタップすると、アルバム作成やストーリー作成などの操作が行えます。

データを選択した状態で画面をタップすると操作メニューが表示されます。各メニューをタップすると、データの共有や編集、削除などの操作が行えます。

- ・利用できる機能はアルバム／データの種類や画面によって異なります。



◎ 静止画の印刷は、本製品に対応するプリンターでのみ印刷できます。

ビデオ

本体やmicroSDメモリカードに保存されている動画を再生できます。再生できるファイル形式は次の通りです（ファイルによっては再生できない場合があります）。

ファイル形式	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、WEBM
--------	--



◎ 本製品は、DivXには対応していません。DivX形式のファイルを再生するには、対応するアプリケーションをインストールしてください。

1 アプリ一覧画面で【ビデオ】

動画一覧画面が表示されます。

- ・[動画] → [フォルダ] をタップすると、フォルダ表示に切り替えることができます。
- ・[?] をタップすると、チェックを付けてデータを選択し、削除や動画編集を行うことができます。

2 再生したい動画をタップ

再生画面が表示されます。

[?] を2回タップすると、動画一覧画面に戻ります。

■ 再生中の操作について

再生画面をタップすると操作アイコンが表示され、次の操作ができます。

[■ / ▶]	一時停止／再生します。
[◀ / ▶]	タップすると再生中の動画の先頭／次の動画にスキップします。ロングタッチすると早戻し／早送りします。
[?]	メニューを表示します。

[◎]	画面を縦／横に回転します。 ・「自動回転」(▶P.48) がオンの場合は表示されません。
[●]	再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
[▲]	再生画面で[?] (電源キー) を押すとロックが設定され、画面をタップしても操作できません。 ・ロックを解除するには再度[?] (電源キー) を押します。 [?] をタップしてもロックを解除できます。
[□]	再生画面を小さくします。他のアプリを操作しながら動画を再生できます。 ・小さい再生画面上で2本の指の間隔を広げる／狭めると、画面サイズを変更できます。 ・小さい再生画面をタップすると、操作アイコンが表示され、動画を再生／一時停止できます。 ・小さい再生画面をダブルタップまたは「[□]」をタップすると、大きい画面に戻ります。 ・小さい再生画面をタップ→「[X]」をタップすると、再生を終了します。
[□]	GIF動画を作成します。
[+ / □ / □]	動画の表示サイズを切り替えます。



◎ 再生中に音量キーを押したり画面の右側を上下にスワイプすることでも音量を調節できます。
◎ 再生中に画面の左側を上下にスワイプすることで画面の明るさを調節できます。

ビデオのメニューを利用する

動画一覧画面／再生画面で  /  をタップするとメニュー項目が表示され、動画の共有や検索、並び替え、編集／エディター、動画の削除などの操作が行えます。

ミュージック

本体やmicroSDメモリカードに保存されている楽曲データを簡単に再生できます。

再生できるファイル形式は次の通りです（ファイルによっては再生できない場合があります）。

ファイル形式

MP3、M4A、3GA、AAC、OGG、OGA、WAV、WMA、AMR、AWB、FLAC、MID、MIDI、XMF、MXMF、IMY、RTTTL、RTX、OTA



◎本製品は、AC3には対応していません。AC3形式のファイルを再生するには、対応するアプリケーションをインストールしてください。

楽曲データを再生する

1 アプリ一覧画面で【ミュージック】

初めて起動したときは、「プレイリスト」画面が表示されます。

2 再生したい楽曲データを選択

- ・「プレイリスト」→「曲」／「アルバム」／「アーティスト」／「フォルダ」をタップすると、一覧の表示を切り替えることができます。
- ・データ一覧画面で「」をタップすると、データを検索することができます。
- ・「曲」以外の表示でアルバムやアーティストなどを選択するとデータ一覧画面が表示され、データをタップすると再生が開始されます。

■再生中の操作について

再生画面の操作アイコンを利用して、次の操作ができます。

- データー覧画面で再生されている場合は、画面左下のジャケット画像表示領域をタップすると、再生画面が表示されます。

	アイコンをタップして表示されるスライダで音量を調節します。
	メニューを表示します。
	シャッフル機能のオン／オフを設定します。
	プレイリストの「お気に入り」に再生中の楽曲データを追加します。
	音質とエフェクトについて設定します。
	リピートモードを設定します（リピートOFF／全てリピート／1曲リピート）。
	再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
	一時停止／再生します。
	タップすると再生中の曲の先頭／次の曲にスキップします。ロングタッチすると早戻し／早送りします。
	再生中リストを表示します。曲を追加することもできます。



- 再生中に〔〕（電源キー）を押して画面ロックを設定しても、再生は継続されます。画面ロック中に〔〕（電源キー）／〔〕を押してロック画面を表示すると楽曲データの再生画面が表示され、画面ロックを解除しなくても再生／一時停止／前後スキップの操作ができます。
- 再生中に音量キーを押しても音量を調節できます。

ミュージックのメニューを利用する

再生画面で「[■]」をタップするとメニュー項目が表示され、楽曲データの削除、再生に関する設定などの操作が行えます。

プレイリストを利用する

- アブリ一覧画面で【ミュージック】→プレイリスト画面で【プレイリストを作成+】
- プレイリスト名を入力→【作成】→追加したい楽曲データにチェックを入れる→【完了】

プレイリストを編集する

- アブリ一覧画面で【ミュージック】→編集したいプレイリストを選択→【[■]】→【編集】
 - 「追加」をタップすると、プレイリストに楽曲データを追加できます。
 - 楽曲データをロングタッチ→【削除】と操作すると、プレイリストから楽曲データを削除できます。

テレビ

放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できます。

フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。

「フルセグ」／「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
(<http://www.apab.or.jp/>)

テレビをご利用になる前に

■テレビ利用時の注意

- ・テレビの利用には、通話料やデータ通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はデータ通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- ・テレビ画面表示中は、本製品が温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ・耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- ・放送局から遠い地域または極端に近い地域
 - ・移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
 - ・山間部やビルの陰
 - ・高压線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
 - ・その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所
- 電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。
- ・室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

■テレビアンテナについて

本製品でテレビを視聴するには、SC TVアンテナケーブル03をご使用ください。

テレビの音声をスピーカーから出力する場合には、SC TVアンテナケーブル03のみ、本製品へ接続してください。テレビの音声をイヤホンから出力する場合は、SC TVアンテナケーブル03にイヤホンを接続してから、本製品へ接続してください。

- 1 イヤホンの接続プラグをSC TVアンテナケーブル03のヘッドセット接続端子に接続
- 2 SC TVアンテナケーブル03の接続プラグを、本製品のヘッドセット接続端子に接続



テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、テレビを見るることができます。

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【テレビ】

2 テレビアンテナの確認画面→【OK】→チャンネル設定の確認画面→【OK】→地域を選択→都道府県を選択→ローカルエリアを選択→【OK】

テレビを見る

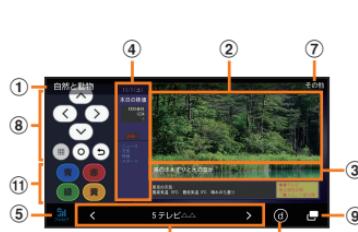
1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【テレビ】

視聴画面が表示されます。

ステータスバーに【】が表示されます。

- 操作画面(▶P.132)が表示された場合は、テレビ映像プレビューまたは「全画面表示」のいずれかをタップすると、視聴画面に切り替わります。

視聴画面について



《視聴画面(フルセグ)*》

※データ放送画面

① チャンネル名／番組名

② テレビ映像

左右にフリックすると、チャンネルを切り替えます。
ロングタッチすると、番組の詳細情報を表示します。

③ 字幕

【その他】→【設定】→【字幕／音声】→【字幕】→【字幕1】／【字幕2】と操作すると、字幕が表示されます。

④ データ放送

受信レベルと視聴中の放送サービス(フルセグ／ワンセグ)
タップすると、モード選択でフルセグ／ワンセグ／自動切替を選択できます。

⑤ チャンネル(チャンネル名)

現在のチャンネルを表示します。
チャンネルをタップすると、操作画面の「CH」タブを表示します。
「」と「」をタップするとチャンネルを切り替えることができます。

⑥ その他

⑦ データ放送操作パネル

【】／【】／【】(フルセグのみ)／【】(フルセグのみ)
で項目にカーソルを合わせ、【】をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。

【】をタップすると、リンクの履歴を戻ります。
【】をタップすると、データ放送履歴を表示します。

⑧ ポップアップTV画面

タップすると、ポップアップTV画面になります。他のアプリを操作しながらテレビ(フルセグ／ワンセグ)を視聴できます。
ポップアップTV画面をダブルタップすると視聴画面に戻ります。

⑨ dボタン(フルセグ)

タップすると、データ放送画面を表示します。

⑩ 双方向サービスボタン(フルセグ)

青・赤・緑・黄の4色ボタンを利用して、視聴者参加型クイズやアンケート、投票などを行うことができます。



◎チャンネル／番組名が表示されていない場合は、テレビ映像をタップすると表示されます。

■ 視聴画面でのキー操作

○（電源キー）で画面をロックします。ロック中は **LOCK** が表示され、音量の変更以外の操作ができません。
音量キーで音量を調節します。

■ テレビを終了する

1 視聴画面で [□] → [OK]

視聴画面で [□] を押してホーム画面に戻っても、テレビは終了しません。その場合、ステータスバーに [■] が表示されます。



- テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
- テレビ視聴時、「簡単に消音」(▶P.39) 機能で音声を自動的にミュートすることはできませんが、音量キーを使用することで、手動で音声をミュートできます。
- マナーモードに設定していても、音量 (▶P.183) の設定によっては音声が再生されることがありますので、音量キーで音量を調節してください。

操作画面について

1 視聴画面でチャンネル名をタップ

操作画面の「CH」タブが表示されます。



① タブ

タップすると各タブに切り替わります。

② テレビ映像プレビュー

タップすると視聴画面を表示します。

③ 受信レベルと視聴中の放送サービス（フルセグ／ワンセグ）／チャンネル名／番組名

受信レベルと視聴中の放送サービスをタップすると、モード選択でフルセグ／ワンセグ／自動切替を選択できます。

④ チャンネルリスト

チャンネルをタップすると、テレビ映像プレビューのチャンネルが切り替わります。

チャンネルをロングタッチ→ [削除] → [OK] と操作すると、チャンネルリストから削除できます。

⑤ その他

⑥ 番組表

タップすると、視聴中チャンネルの番組一覧を表示します。他のチャンネルの番組表に切り替えたり、録画／視聴予約を行うこともできます。

⑦ 全画面表示

タップすると視聴画面を表示します。

視聴中の番組を録画する

1 視聴画面でテレビ映像をタップ→【その他】→【録画】

録画が開始されます。

- ・録画中は「●REC」が表示されます。
- ・録画を停止するには□をタップします。



- ◎受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- ◎録画中にデータ通信サービスを行うと、テレビの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- ◎録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。

視聴中の設定を行う

1 視聴画面でテレビ映像をタップ→【その他】

2 終了	テレビを終了します。
録画	▶P.133「視聴中の番組を録画する」
Gガイド番組表を起動	▶P.133「Gガイド番組表から予約する」
マルチチャンネル ^{※1}	マルチチャンネル放送をしているチャンネルで、番組の切り替えをします。
TVファイル	▶P.134「録画した番組を再生する」
BTヘッドセットに転送	Bluetooth [®] 対応機器と接続して、音声をBluetooth [®] 対応機器から流します。
設定	▶P.136「テレビを設定する」
データ放送全画面表示 ^{※2}	データ放送を全画面で表示します。
データ放送トップに戻る ^{※2}	データ放送のトップページに戻ります。

※1 フルセグの場合のみ表示されます。

※2 ワンセグの縦画面の場合のみ表示されます。

テレビの録画や視聴を予約する

番組表から予約する

1 視聴画面でチャンネルをタップ

操作画面の「CH」タブが表示されます。

2 【番組表】→予約する番組をタップ

画面上部のチャンネル名をタップすると、チャンネルを変更できます。番組をタップすると、番組の詳細情報を確認できます。

3 【予約】→【録画予約】／【視聴予約】

Gガイド番組表から予約する

auテレビ.Gガイドを利用できます。番組表から視聴画面の表示や視聴／録画の予約ができます。

- ・視聴や予約ができるのは地上デジタル放送の番組のみです。
- ・「auテレビ.Gガイドプレミアム（月額200円、税抜）」にご登録いただくと、auテレビ.Gガイドのすべての機能を利用することができます。ここでは、無料で利用できる機能について説明しています。
- ・auテレビ.Gガイドのすべての機能を利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定方法については、『設定ガイド Android 7.0対応版』をご参考ください

1 視聴画面でテレビ映像をタップ→【その他】→【Gガイド番組表を起動】

Gガイド番組表画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

- ・アプリ一覧画面で【au】→【auテレビ.Gガイド】→【番組表】でも同様に操作できます。
- ・番組表を初めて起動したときは、登録画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

手動で予約する

- 1 視聴画面でチャンネルをタップ
操作画面の「CH」タブが表示されます。
- 2 「予約」タブ
- 3 「その他」→「マニュアル予約」
- 4 新規番組予約画面で各項目を入力→ [✓]

予約を確認する

- 1 視聴画面でチャンネルをタップ
操作画面の「CH」タブが表示されます。
- 2 「予約」タブ
予約一覧が表示されます。
■：録画予約（成功した予約を含む）
■：視聴予約（成功した予約を含む）
■：失敗した録画予約
■：失敗した視聴予約
 - 未実行の予約をタップすると、予約内容を変更できます。
 - 未実行の予約をロングタッチ→「削除」→「OK」と操作すると、予約を削除できます。
 - 実行済みの予約をタップすると、結果の確認と一覧からの削除ができます。

録画した番組を再生する

- 1 視聴画面でチャンネルをタップ→「TVファイル」タブ
操作画面の「TVファイル」タブが表示されます。
 - 視聴画面で「その他」→「TVファイル」と操作しても「TVファイル」タブが表示されます。
- 2 再生する番組をタップ
再生画面が表示されます。

チャンネルを設定する

エリア情報を設定する

1 視聴画面でチャンネルをタップ

操作画面の「CH」タブが表示されます。

2 [その他] → [エリア情報設定] → 登録するエリアを選択

3 地域を選択 → 都道府県を選択 → ローカルエリアを選択

チャンネルが検索され、選択したエリアにチャンネルリストが登録されます。

4 [OK]



◎ エリア情報を削除するには、削除するエリアをロングタッチ → [設定リセット] と操作します。

エリア情報を切り替える

1 視聴画面でチャンネルをタップ

操作画面の「CH」タブが表示されます。

2 [その他] → [エリア切替] → 切り替えるエリアをタップ

切替先のエリアにチャンネルリストが登録されていない場合は、エリア情報の設定を行います。

TVリンクを利用する

TVリンクを登録する

1 データ放送を操作して、TVリンク登録可能な項目を選択

TVリンクの登録方法は、番組によって異なります。



◎ リンク先によっては、TVリンクを登録できないことがあります。

TVリンクを表示する

1 視聴画面でチャンネルをタップ

操作画面の「CH」タブが表示されます。

2 「TVリンク」タブ

登録したTVリンクが一覧表示されます。

3 TVリンクを選択

登録したサイトに接続します。



◎ TVリンクを削除するには、削除するTVリンクをロングタッチ → [削除] → [OK] と操作します。

テレビを設定する

1 視聴画面でテレビ映像をタップ→【その他】→【設定】

2	字幕／音声	字幕	字幕を表示するかどうかを設定します。	
		文字スーパー	字幕スーパーを表示するかどうかを設定します。	
		音声	マルチ音声放送などで、複数の音声を放送している番組で聞く音声を設定します。	
		音声多重	二重音声放送などで、複数の音声を放送している番組で聞く音声を設定します。	
保存先設定		録画したデータの保存先を設定します。		
TVオフタイマー		自動的にテレビを終了するまでの時間を設定します。		
データ放送	録画設定	映像とテキストの両方を録画するか、映像のみを録画するかを設定します。		
	通信接続確認	通信接続確認を行うかどうかを設定します。		
	製造番号通知	IMEIの通知を行うかどうかを設定します。		
	郵便番号	郵便番号を設定します。フルセグのデータ放送のときに、天気などの地域情報に反映されます。		
	放送局データ削除	放送局のデータを削除します。		
オリジナルRMP メーカID*		RMP方式における受信機のメーカーを識別するIDを表示します。		
TS名*		TS名を選択します。		
局管理RMP メーカID*		RMP方式における受信機のメーカーを識別するIDを表示します。		
CAS情報の初期化*		CAS情報を再受信します。		

* フルセグの場合のみ表示されます。

Androidアプリ

Google Playを利用する

Google Playを利用すると、便利なアプリケーションやゲームに直接アクセスでき、本製品にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションや本製品と互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告したりすることができます。

- Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です（▶P.35）。
- ダウンロードするアプリケーションやゲームには無料のものと有料のものがあり、Google Playのアプリケーション一覧ではその区別が明示されています。有料アプリケーションの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「Google Playヘルプ」（▶P.137）をご確認ください。

■ アプリケーションを検索し、インストールする

1 ホーム画面で【Playストア】

Google Play画面が表示されます。

- 利用規約に関する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 アプリケーションを検索→インストールしたいアプリケーションをタップ

カテゴリーなどから検索してアプリケーションをタップすると、アプリケーションの情報画面が表示されます。

3 説明やレビューなどの情報を確認→画面の指示に従って購入／ダウンロード

ダウンロード・インストールが開始されます。

- 有料アプリケーションを購入する場合は、ダウンロードする前に購入手続きをを行います。支払い方法の設定と支払いに使用するクレジットカード情報を登録してください。



◎有料アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

■ Google Playヘルプ

Google Playについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、[≡] → [ヘルプとフィードバック] と操作します。

■ アプリケーションを管理する

インストールされたアプリケーションを表示したり、設定を調整したりできます。多くのアプリケーションにインストールを補助するウィザードが付属しています。

■ 提供元不明のアプリケーションのダウンロード

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。

ダウンロードするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いの端末と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【ロック画面とセキュリティ】→「提供元不明のアプリ」をオンにする

2 注意事項を確認→【OK】

- OFF が ON になります。

インストールされたアプリケーションを削除する

インストールされたアプリケーションを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

- ・アプリケーションによっては削除できないものもあります。

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【アプリ】

2 削除するアプリケーションをタップ

3 【削除】→【OK】



◎ Google Playやau Marketからダウンロード、インストールしたアプリケーションはすべてアンインストールすることができます。

◎ アプリケーション内に保存されているデータを消去する場合は、ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【アプリ】→データを消去するアプリケーションをタップ→【ストレージ】→【データを消去】→【削除】と操作します。

◎ アプリケーションのキャッシュを消去する場合は、ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【アプリ】→キャッシュを消去するアプリケーションをタップ→【ストレージ】→【キャッシュを消去】と操作します。

YouTube

YouTubeは、Googleの動画共有サービスです。動画の再生、検索、アップロードなどを行うことができます。

- ・動画をアップロードする場合など、一部の機能を利用するにはGoogleアカウントを設定する必要があります。
- ・YouTubeの詳細については、YouTube画面→【?】→【ヘルプとフィードバック】と操作してヘルプをご参照ください。

YouTubeを利用する

1 ホーム画面で【Google】→【YouTube】

YouTube画面が表示されます。

- ・YouTubeに関する画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 再生する動画を選択



◎ 動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめGoogleアカウントを取得してください。

Googleサービス

Googleハングアウトを利用する

Googleハングアウトは、写真や絵文字、ビデオハングアウトなどを利用して会話を楽しめる無料コミュニケーションツールです。

- Googleハングアウトの利用にはGoogleアカウントが必要です (▶P.35)。

Googleハングアウトにログインする

すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になります。

- Googleハングアウトの詳細については、Googleハングアウトの画面→[≡] → [ヘルプとフィードバック]と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面で [Google] → [ハングアウト]

Googleアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行なうことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

1 ホーム画面で [Google] → [マップ]

マップ画面が表示されます。

- Googleマップに関する画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。



memo

- 現在地を取得する前に現在地検索の設定を有効にしてください (▶P.140)。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
- Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。
- 利用方法などの詳細については、マップ画面→[≡] → [ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

GPS機能を利用する

現在地の測位は、無線ネットワーク（モバイルネットワーク、無線LAN (Wi-Fi®) 機能）とGPS機能を使用して行ないます (▶P.140)。

- GPS、Wi-Fiおよびモバイルネットワーク：無線ネットワークとGPS機能の両方を有効にします。両方のメリットを生かして測位することができます。
- Wi-Fiおよびモバイルネットワーク：無線ネットワークのみを有効にします。スピードに現在地が測位されますが、誤差が生じる場合があります。
- GPSのみ：GPS機能のみを有効にします。多少時間がかかることがあります。正確な現在地が測位されます。

本製品には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。

現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分経ってもGPS受信機で現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナ (▶P.27) をおおわないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。



memo

- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

- ◎ 本製品の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 本製品は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 衛星利用測位（GPS）は、米国国防総省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ◎ ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- ◎ 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。
- ◎ 当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

■受信しにくい場所

GPS機能は人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- ・ 建物の中や直下
- ・ かばんや箱の中
- ・ 密集した樹木の中や下
- ・ 自動車、電車などの室内
- ・ 本製品の周囲に障害物（人や物）がある場合
- ・ 地下やトンネル、地中
- ・ ビル街や住宅密集地
- ・ 高圧線の近く
- ・ 大雨、雪などの悪天候

■GPS機能を有効にする

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【位置情報】

- 2  をタップして  にする

■位置情報の検出方法を変更する

現在地の測位に使用する位置情報の検出方法を設定します。

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【位置情報】→【位置情報の検出方法】

- 2 【高精度】／【バッテリーを節約】／【端末のみ】

■地図上で現在地を検出する

- 1 マップ画面→【】

現在地が地図上に青い印で表示されます。

■ストリートビューを見る

ストリートビューは対応していない地域もあります。

- 1 マップ画面→ストリートビューで表示する地点をロングタッチ

- 2 左下の画像をタップ

ストリートビューが表示されます。

■周辺のスポットを確認する

- 1 マップ画面→検索欄をタップ

- 2 カテゴリーをタップ

地図を拡大／縮小する

1 画面をピンチアウト／ピンチイン

画面をダブルタップしても拡大できます。

レイヤを変更する

地図上に重ねる情報を選択できます。

- 1 マップ画面→【≡】
 - 2 利用したいレイヤをタップ

地域や条件によって利用したいレイヤの表示は異なることがあります。

カレンダー

本製品にはイベントやタスクを管理するカレンダーが搭載されています。Googleアカウントを持っている場合は、Googleカレンダーと同期することができます。「Googleアカウントの設定をする」(▶P.35) をご参照ください。

カレンダーを表示する

- ## 1 アプリ一覧画面で [カレンダー] カレンダー画面が表示されます。

カレンダーの内容について



《カレンダー画面(月表示の場合)》

- ① **今日**
他の月や週などが表示されているときにタップすると、今日の日付にカーソルを移動します。

- ② 表示切替
年表示／月表示／週表示／日表示／タスク一覧表示に切り替えます。
- ③ メニュー
- ④ 今日の日付
- ⑤ カーソル（水色）
現在選択している日付です。
- ⑥ イベント／タスク／祝日表示
イベント／タスクがある日付や祝日の日付をタップするとポップアップが表示され、タップすると詳細を確認できます。
- ⑦ 新規作成
イベント／タスクを新規に作成します。

カレンダーのメニューを利用する

カレンダー画面で「:」をタップするとメニュー項目が表示され、イベントやタスクの検索、カレンダーの管理、カレンダーの表示設定や通知設定などの操作が行えます。



- ◎ ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【アプリ】→【カレンダー】→【その他の設定】と操作してもカレンダーを設定できます。

イベントやタスクの通知を解除またはスヌーズを設定する

イベントやタスク作成時に通知を設定した場合、設定時刻になるとポップアップの表示と、通知音の鳴動でお知らせします。

1 アラーム画面の場合は「□」のアイコンを表示される円の外までドラッグ／スライド

- ・「スヌーズ」を選択すると、約5分後に選択したイベントやタスクが再通知されます（スヌーズとは、いったん通知を消しても、しばらくすると通知するようにする機能です）。
- ・「詳細」をタップすると、イベントの詳細を確認できます。
- ・「カレンダー」ウィンドウが表示された場合は、【解除】／【スヌーズ】をタップしてください。

Galaxy Apps

Galaxy Appsを利用して、おすすめの豊富なアプリケーションを簡単にダウンロードできます。

一部の機能を利用するにはGalaxyアカウントを設定する必要があります(▶P.35)。

1 アプリ一覧画面で [Galaxy Apps]

- 初めて起動したときは、利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- 更新画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作し、新しいバージョンに更新してください。

2 利用したいアプリケーションを検索してダウンロード

- Galaxyアカウントを設定する画面が表示された場合は、画面の指示に従ってGalaxyアカウントを設定(▶P.35)してください。



○ Galaxy Appsは、国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳しくはGalaxy Appsサイト内のサポートページをご参照ください。

ボイスレコーダー

音声を録音する

1 アプリ一覧画面で [ツール] → [ボイスレコーダー]

ボイスレコーダー画面が表示されます。

- 「リスト」*をタップすると、録音ファイル一覧画面に切り替えられます。
- 録音モードは、「標準」／「音声一テキスト変換」をタップして切り替えます。

* 録音ファイルがある場合のみ表示されます。

2 [●]

録音が開始されます。

録音を一時停止／再開するには [] / [●] をタップ、録音をキャンセルするには [] → [破棄] と操作します。

また、録音中の音声にブックマークを追加するには「ブックマーク」をタップします。

- [:] → [設定] → [録音中は着信をブロック] をタップすると、録音中に通話をブロックできます。

3 [■] → ファイル名を入力 → [保存]

録音した音声が保存され、録音ファイル一覧画面が表示されます。

音声を再生する

1 録音ファイル一覧画面→再生したいファイルをタップ

再生を一時停止するには [] をタップします。

ボイスレコーダーのメニューを利用する

録音ファイル一覧画面で「 : 」をタップするとメニュー項目が表示され、録音ファイルの共有などの操作が行えます。

Sボイス

電話の発信やメモの作成など、音声入力で本製品の各機能を操作できます。

- ・ Sボイスの詳細については、Sボイスを起動して [?] をタップしてヘルプをご参照ください。
- ・ Sボイスを起動して [+] をタップすると、ボイスウェイクアップ、セキュリティロック中の起動などの設定や操作が行えます。

Sボイスをご利用になる前に

音声認識を高めるため、以下の点に気をつけてご利用ください。

- ・ 本製品に向かってはっきりと話してください。
- ・ 静かな場所でご利用ください。
- ・ 俗語や方言などは避けてください。

Sボイスを利用できるようにする

1 アプリ一覧画面で [Sボイス]

- ・ 初めて起動したときは、音声認識に関する法定情報画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 画面の指示に従ってウェイクアップコマンドを設定→ [完了]

辞書

辞書を利用して語句を検索できます。本製品は辞書データをダウンロードして利用できます。

1 アプリ一覧画面で [辞書]

辞書画面が表示されます。

- ・ 初めて起動したときは、「辞書データのダウンロードおよびインストール」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 語句入力欄に検索したい語句を入力

単語の一覧が表示されます。

3 単語一覧で確認したい語句をタップ

選択した語句の意味が表示されます。



memo

◎ 辞書画面で [?] をタップするとメニュー項目が表示され、単語帳の管理や検索履歴の表示、アプリの設定などの操作が行えます。

おサイフケータイ®

おサイフケータイ®とは

おサイフケータイ®とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCa®を含む非接触ICカード機能やリーダー／ライター（R/W）機能、機器間通信機能などが本製品でご利用いただけます。

おサイフケータイ®を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダーのおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。

おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップまたはau Nano IC Card 04（以下、au ICカードといいます）へ、サービスのご利用に必要となるデータを書き込む場合があります。

なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意」（▶P.235）をあわせてご参照ください。

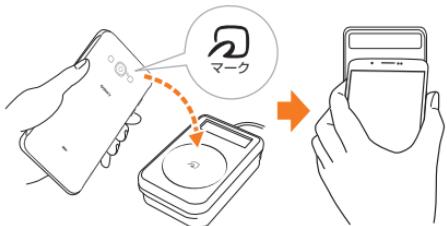
おサイフケータイ®のご利用にあたって

- ・本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいているおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- ・紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。
- ・紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ・ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。

- ・おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- ・FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・FeliCaチップ内またはau Nano IC Card 04内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- ・おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供者にご確認、お問い合わせください。
- ・各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- ・電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- ・おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。

リーダー／ライターとやりとりする

- ②マークをリーダー／ライターにかざすだけで、FeliCaチップ内またはau Nano IC Card 04内のデータのやりとりができます。



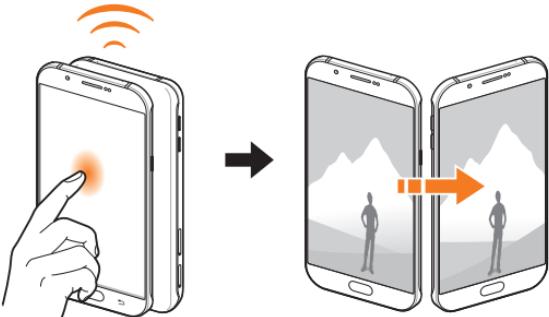
- ②マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- ②マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- ②マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- ②マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、②マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- ②マークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

memo

- おサイフケータイ[®]対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
- 本体の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし電池残量がない場合はご利用できません。その場合は充電後に一度本体の電源を入れることでご利用になれます。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定している場合はご利用いただけません。

他の携帯電話機とデータを送受信する

NFC機能を搭載した携帯電話との間でデータ通信ができます。データの送受信は、通信する機器の②マークを向かい合わせて行います。



memo

- Reader/Writer、P2P機能をオンにしてください（▶P.148「NFC機能を有効にする」）。
- 2台の携帯電話を平行にし、データの送受信が終了するまで②マークを向かい合わせたまま動かさないようにしてください。
- 送受信できるデータの種類や操作方法は、対応するアプリにより異なります。画面の指示に従って操作してください。
- ②マークを向かい合わせても、送受信に失敗する場合があります。失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらして送受信の操作をやり直してください。

おサイフケータイ[®]を設定する

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【NFC／おサイフケータイ設定】

NFC／おサイフケータイ設定画面が表示されます。

2	NFC／おサイフケータイ ロック	▶P.147「おサイフケータイ [®] の機能をロックする」
	Reader/Writer, P2P	▶P.148「NFC機能を有効にする」
	Android Beam	P2P機能を利用して、他の対応機器との間でウェブページや連絡先などのコンテンツを送受信できます。
	NFC／おサイフケータイ ロックNo.変更	「NFC／おサイフケータイ ロック」のロックNo.を変更します。
	NFC／おサイフケータイ ロックNo.初期化	「NFC／おサイフケータイ ロック」のロックNo.を忘れたとき、PINロック解除コードを入力してロックNo.を初期化します。
	タップ&ペイ	NFCを用いた決済機能を有効にするサービスを設定します。

おサイフケータイ[®]の機能をロックする

「NFC／おサイフケータイ ロック」を有効にすると、おサイフケータイ[®]対応サービスの利用を制限できます。

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【NFC／おサイフケータイ設定】

NFC／おサイフケータイ設定画面が表示されます。

- 2 「NFC／おサイフケータイ ロック」→ をタップして にする
- 3 ロックNo.（パスワード）を入力→【OK】



◎「NFC／おサイフケータイ ロック」ご利用中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除してください。

- ◎おサイフケータイ[®]ロック中は、ステータスバーに が表示されます。
- ◎ロックNo.はau Nano IC Card 04に保存され、本製品から取り外してもau Nano IC Card 04に保持されます。ロックNo.について詳しくは、「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.20）をご参照ください。

「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除する

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【NFC／おサイフケータイ設定】

NFC／おサイフケータイ設定画面が表示されます。

- 2 「NFC／おサイフケータイ ロック」→ をタップ
- 3 ロックNo.（パスワード）を入力→【OK】

「NFC／おサイフケータイ ロック」が解除されます。

NFCを利用する

NFC機能を有効にする

NFCリーダー／ライター、P2P機能を利用するには、「Reader／Writer, P2P」を有効にする必要があります。

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【NFC／おサイフケータイ設定】

NFC／おサイフケータイ設定画面が表示されます。

2 【Reader/Writer, P2P】→ をタップして にする

Android Beamでデータを送受信する

NFC機能を搭載した携帯電話などと、Android Beamを利用してデータの送受信ができます。

- ・あらかじめ「Reader/Writer, P2P」(▶P.148)、「Android Beam」(▶P.147)を有効に設定してください。
- ・すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

■データを送信する

■例：Android BeamでウェブページのURLを送信する場合

1 ホーム画面で【ブラウザ】→送信するウェブページを開く

2 受信側の機器と☑マークを向かい合わせる

表示されている画面が小さく表示され、「Beamするにはタッチしてください。」と表示されます。

3 小さく表示された画面をタップ

ウェブページのURLが送信されます。

■データを受信する

1 送信側の機器でデータの送信操作を行う

2 送信側の機器と☑マークを向かい合わせる

- ・許可画面や利用規約画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- ・選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択してください。



◎通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度向かい合わせてください。

NFCメニューアプリを利用する

NFCサービスに対応したアプリケーションの一覧表示や、NFCロックの設定など、各種設定を行うことができます。

1 アプリ一覧画面で【au】→【NFCメニュー】

NFCメニュー画面が表示されます。

- ・初めて操作したときは、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 アプリケーションを選択

ダウンロードや初期設定が必要な場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ NFCメニュー画面のメニューを利用する

NFCメニュー画面で□をタップすると、以下の項目が表示されます。

サービス一覧更新		サービス一覧の情報を更新します。
ポータルサイト		NFCポータルサイトを表示します。
NFCロック		►P.147 「おサイフケータイ®の機能をロックする」
ヘルプ		NFCメニューのヘルプを表示します。
設定	表示タイプ変更	NFCメニュー画面の表示タイプを設定します。
	カテゴリータイプ変更	カテゴリータイプの表示方法を横方向／縦方向に切り替えます。
	配色変更	NFCメニュー画面の色を設定します。
	アニメーション	NFCメニュー画面のアニメーション効果を有効にするかどうかを設定します。
	利用規約	NFCメニューの利用規約を表示します。
決済カード設定		決済するカードを設定します。
サービス移行支援		NFCサービスの移行情報を、他の端末に送受信できます。

FeliCaに対応したサービスを利用する

「おサイフケータイ」アプリを利用して、FeliCaに対応したサービスを利用できます。

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【おサイフケータイ】

サービス一覧画面が表示されます。

- 初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選択

サービス一覧画面のショートカット、またはサービス紹介サイトから、ご利用になるサービスを選択してください。

サービスによっては初期登録が必要です。画面の指示に従って操作してください。

あんしんフィルター for au

お子様にスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。

お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」・「高校生プラス」の4段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリの制限／許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。

また、保護者が指定した相手先にのみ通話を制限したり、夜間などスマートフォンのご利用を制限したりすることもできます。

- ご利用には、au IDが必要です。au IDの設定方法については、『設定ガイド Android 7.0対応版』をご参照ください。

1 アプリ一覧画面で [au] → 「あんしんフィルター for au】

- 初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 [au電話番号でログイン] / [au IDでログイン]

画面の指示に従って操作してください。

※ ご利用になるお子様のau電話番号もしくはau IDでログインしてください。

※ 旧サービス「安心アクセス」から継続ご利用されるお子さまの場合のみ、au IDでログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード（確認）を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生向け	<ul style="list-style-type: none">お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金（一部）があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。EMA^{※1}が認定するサイト／アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	<ul style="list-style-type: none">お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金（一部）があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。EMA^{※1}が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生向け	<ul style="list-style-type: none">お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。EMA^{※1}が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生プラス	<ul style="list-style-type: none">お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。EMA^{※1}が認定するサイト／アプリは利用可能です。

※1 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 [規約に同意してサービスを利用開始する] → [OK]

利用規約を必ずご確認ください。

「デバイス管理機能」を有効にする画面が表示されます。

6 [開始]

ウェブページが表示されます。

■管理者情報を登録する

1 アプリ一覧画面で [au] → [あんしんフィルター for au]

2 [] → [管理者登録]

- 画面上の「ここをタップして、あんしんフィルター for auの管理者IDを登録してください。」の表示をタップしても管理者登録の設定画面に進むことができます。

3 仮パスワードを入力→ [仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID（確認）を入力→ [管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力 → [管理者登録を行う] → [OK]



◎管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

■管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

以下の手順でお子様のスマートフォンから利用することも可能です。

1 アプリ一覧画面で [au] → [あんしんフィルター for au]

2 [] → [設定] → [管理者ページ]

3 管理者IDとパスワードを入力→ [ログイン]

管理者情報	管理者ID（メールアドレス）やパスワードの変更ができます。
端末情報	管理しているスマートフォンの名前を設定できます。
フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可／制限などカスタマイズが可能です。



◎詳しくは、auホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/>

auお客さまサポートアプリを利用する

月々のご請求金額やご利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。

- 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に【】 →【本アプリについて】→【ヘルプ】と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 アプリ一覧画面で【auお客さまサポート】

auお客さまサポートのトップ画面が表示されます。

- 初めて起動したときは画面の指示に従って、ID設定を行ってください。
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 確認する項目を選択

現在のご利用状況、ご請求金額、ご契約内容の確認や、各種お手続きができます。



memo

◎アプリケーションのバージョンアップにより「auお客さまサポート」アプリが「My au」アプリに変更になった場合は、アプリ一覧画面で「My au」をタップしてください。

画面の指示に従って操作をするとauお客さまサポート（My au）のトップ画面が表示されます。

auスマートサポートを利用する

auスマートサポートでできること

24時間365日体制^{※1}のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「Lookout for au」「リモートサポート」の2種類のアプリケーションを利用して、遠隔操作によるセキュリティ機能とサポートサービスを利用することができます。

その他、初期設定・基本操作や人気アプリの利用方法を、ご自宅に訪問し丁寧にご説明する「スマホ訪問サポート^{※2}（8,500円～14,500円／回、税抜）^{※3}」や、初心者の方にも分かりやすい「使い方ガイド本^{※4}」プレゼントなど、安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

- ご利用にはお申し込みが必要です。ご利用料金や詳細については、auホームページをご確認ください。

※1 22時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。

※2 訪問先はお客様のご契約住所に限ります。また、別途交通費がかかる地域がございます。

※3 コースにより料金が異なります。コースやメニューの内容はauホームページをご確認ください。

※4 本のプレゼントは一回限りとなります。



memo

◎「Lookout for au」「リモートサポート」のご利用にあたっては、「Lookout for auを利用する」（▶P.153）、「リモートサポートを利用する」（▶P.154）および「位置検索をご利用いただくにあたって」（▶P.153）をあわせてご参照ください。

Lookout for auを利用する

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客様のパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックをすることができます。

※ お客さまセンターから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックする場合は、auスマートサポートまたはauスマートパス、故障紛失サポートへの加入が必要です。



- ◎ Lookoutサービス設定が完了していない場合は、アプリ起動時にLookout for auの案内画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- ◎ ご利用の際には「デバイス管理機能」(▶P.187) で「Lookout」を有効にしてください。無効の場合は、ロックが正常に動作しないことがあります。
- ◎ 「緊急時長持ちモード」を有効にし、画面のバックライトが消灯している場合、画面のバックライトが消灯している場合は、遠隔操作による機能を利用できません。
- ◎ 位置情報へのアクセスなどの確認ダイアログが表示される場合には、「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

Lookout for auを利用する

紛失端末の位置検索機能を設定していない場合、次の操作で設定します。

1 アプリ一覧画面で [au] → [Lookout for au]

2 メールアドレスとパスワードを入力→ [保護を開始]

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご利用上のご注意

- Lookout for auに本製品の位置情報へのアクセス許可がされていない場合は、位置検索をご利用いただけません。
- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- ご契約いただいているau Nano IC Card 04情報と利用開始設定時のau Nano IC Card 04情報が一致している端末の検索ができます。

リモートサポートを利用する

スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

- ご利用にあたってはauスマートサポートまたはauスマートパス、故障紛失サポートへの加入が必要です。

リモートサポートを利用する

1 お客さまセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパス会員は局番なしの157番（au電話から／通話料無料）、
0077-7-111（一般電話から／通話料無料）までご連絡ください。
auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 アプリ一覧画面で【au】→【リモートサポート】

初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

auサービスTOPを利用する

最新ニュースや天気、乗換案内などのデイリーツールはもちろん、「auスマートパス」や「au WALLET」などのauの様々なサービスを最大限活用するためのポータルアプリです。au WALLETポイントが当たるコンテンツやお得なプレゼント情報などをご案内します。

- 利用方法、最新のお知らせについては、「auサービスTOP」アプリをご参照ください。



memo

- ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面で【サービスTOP】

auサービスTOPのTOP画面が表示されます。

- auサービスTOPのご利用にはau IDログインが必要です。
- au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。au IDについて詳しくは『設定ガイド Android 7.0対応版』をご参照ください。
- 初めて起動したときは、送信情報の概要などが表示されます。
- 画面の指示に従って、各種情報の設定を行うと各種情報を受け取ることができます。
- ニュース、天気、乗換などのデイリーツールやポイントガチャ、au WALLET情報、auサービスの特典情報などが表示されます。
- 設定内容はTOP画面の「設定」から変更ができます。



memo

- アプリなどによりお客様が操作していない場合でも自動的にデータ通信が行われる場合があります。
- コンテンツによっては、本製品に対応していない場合があります。
- 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

時計

アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

1 アプリ一覧画面で【時計】

時計画面が表示されます。

2 各機能に切り替える

画面上部のタブをタップすると各機能に切り替えられます。

アラームを利用する

1 時計画面→「アラーム」タブ

アラーム一覧画面が表示されます。

- 設定済みのアラームをタップすると編集できます。

2 各項目を設定・入力

- 「スヌーズ」をオンにすると、設定した時間の経過後にアラーム画面の表示とアラーム鳴動で再通知されます（スヌーズとは、いったんアラームを停止しても、しばらくするとアラームが鳴るようにする機能です）。

3 【保存】

作成したアラームが表示されます。

- 「」をタップすると「」に変わり、アラームがオフになります。

memo

- アラームを削除するには、アラーム一覧画面→削除したいアラームを長タップ→【削除】と操作します。

アラームを止める

設定した時刻になるとアラーム画面や「アラーム」ウィンドウが表示され、設定した種類・音量でアラームが鳴ります。画面消灯時または画面ロック中にはアラーム画面が表示され、その他の操作中には「アラーム」ウィンドウが画面上部にポップアップ表示されます。

1 アラーム画面の場合は「×」のアイコンを表示される円の外までドラッグ／スライド

- 「アラーム」ウィンドウが表示された場合は、「解除」をタップするか、または「アラーム」ウィンドウを左右いずれかにフリックしてください。
- スヌーズをオンにしたアラームの場合は、「スヌーズ」をタップすることでスヌーズを設定できます。

memo

- アラーム画面でアラーム鳴動中に \square (電源キー)／音量キーを押すとアラームを停止できます。スヌーズを設定したアラームの場合は、スヌーズが設定されます。

世界時計を利用する

登録した都市／国の日付と時刻を一覧で確認できます。

1 時計画面→「世界時計」タブ

2 [●]

3 追加したい都市をタップ→【追加】

- 都市をタップすると、その都市の日付と時刻が表示されます。



◎追加した都市を削除するには、世界時計画面→削除したい都市をロングタッチ→【削除】と操作します。

ストップウォッチを利用する

1 時計画面→「ストップウォッチ」タブ

2 【スタート】

測定が開始されます。

- ラップタイムを計測するには「ラップ」をタップします。

3 【停止】

測定を再開するには「再開」、測定をやり直すには「リセット」をタップします。

タイマーを利用する

1 時計画面→「タイマー」タブ

2 時間／分／秒をタップ→時間を設定→【スタート】

タイマーが開始されます。カウントダウンが終了するとタイムアップ画面や「タイマー」ウィンドウが表示され、アラームが鳴ります。画面消灯時または画面ロック中にはタイムアップ画面が表示され、その他の操作中には「タイマー」ウィンドウが画面上部にポップアップ表示されます。

- タイマーを停止するには「一時停止」、タイマーを終了するには「キャンセル」をタップします。
- 一時停止中に「再開」をタップするとタイマーを再開できます。

3 タイムアップ画面の場合は「×」のアイコンを表示される円の外までドラッグ／スライド

- 「タイマー」ウィンドウが表示された場合は、「解除」をタップするか、または「タイマー」ウィンドウを左右いずれかにフリックしてください。
- タイムアップ画面または「タイマー」ウィンドウの「リスタート」をタップすると、同じ設定でもう一度カウントダウンを開始します。



◎マナーモード設定中は、アラームが鳴りません。「バイブ」の場合のみバイブレーションが作動します。

◎タイムアップ画面でアラーム鳴動中に〔（電源キー）／音量キーを押すとアラームを停止できます。

電卓

加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行うことができます。

1 アプリ一覧画面で【電卓】

2 計算する

Ⓐ：カーソルの左側にある文字を消去します。ロングタッチするとカーソルの左側にある文字をすべて消去できます。

Ⓑ：計算結果や文字を消去します。



◎ 数字の入力中や計算の実行後に「履歴」をタップすると、計算の履歴を表示できます。「キーパッド」をタップすると非表示になります。また、「履歴を消去」をタップすると、履歴をすべて消去できます。

◎「自動回転」(▶P.48) がオンの場合、本製品を傾けて横表示にすると、関数電卓に切り替わります。

◎「自動回転」がオフの場合、Ⓑ をタップすると関数電卓に切り替わります。

au Wi-Fi接続ツールを利用する

auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。

- 利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面→【ヘルプ】と操作してヘルプをご参照ください。

1 アプリ一覧画面で【au】 → 【au Wi-Fi接続ツール】

au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。

- 初回起動時には、許可画面やプライバシーポリシー画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

QR・バーコードリーダーを利用する

SATCHを利用して、QRコードやバーコードを読み取ることができます。読み取った内容は、WEBサイト表示などに利用できます。QRコードとJANコードの読み取りに対応しています。

1 アプリ一覧画面で [au] → [SATCH] → [QR/バーコードを読み取る]

初回起動時は、アンケートなどが表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。



◎ SATCHではQR・バーコードリーダー以外にも、AR（Augmented Reality）を楽しむことができます。ARとはカメラにかざして対象物を読み込むことで、動画やCGなどを表示できる機能です。SATCHアプリ内のキャンペーンなどの画面の案内に沿ってお楽しみください。

ファイル管理

ファイル管理	160
本製品の保存領域について	160
microSDメモリカードを利用する	160
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す	161
メモリの使用量を確認する	164
マイファイルを利用する	164
microUSBケーブル01（別売）でパソコンと接続する	166
au設定メニューからデータをバックアップする	168
データお預かり設定をする	168
Smart Switchを利用する	168
Galaxyアカウントを利用してサーバー上にバックアップする	168

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモリカードにデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。



◎ アプリケーションによってはmicroSDメモリカードに保存するメニュー やメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード (microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む) を本製品にセットすることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。また、連絡先などをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。



◎ アプリケーションにより、microSDメモリカードが必要になる場合がありますので、microSDメモリカードを挿入してご利用ください。

◎ microSDメモリカードの空き容量を確認する方法については、「メモリの使用量を確認する」(▶P.164) をご参照ください。

◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化の方法については「microSDメモリカードをフォーマットする」(▶P.163) をご参照ください。

保護データについて

◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。

■取り扱い上のご注意

- ・ microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与える取り外しをしないでください。データが破損するおそれがあります。
- ・ 本製品にmicroSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- ・ 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、液体・金属・燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ・ 本製品はmicroSD／microSDHC／microSDXCメモリカード（最大128GB）に対応しています。対応のmicroSD／microSDHC／microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

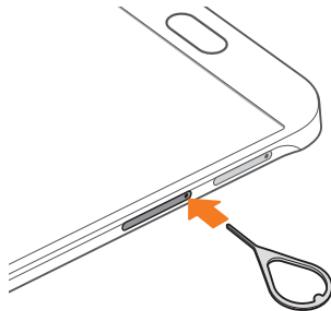
microSDメモリカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切つてから行います。

- ・取り外しの前には必ずmicroSDメモリカードのマウント（読み書き可能状態）解除を行ってください。
- ・無理な取り付け／取り外しはしないでください。

microSDメモリカードを取り付ける

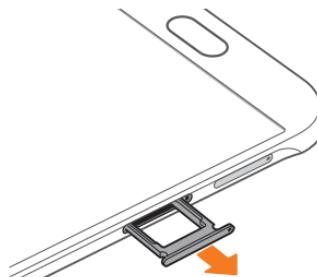
- 1 SIM取り出し用ピン（試供品）の先端をmicroSDメモリカードのトレイイジェクトホールにまっすぐ差し込むmicroSDメモリカードトレイが少し出ます。

- ・まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

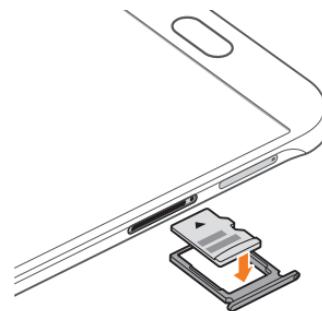


2 microSDメモリカードトレイをまっすぐ引き出す

- ・microSDメモリカードトレイには「microSD●」と印字されています。

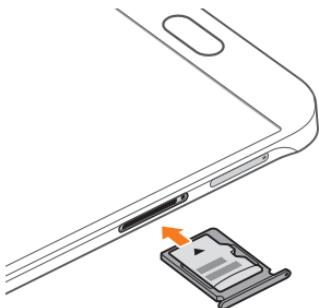


- 3 microSDメモリカードの端子（金属）面を下にしてmicroSDメモリカードトレイにはめこむ



4 図の向きでmicroSDメモリカードスロットの奥までmicroSDメモリカードトレイをまっすぐ差し込む

- microSDメモリカードトレイの上下を逆にすると、microSDメモリカードが落下するおそれがあります。



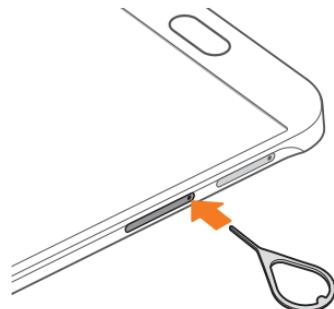
memo

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

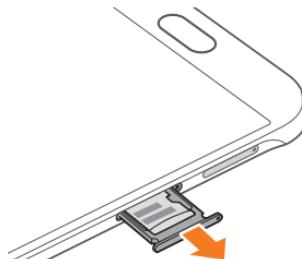
1 SIM取り出し用ピン（試供品）の先端をmicroSDメモリカードのトレイイジェクトホールにまっすぐ差し込む

- まっすぐ差し込むないと破損や故障の原因となります。

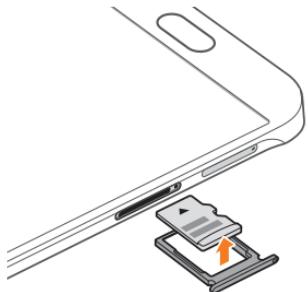


2 microSDメモリカードトレイをまっすぐ引き出す

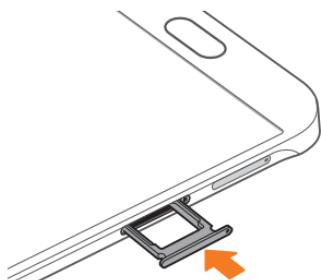
- microSDメモリカードトレイには「microSD●」と印字されています。
- microSDメモリカードトレイの上下を逆にすると、microSDメモリカードが落下するおそれがあります。



3 microSDメモリカードトレイからmicroSDメモリカードを取り出す



4 図の向きでmicroSDメモリカードスロットの奥までmicroSDメモリカードトレイをまっすぐ差し込む



 memo

- マウント解除完了前に取り外すと、故障・内部データの消失の原因となります。
- 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、microSDメモリカードを挿入したまま、ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【端末のメンテナンス】→【ストレージ】→【】→【ストレージ設定】→【外部SDカード】→【マウント】と操作してください。
- microSDメモリカードにデータを保存中は、マウント解除操作できません。
- microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- microSDメモリカードにインストールされたアプリケーションは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。

microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードをフォーマットすると、microSDメモリカードに保存されているデータがすべて消去されます。

- ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【端末のメンテナンス】→【ストレージ】
- 【】→【ストレージ設定】→【外部SDカード】→【初期化】
- 【初期化】→【完了】

メモリの使用量を確認する

本体やmicroSDメモリカード内のメモリの合計容量と空き容量などを確認できます。

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【端末のメンテナンス】→【ストレージ】

マイファイルを利用する

本体に保存されている静止画や動画、音楽や文書などのデータを表示・管理できます。

- 1 アプリ一覧画面で【ツール】→【マイファイル】

カテゴリー一覧画面が表示されます。

- ・「最近使用したファイル」には、マイファイルで最近使用したファイルの一覧が表示されます。
- ・【⋮】→「空き容量を確保」をタップすると、本体内のメモリの使用状況が表示されます。メモリの空き容量を確保するために不要なデータを削除することができます。

- 2 利用したいフォルダをタップ

フォルダ／ファイル一覧画面が表示されます。

「マイファイル」をタップするとカテゴリー一覧画面に、「←」をタップすると1つ上の階層に移動します。

- 3 表示／再生したいファイルをタップ

選択したファイルが表示／再生されます。

マイファイルのメニューを利用する

カテゴリー一覧画面、フォルダ／ファイル一覧画面で「⋮」をタップすると、以下の項目が表示されます。

編集 ^{※1}	選択したフォルダ／ファイルに対して、以下の操作を行えます。
削除	
移動	
コピー	
名前を変更	
ホーム画面にショートカットを追加	
圧縮	
詳細	
共有 ^{※1}	選択したフォルダ／ファイルを共有します。データによっては共有する方法（アプリ）を指定する必要があります。
フォルダ作成 ^{※1}	フォルダを作成します。
表示形式 ^{※1}	フォルダ／ファイルの表示形式を設定します。
並べ替え ^{※1}	ファイル／フォルダ一覧の表示順を設定します。
空き容量を確保 ^{※2}	「使用していないファイル」や「不要なファイル」などを削除し、空き容量を確保します。
設定 ^{※2}	マイファイルについて設定します。

※1 フォルダ／ファイル一覧画面にのみ表示されます。

※2 カテゴリー一覧にのみ表示されます。

本体内のデータをmicroSDメモリカードにバックアップする

マイファイルを利用して、本体内のメモリのデータをmicroSDメモリカードにバックアップできます。

■例：カメラで撮影したデータをバックアップする

ここでは、本製品の「カメラ」アプリケーションで撮影し、本体内のメモリに保存されているデータをmicroSDメモリカードにバックアップする方法を説明します。

- 1 アプリ一覧画面で【ツール】→【マイファイル】
- 2 【内部ストレージ】→【DCIM】→【Camera】
- 3 バックアップするデータをロングタッチしてチェックを入れる→【⋮】→【コピー】
- 4 【外部SDカード】→保存するフォルダを選択→【完了】
 - ・【フォルダを作成】と操作すると、新規にフォルダを作成できます。



- ◎バックアップしたデータを本体に戻す場合は、microSDメモリカード内のデータを元の場所にコピーします。
- ◎Eメールを復元する場合は、「Eメールをバックアップ／復元する」(▶P.96)をご参照ください。

■本体内の主なデータ保存場所

データの種類	データ保存場所	
カメラで撮影したデータ	内部ストレージ > DCIM/ Camera	
Eメール (@ezweb.ne.jp) ^{*1}	受信メール	内部ストレージ > private/ au/email/BU/RE
	送信済メール	内部ストレージ > private/ au/email/BU/SE
	未送信メール	内部ストレージ > private/ au/email/BU/DR
	受信メールで添付データを保存した場合	内部ストレージ > private/ au/email/MyFolder
	受信メールで本文に挿入されている画像を保存した場合（〇絵文字を含む）	内部ストレージ > private/ au/email/MyFolder
ブラウザから保存した画像などのデータ	内部ストレージ > Download	

*1 Eメールアプリでデータが本体内にバックアップされた場合の保存場所です。

microUSBケーブル01（別売）でパソコンと接続する

microUSBケーブル01（別売）で本製品とパソコンを接続すると、メディアデバイス（MTP）モードまたはカメラ（PTP）モードでパソコンとデータのやりとりができます。



- ◎ データ転送中にmicroUSBケーブル01（別売）を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- ◎著作権で保護されたデータはやりとりできない場合や、利用できない場合があります。

メディアデバイス（MTP）モードでパソコンと接続する

■ Windows Media Playerでデータを転送する

パソコンに本製品がポータブルデバイスとして認識され、パソコンと本体／microSDメモリカードとの間で、ドラッグ＆ドロップでデータをコピー／移動をしたり、Windows Media Playerと音楽や動画のデータを同期させたりできます。

1 パソコンのWindows Media Playerを起動し、同期リストを表示

Windows Media Player 11／12をご使用ください。
Windows Media Playerで転送先を設定してください。本体メモリに転送する場合は、「内部ストレージ」に設定してください。

2 Windows Media Playerの同期リストに保存するデータを登録し、同期を実行

登録したデータが転送されます。
転送が終了すると、Windows Media Player 11／12に本製品を切断できる旨が表示されます。

3 microUSBケーブル01（別売）を本製品から取り外す

microUSBケーブル01（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。



memo

- ◎著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。
- ◎データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。
- ◎著作権保護されていないデータでも、本製品以外で保存したデータは再生できない場合があります。
- ◎本製品以外でファイルを保存したmicroSDメモリカードを使用すると、「メディアファイルを転送」に設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、microSDメモリカードを本製品でフォーマットすることをおすすめします。なお、microSDメモリカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されますのでご注意ください。

転送ファイルについて

- ◎拡張子を含め64文字目まで同じファイル名のデータを転送したときは、データが上書きされる場合があります。
- ◎著作権保護されたデータのライセンス情報は、microSDメモリカードに保存されます。ライセンス情報データの削除、オールリセットなどを行うと、転送したデータが再生できなくなる場合があります。

■本体メモリやmicroSDメモリカード内のデータをパソコンで操作する

あらかじめパソコンと本製品を接続し、「USBの使用」を「メディアファイルを転送」に設定してください。

1 パソコンから「Galaxy A8」を開く

本体メモリを操作する場合は、「内部ストレージ」を開いてください。

2 パソコンを操作してデータを転送

3 転送終了後、microUSBケーブルO1（別売）を本製品から取り外す

microUSBケーブルO1（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

カメラデバイスとして使用する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブルO1（別売）で接続してカメラ（PTP）モードにすると、本製品で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。

- ・MTP非対応のパソコンなどにデータを転送する場合に使用します。

1 microUSBケーブルO1（別売）で本製品とパソコンを接続

2 通知パネルを開く→[USBをファイル転送に使用]→「画像を転送」が選択されていることを確認

3 パソコンでデータのやりとりや、同期の操作を行う

microUSBケーブルO1（別売）を安全に取り外す

1 データ転送中でないことを確認

2 microUSBケーブルO1（別売）を取り外す

au設定メニューからデータをバックアップする

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【au設定メニュー】→【データを移行する】
- 2 画面の指示に従って操作
 - auサーバー上にバックアップ（「auサーバーを使う」を選択）する場合は、au IDの設定が必要です。

データお預かり設定をする

「データお預かり」アプリケーションを利用して、auサーバー上に写真とアドレス帳を自動バックアップすることができます。

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【au設定メニュー】→【データお預かり設定】
 - 「データお預かり設定」をご利用いただくにはau IDの設定が必要です。
- 2 お預かりデータ一覧で、預けるデータ種別にチェックを付ける

Smart Switchを利用する

Smart Switchを利用して、連絡先や音楽、静止画、動画などのデータを本製品と同期したり、本製品のソフトウェアを更新したりできます。

- Smart SwitchはSmart Switchのホームページからダウンロードします。ダウンロードや使いかたの詳細については、Smart Switchのホームページをご参照ください。
<パソコンから><http://www.samsung.com/smartswitch/>

- 1 microUSBケーブルO1（別売）で本製品とパソコンを接続
- 2 パソコンでSmart Switchを起動する

Galaxyアカウントを利用してサーバー上にバックアップする

Galaxyアカウントが必要です。また、無線LAN（Wi-Fi[®]）機能でWi-Fi[®]ネットワークに接続しておく必要があります。

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【クラウドとアカウント】→【バックアップと復元】→【バックアップ設定】
 - Galaxyアカウントの画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 2 バックアップ対象のをタップしてにする→【今すぐバックアップ】

memo

◎【自動バックアップ】を有効にすると、Wi-Fi[®]ネットワークに接続されており、スリープ状態かつ充電中の状態で1時間経過すると、自動バックアップが開始されます。自動バックアップは、最後のバックアップから24時間ごとに実行されます。

◎バックアップしたデータを復元するには、ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【クラウドとアカウント】→【バックアップと復元】→【復元】と操作します。

データ通信

無線LAN（Wi-Fi[®]）機能	170
Wi-Fi [®] 機能を利用する	170
Wi-Fi [®] 機能をオンにする	170
Wi-Fi [®] ネットワークに接続する	170
Wi-Fi [®] 機能を切断する	172
Wi-Fi [®] の詳細設定を行う	172
Wi-Fi Directを設定する	173
Bluetooth[®]機能	173
Bluetooth [®] 機能をオンにする	174
他のBluetooth [®] 機器を登録する	174
Bluetooth [®] 機能でデータを送受信する	175
テザリング機能	176
Wi-Fi [®] テザリング機能を利用する	176
USBテザリング機能を利用する	177
Bluetooth [®] テザリング機能を利用する	177

無線LAN (Wi-Fi®) 機能

Wi-Fi®機能を利用する

家庭内で構築した無線LAN (Wi-Fi®) 環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



memo

- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN親機 (Wi-Fi®ネットワーク) をご用意ください。
- ◎ 出外先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN (Wi-Fi®) 機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【Wi-Fi】

2 をタップして にする

Wi-Fi®機能が起動し、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。

Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

- ◎ Wi-Fi®機能がオンのときでもデータ通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®機能が優先されます。
- ◎ また、Wi-Fi®ネットワークが切断されると、自動的にデータ通信に切り替わります。
- ◎ Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、お使いの本製品の位置によって異なります。Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【Wi-Fi】

Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→【接続】

- セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)^{※1}を入力し、「接続」をタップします。
- ※1 パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続が完了すると、ステータスバーに が表示されます。



- ◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
- ◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

WPSのプッシュボタン方式でWi-Fi®ネットワークに接続する

WPSが利用可能なWi-Fi®ネットワークのアクセスポイントには、WPS (Wi-Fi Protected Setup) を利用して接続できます。

- 1 Wi-Fi設定画面で【詳細設定】→【WPSプッシュボタン】
- 2 アクセスポイント機器側で、2分以内にWPSボタンを押す
- 3 本製品で【OK】



- ◎ Wi-Fi®ネットワークのアクセスポイントがWPSのPINコード方式に対応している場合は、Wi-Fi®設定画面で【詳細設定】→【WPS PINエントリ】をタップし、アクセスポイント側で本製品の画面に表示されたPINコードを入力→本製品で【OK】をタップすると接続できます。

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

- 1 Wi-Fi設定画面で【ネットワークを追加】
- 2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワーク名を入力
- 3 セキュリティを選択
必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。
- 4 【接続】



- ◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

静的IPを使用して接続する

静的IPアドレスを使用してWi-Fi®ネットワークに接続するように設定できます。

- 1 Wi-Fi設定画面→接続するWi-Fi®ネットワークをタップ→【拡張オプションを表示】にチェックを入れる→下に表示される【IP設定】の項目をタップ→【静的】設定項目が下に表示されます。
- 2 項目を選択→必要な情報を入力
静的IPアドレスを使用するには、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットワークプレフィックス長」「DNS 1」「DNS 2」の入力が必要です。
- 3 【接続】

Wi-Fi®機能を切断する

- 1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択
- 2 [切断]



- ◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[ネットワークを削除]と操作しても、接続を切断できます。
- ◎ 切断すると、再接続のときにパスワード（セキュリティキー）の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®の詳細設定を行う

Adaptive Wi-Fiを設定する

安定したインターネット接続を維持するために、モバイルネットワークとWi-Fi®ネットワーク接続を自動で切り替えます。

- 1 Wi-Fi設定画面で [詳細設定] → 「Adaptive Wi-Fi」の をタップして にする

Wi-Fi®機能のスリープ設定をする

Wi-Fi®機能のスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi®機能がオフになるように設定できます。また、Wi-Fi®機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

- 1 Wi-Fi設定画面で [詳細設定] → [スリープ中にWi-Fi接続を維持]
- 2 スリープ設定を選択

Wi-Fi®証明書をインストールする

Wi-Fi®証明書を本製品やmicroSDメモリカードからインストールできます。

- 1 Wi-Fi設定画面で [詳細設定] → [ネットワーク証明書をインストール]
以降の操作については、ネットワーク管理者の情報に従って設定してください。

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Direct対応デバイス同士をピア・ツー・ピア (P2P) 型により相互接続し、データのやりとりができます。

1 接続する2台の端末両方のWi-Fi設定画面で【Wi-Fi Direct】

2 検索されたデバイス名を選択

検索されたデバイス側で「接続」をタップすると、Wi-Fi Directで接続されます。

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®デバイスと通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®デバイスのペアリング（登録）を行ってください。



- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行な際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ Bluetooth®機能使用時の注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近付いていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■ 無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器との電波干渉について

本製品のBluetooth®機能と無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。

この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetooth®デバイスと無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器は、20m以上離してください。

2.20m以内で使用する場合は、Bluetooth®デバイスまたは無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。

他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【Bluetooth】

2  をタップして  にする

ステータスバーに  (接続待機中のアイコン) が表示されます。



- ◎ Bluetooth®機能のオン／オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- ◎ Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
- ◎ Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また、航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

他のBluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング（登録）を行います。

機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【Bluetooth】

Bluetooth設定画面が表示されます。

2  をタップして  にする

接続可能なBluetooth®機器の検索が自動的に開始され、検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

3 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

4 画面の指示に従って操作

パスキー入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー（4～16桁の数字）を入力します。



◎ ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。

◎ 接続するBluetooth®デバイス名が表示されていないときは、「スキャン」をタップして、機器を再検索します。

■ パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4～16桁の数字を入力できます。



- ◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
- ◎ 接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth[®]機器から検出可能にする

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【Bluetooth】
- 2 をタップして にする

■他のBluetooth[®]機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「OK」をタップまたはパスキーを入力し、Bluetooth[®]機器を認証します。

ペアリングを解除する

- 1 Bluetooth設定画面→ペアリング済みのBluetooth[®]デバイス名の【※】→【ペアリングを解除】

Bluetooth[®]機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth[®]機能をオンにし、相手のBluetooth[®]機器とペアリングを行ってください。

Bluetooth[®]機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth[®]機器に送信できます。

- 送信は各アプリケーションの「共有」などのメニューから行ってください。

Bluetooth[®]機能でデータを受信する

- 1 ファイル転送画面が表示されたら→【承認】

ステータスバーに が表示され、データの受信が開始されます。通知パネルで受信状態を確認できます。

テザリング機能

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、データ通信を通じて無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器、USB対応機器をインターネットに接続させることをいいます。



◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品をインターネットアクセスポイントとして利用できるようになります。

- 1 ホーム画面で [基本フォルダ] → [設定] → [接続] → [テザリング]
- 2 [Wi-Fiテザリング] → をタップして にする
Wi-Fi®接続中は、注意事項を確認し、「OK」をタップします。



◎ Wi-Fi®テザリング機能は電池を多く消費するため、充電しながらご利用になることをおすすめします。

Wi-Fi®テザリングを設定する

無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

- 1 ホーム画面で [基本フォルダ] → [設定] → [接続] → [テザリング]
- 2 [Wi-Fiテザリング] → [⋮] → [Wi-Fiテザリングを設定]
- 3 ネットワーク名を入力
パソコンなど無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器に表示されるアクセスポイント名 (SSID) を入力します。
- 4 セキュリティを選択
必要に応じて、Wi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。
- 5 [保存]



◎「セキュリティ」を「オープン」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

◎次の操作で、デバイスに接続していない場合にWi-Fi®テザリングを自動的に無効にする時間を設定できます。[⋮] → [タイムアウト設定] と操作します。

接続を許可する機器を設定する

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【テザリング】→【Wi-Fiテザリング】
- 2 [⋮] →【許可デバイス】→「許可デバイスのみ」のをタップしてにする
- 3 【追加】
- 4 接続を許可する機器の名前（デバイス名称）を入力→「MACアドレス」欄をタップ→接続を許可する機器のMACアドレスを入力→【追加】

USBテザリング機能を利用する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続し、インターネットに接続することができます。

- 1 microUSBケーブル01（別売）で本製品とパソコンを接続
- 2 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【テザリング】
- 3 「USBテザリング」のをタップしてにする



◎Windows Vista／Windows 7／Windows 8／Windows 8.1／Windows 10以外のOSでの動作は、保証していません。

Bluetooth®テザリング機能を利用する

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【テザリング】
- 2 「Bluetoothテザリング」のをタップしてにする
 - 他のBluetooth®機器から検出可能（▶P.175）になっていない場合、自動的に検出可能になります。

機能設定

設定メニューを表示する	179
接続	179
サウンドとバイブ	182
通知	183
ディスプレイ	184
壁紙とテーマ	184
高度な機能	185
端末のメンテナンス	185
ロック画面とセキュリティ	186
クラウドとアカウント	189
au設定メニュー	190
ユーザー補助	191
一般管理	193
ソフトウェア更新	194
端末情報	194

設定メニューを表示する

設定メニューから本製品の各種機能を設定、管理します。壁紙や着音のカスタマイズ、セキュリティの設定、データの初期化などを行うことができます。

1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】

設定メニュー画面が表示されます。

- ステータスバーを下にスライドし、通知パネルにある  をタップしても、設定メニュー画面を表示することができます。

2

接続	▶P.179
サウンドとバイブ	▶P.182
通知	▶P.183
ディスプレイ	▶P.184
壁紙とテーマ	▶P.184
高度な機能	▶P.185
端末のメンテナンス	▶P.185
アプリ	本製品にインストールしたアプリケーションの確認や設定などを行います。
ロック画面とセキュリティ	▶P.186
クラウドとアカウント	▶P.189
au設定メニュー	▶P.190
Google	Googleのアカウントやサービスを設定します。
ユーザー補助	▶P.191
一般管理	▶P.193
ソフトウェア更新	▶P.194
端末情報	▶P.194

接続

1 設定メニュー画面→【接続】

2

Wi-Fi	Wi-Fi [®] 機能のオン／オフを切り替えます。 ・「Wi-Fi [®] 機能をオンにする」(▶P.170)
Bluetooth	Bluetooth [®] 機能のオン／オフを切り替えます。 ・「Bluetooth [®] 機能をオンにする」(▶P.174)
端末の公開設定	▶P.179「端末の公開設定」
データ使用量	▶P.180「データ使用量」
機内モード	▶P.180「機内モード」
NFC/おサイフケータイ設定	本製品を対応機器にタッチさせて、データを交換したり、モバイル決済サービスを利用したりできるように設定します。 ・「おサイフケータイ [®] を設定する」(▶P.147)
テザリング	▶P.181「テザリング」
モバイルネットワーク	本製品にインストールしたアプリケーションの確認や設定などを行います。
位置情報	▶P.181「位置情報」
その他の接続設定	▶P.181「その他の接続設定」

1 端末の公開設定

本端末を検索してコンテンツを共有することを他のデバイスに許可するかどうかを設定します。

1 設定メニュー画面→【接続】→【端末の公開設定】

2  をタップして  にする

データ使用量

期間ごとやアプリケーションごとのモバイルデータ通信使用量（目安）を確認できます。また、アプリケーションがバックグラウンドで行うデータ通信や自動同期を制限したり、特定のWi-Fi®ネットワークを利用できないように設定したりできます。

■データ通信を設定する

- 1 設定メニュー画面→【接続】→【データ使用量】
- 2 「モバイルデータ」のをタップしてにする

■データセーバーを設定する

- 1 設定メニュー画面→【接続】→【データ使用量】→【データセーバー】
- 2 をタップしてにする

- ・バックグラウンドでのデータ通信が制限されます。
- ・「データセーバーON時にデータ使用を許可」をタップすると、データ通信の制限の対象外とするアプリを設定できます。

■バックグラウンドでのモバイルデータの使用を禁止する

- 1 設定メニュー画面→【接続】→【データ使用量】
- 2 【モバイルデータ使用量】→目的のアプリをタップ
- 3 「バックグラウンドデータの使用を許可」のをタップしてにする

■指定したモバイルデータ使用量を超えたときに警告・制限させる

- 1 設定メニュー画面→【接続】→【データ使用量】

- 2 【モバイルデータ使用量】→【】

3 「データ制限」のをタップしてにする

使用量を変更するには、「データ制限」をタップし、数値を入力→【設定】と操作します。



memo

◎「データ制限」をオンにしていない場合でも、指定したデータ使用量を超えたときに警告が表示されます。

機内モード

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能（電話、データ通信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能）がすべてオフになります。

- 1 設定メニュー画面→【接続】→【機内モード】

- 2 をタップしてにする

をタップすると、機内モードはオフになります。

機内モードがオンの場合でも無線LAN（Wi-Fi®）機能やBluetooth®機能を設定またはクリック設定パネルで再度オンにすることができます。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

テザリング

Wi-Fi®、Bluetooth®、およびUSBテザリングを設定します。

1 設定メニュー画面→【接続】→【テザリング】

2	Wi-Fiテザリング	►P.176 「Wi-Fi®テザリング機能を利用する」
	Bluetoothテザリング	►P.177 「Bluetooth®テザリング機能を利用する」
	USBテザリング	►P.177 「USBテザリング機能を利用する」

モバイルネットワーク

データ通信や海外利用などのネットワークを利用できるように設定します。

1 設定メニュー画面→【接続】→【モバイルネットワーク】

2	ローミング設定	►P.210 「海外利用に関する設定を行う」
	APN	►P.112 「データ通信を利用する」

位置情報

位置情報のオン／オフを切り替えたり、検出方法を設定したりします。

1 設定メニュー画面→【接続】→【位置情報】

2 をタップして にする

3	位置情報の検出方法	位置情報の検出方法を選択します。
	精度を向上	Wi-Fi®機能やBluetooth®機能を使用して、位置情報の精度を向上させます。
	最近の位置情報要求	位置情報を要求したアプリを表示します。
	位置情報サービス	位置情報サービスの利用を設定します。

他の接続設定

1 設定メニュー画面→【接続】→【他の接続設定】

2	近くのデバイスをスキャン	接続可能なデバイスが近くにあるかをスキャンするように設定します。
	印刷	対応する印刷サービスを設定します。
	MirrorLink	本製品で表示している画面を車のディスプレイに表示することで、ハンドルを握ったまま本製品を使用することができます。 <ul style="list-style-type: none">microUSBケーブル01（別売）で本製品を車に接続して、MirrorLink専用のアプリケーションを使用します。車のシステムがMirrorLink機能に対応している必要があります。
	VPN	►P.181 「VPNを設定する」

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク（VPN : Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

- 本製品は以下の種類のVPNに対応しています。

- PPTP
- L2TP/IPSec PSK
- L2TP/IPSec RSA
- IPSec Hybrid RSA
- IPSec Xauth PSK
- IPSec Xauth RSA
- IPSec IKEv2 PSK
- IPSec IKEv2 RSA

■ VPNを追加する

1 設定メニュー画面→ [接続] → [その他の接続設定] → [VPN]

2 [VPNを追加]

・注意画面が表示された場合は、「OK」をタップし、画面の指示に従って画面ロック解除方法を設定します。設定方法については、「画面ロックの種類を設定する」(▶P.188)をご参照ください。

3 VPN設定の各項目を設定→ [保存]

VPN設定画面のリストに、新しいVPNが追加されます。

■ VPNに接続する

1 設定メニュー画面→ [接続] → [その他の接続設定] → [VPN]

VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→ [接続]

VPNに接続すると、ステータスバーに  が表示されます。

■ VPNを切断する

1 ステータスバーを下にスライド→VPN接続中を示す通知をタップ→ [切断]

■ VPNを編集する

1 VPN設定画面で編集するVPNの  をタップ

2 VPNネットワークを編集する→ [保存]

■ VPNを削除する

1 VPN設定画面で削除するVPNの  をタップ→ [削除]

■ サウンドとバイブ

1 設定メニュー画面→ [サウンドとバイブ]

2 サウンドモード	マナーモードの設定を「サウンド」／「バイブ」／「サイレント」から切り替えます。
着信時にバイブ	電話の着信時に、着信音に加えてバイブレーション動作もするかどうかを設定します。 ・マナーモード（バイブ／サイレント）に設定している場合は、本機能は設定できません。
音量キーでメディアを調整	メディアを再生していない場合でも、音量キーでメディアの音量を調整するかを設定します。
音量	▶P.183「各種音量を調節する」
バイブの強度設定	▶P.183「バイブレーションの強度を設定する」
着信音	電話の着信音を設定します。
バイブパターン	バイブレーションのパターンを設定します。
通知音	標準通知音およびSプランナーなどの通知音を設定します。
通知をミュート	▶P.183
タッチ操作音	□や△、メニュー項目をタップしたときに操作音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロック音	画面ロック／解除時に音を再生するかどうかを設定します。
充電時の音	充電器を接続したときに音を再生します。
タッチ操作バイブ	□や△をタップしたときや○を長押ししたときに振動するように設定します。
ダイヤルキーパッド音	ダイヤルキーパッドを操作したときに操作音を再生するかどうかを設定します。
キーボード音	キーボードを操作したときに音を再生するかどうかを設定します。
キーボードバイブ	Galaxy日本語キーボードをタップしたとき振動させるかどうかを設定します。
音質とエフェクト	好みの音質にカスタマイズしたり、サウンドエフェクトを設定したりします。
アプリサウンドの出力デバイスを設定	選択したアプリのサウンドをスピーカーやヘッドホンで再生するように設定します。

■マナーモードを設定する

マナーモード（バイブ／サイレント）を設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 通知パネルを開く

2 をタップし、 / に設定する



- ◎ 音量キーの下側を押すと、着信音量が1段階下がります。着信音量を下げることで、バイブにすることもできます。
- ◎ マナーモード（バイブ／サイレント）に設定中でも、カメラ撮影時のシャッター音や、動画再生、音楽の再生などは消音されません。

■各種音量を調節する

1 設定メニュー画面→ [サウンドとバイブ] → [音量]

次の項目の音量を調節します。

- ・着信音
- ・メディア
- ・通知
- ・システム

2 スライダを左右にドラッグして音量を調節

音量を下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。



- ◎ マナーモード設定中に着信音の音量を調節すると、マナーモードは解除されます。

■バイブレーションの強度を設定する

1 設定メニュー画面→ [サウンドとバイブ] → [バイブの強度設定]

次の項目のバイブレーションの強度を調節します。

- ・着信
- ・通知
- ・タッチ操作バイブ

2 スライダを左右にドラッグして強度を調節

バイブレーションを弱くするにはスライダを左にドラッグ、強くするにはスライダを右にドラッグします。

■通知を消音する

選択した例外を除いて、すべての着信および通知を消音するように設定します。

1 設定メニュー画面→ [サウンドとバイブ] → [通知をミュート]

2	今すぐ有効化	通知をミュートをすぐに有効／無効にします。
	予定時刻に有効化	通知をミュートを有効／無効にする曜日、開始時刻と終了時刻を設定します。
	例外を許可	通知をミュートが有効なときの例外を「例外なし」「アラームのみ」「カスタム」から選択します。
	通知を非表示	非表示について、画面のON／OFFそれぞれの状況で設定ができます。

通知

通知を受信するアプリを選択します。

1 設定メニュー画面→ [通知]

2 通知を受信するアプリの をタップして にする

ディスプレイ

1 設定メニュー画面→ [ディスプレイ]

明るさ	画面の明るさを設定します。
明るさ自動調整	周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整します。
画面モード	画面表示のモードやカラーバランスを設定します。
画面のズームとフォント	画面のズームや文字のサイズ、フォントのスタイルを設定します。
ホーム画面	ホーム画面のカスタマイズができます。
かんたんモード	▶P.42「ホーム画面を切り替える」
アイコンのフレーム	アイコンにフレームを表示するかどうかを設定します。
ステータスバー	ステータスバーの通知アイコンの件数や電池残量（%）表示を設定します。
画面のタイムアウト	画面のバックライトが自動消灯するまでの時間を設定します。
スクリーンセーバー	▶P.184「スクリーンセーバーを設定する」

スクリーンセーバーを設定する

充電中に表示するスクリーンセーバーのオン／オフ、種類、起動のタイミングを設定します。

1 設定メニュー画面→ [ディスプレイ] → [スクリーンセーバー]

2 をタップして にする

3 [カラー]／[フォト]／[フォトテーブル]／[フォトフレーム]

- 「フォト」を選択した場合は、[] →表示するアルバムにチェックを入れる→[]と操作します。
- 「フォトテーブル」または「フォトフレーム」を選択した場合は、[] →表示する画像が含まれるフォルダにチェックを入れる→[]と操作します。
- [] → [プレビュー] をタップすると、スクリーンセーバーをプレビュー表示できます。
- [] → [使用するタイミングを選択] をタップすると、スクリーンセーバーを使用するタイミングを選択できます。

壁紙とテーマ

ホーム画面やロック画面の壁紙やテーマを変更します。

1 設定メニュー画面→ [壁紙とテーマ] → [壁紙]／[テーマ]／[アイコン]

- 【利用規約】→内容を確認してチェックを入れる→【開始】と操作すると、他のコンテンツを表示できます。

高度な機能

本製品の便利な機能を設定します。

1 設定メニュー画面→【高度な機能】

2	<table border="1"> <tr><td>スマートステイ</td><td>本製品を動かす（モーション）、ディスプレイ上でスワイプやタップなどの動作（ジェスチャー）で操作することができます。</td></tr> <tr><td>片手モード</td><td>一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。</td></tr> <tr><td>カメラをクリック起動</td><td>機能の名称をタップすると、その機能の説明画面が表示されます。</td></tr> <tr><td>マルチウィンドウ</td><td>▶P.38「高度な機能の使いかた」</td></tr> <tr><td>スマートキャブチャ</td><td></td></tr> <tr><td>スワイプキャブチャ</td><td></td></tr> <tr><td>スマートアラート</td><td></td></tr> <tr><td>簡単に消音</td><td></td></tr> <tr><td>スワイプして発信／メッセージ送信</td><td></td></tr> <tr><td>デュアルメッセンジャー</td><td></td></tr> <tr><td>SOSメッセージを送信</td><td></td></tr> <tr><td>Direct share</td><td></td></tr> </table>	スマートステイ	本製品を動かす（モーション）、ディスプレイ上でスワイプやタップなどの動作（ジェスチャー）で操作することができます。	片手モード	一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。	カメラをクリック起動	機能の名称をタップすると、その機能の説明画面が表示されます。	マルチウィンドウ	▶P.38「高度な機能の使いかた」	スマートキャブチャ		スワイプキャブチャ		スマートアラート		簡単に消音		スワイプして発信／メッセージ送信		デュアルメッセンジャー		SOSメッセージを送信		Direct share	
スマートステイ	本製品を動かす（モーション）、ディスプレイ上でスワイプやタップなどの動作（ジェスチャー）で操作することができます。																								
片手モード	一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。																								
カメラをクリック起動	機能の名称をタップすると、その機能の説明画面が表示されます。																								
マルチウィンドウ	▶P.38「高度な機能の使いかた」																								
スマートキャブチャ																									
スワイプキャブチャ																									
スマートアラート																									
簡単に消音																									
スワイプして発信／メッセージ送信																									
デュアルメッセンジャー																									
SOSメッセージを送信																									
Direct share																									

端末のメンテナンス

本製品のバッテリー、ストレージ、メモリの状態を確認したり、不正なプログラムなどから本製品を保護したりできます。

1 設定メニュー画面→【端末のメンテナンス】

2	今すぐ最適化 ^{※1}	▶P.185「最適化機能を使用する」
	バッテリー	▶P.185「バッテリーの確認や設定をする」
	ストレージ	本体メモリの空き容量などを確認できます。
	メモリ	▶P.52「起動中のアプリケーションを確認／終了する」
	端末の保護	本製品をセキュリティ脅威から保護します。

※1 表示される内容は、端末の状態によって異なります。

最適化機能を使用する

1 設定メニュー画面→【端末のメンテナンス】

2 [今すぐ最適化]

以下の処理などを一括して行います。

- ・バッテリーを過剰に消費するアプリの特定と一部のメモリのクリア
- ・バックグラウンドで実行されているアプリの終了
- ・マルウェアアプリのスキャン
- ・ストレージの容量の確保

バッテリーの確認や設定をする

1 設定メニュー画面→【端末のメンテナンス】→【バッテリー】

2	バッテリーの推定残り使用時間	電池残量の推定残り使用時間が表示されます。
	バッテリーの使用量	電池使用量の詳細情報が表示されます。
	省電力モード	省電力モードを設定します。
	アプリのバッテリーモニター	バックグラウンドでバッテリーを使用しているアプリが表示されます。アプリをスリープ状態にすることでバッテリーを長持ちできます。
	監視対象外のアプリ	バッテリー長持ちのためにスリープ状態に設定しないアプリを選択します。
	常にスリープ状態のアプリ	使用していない場合は直ちにスリープ状態に設定するアプリを選択します。

ストレージの確認や設定をする

本体や外部SDカード[※]などのストレージのデータ容量や空き容量を表示します。

また、不要なデータの削除やストレージの設定をします。

* microSDメモリカードが取り付けられているときに表示されます。

不要なデータを削除する

1 設定メニュー画面→[端末のメンテナンス]→[ストレージ]

2 [今すぐ確保]

microSDメモリカードのマウントを解除する

1 設定メニュー画面→[端末のメンテナンス]→[ストレージ]

2 [⋮]→[ストレージ設定]→[△]

- microSDメモリカードをマウントするには、[外部SDカード]→[マウント]と操作します。

ロック画面とセキュリティ

1 設定メニュー画面→[ロック画面とセキュリティ]

画面ロックの種類		▶P.188「画面ロックの種類を設定する」
指紋認証		▶P.53「指紋認証機能を利用する」
Smart Lock		信頼できる条件のときに本製品の自動ロック解除を可能にするかどうかを設定します。
安全ロック設定 ^{※1}		画面ロック解除時にパターンの軌跡を表示するかどうかを設定します。
パターンを表示	自動ロック	画面がオフになってからロックがかかるまでの時間を設定します。
電源キーですぐにロック	電源キー	[(電源キー)を押して画面をオフにしたときに、すぐロックするかどうかを設定します。
自動初期化	初期化	端末のロック解除に15回失敗すると、端末を工場出荷時の状態にリセットするかどうかを設定します。
ネットワークとセキュリティをロック	セキュリティ	端末がロックされている間、ネットワークおよびセキュリティに関する設定の変更をロックします。
情報とFaceWidget		ロック画面に表示する内容を選択します。
通知		ロック画面に通知を表示するかどうかを設定したり、通知を表示するアプリを選択したりします。
アプリのショートカット		ロック画面から起動するアプリを選択します。
Galaxy Pass		生体認証を使用して、安全かつ簡単にユーザー認証することができます。

端末リモート追跡サービス	アカウント追加／（メールアドレス）	Galaxyアカウントが未登録の場合、Galaxyアカウントを登録できます。Galaxyアカウントが登録されている場合、アカウントの同期について設定できます。
	リモートコントロール	Galaxyアカウントを使用して、インターネット経由で本製品を遠隔操作できるようにするかどうかを設定します。
	Googleの位置情報サービス	Googleの位置情報サービスが、本製品の位置情報を検索できるようにするかどうかを設定します。
	最後に検出された位置情報を送信	バッテリー残量が一定のレベルを下回ったときに、直前の現地情報を端末リモート追跡サービスに送信することを端末に許可します。
提供元不明のアプリ		▶P.137「提供元不明のアプリーションのダウンロード」
プライベートモード		プライベートなコンテンツおよびアプリをロックして、セキュリティを強化します。
端末を暗号化		端末を起動した際に画面ロックの解除方法を使って端末を保護するかどうかを設定します。
外部SDカードを暗号化／外部SDカードを復号		microSDカードに保存されているデータを暗号化し、他の端末やパソコンで使用できないようにします。 ・ 暗号化を解除する場合は、ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【ロック画面とセキュリティ】→【外部SDカードを復号】→【外部SDカードを復号】をタップし、画面の指示に従って操作してください。
その他のセキュリティ設定	SIMカードロック設定	▶P.189「SIMカードロックを設定する」
	パスワードを表示	パスワードの入力画面で、入力した文字を表示するかどうかを設定します。

その他のセキュリティ設定	セキュリティポリシーを更新	セキュリティポリシーを更新して端末のセキュリティを向上します。
	セキュリティレポートを送信	セキュリティ脅威を分析するため、Wi-Fi®経由でSamsungにセキュリティレポートを送信します。
	デバイス管理機能	デバイス管理機能を表示または無効にします。
	ストレージの種類	認証情報ストレージのバックアップ先を表示します。
	セキュリティ証明書を表示	セキュリティ証明書を表示します。
	ユーザー証明書	ユーザー証明書を表示します。
	ストレージからインストール	暗号化された証明書をシステムメモリ（本体）またはmicroSDメモリカードからインストールします。
	証明書を消去	すべての証明書データとパスワードを消去します。
	トラストオブジェクト	信頼できる端末が接続されると、選択した操作を実行します。 ・ 画面ロックを「スワイプ」／「なし」以外のいずれかに設定している場合のみ選択できます。
	アプリ固定モード	端末の画面に特定のアプリを固定できるようにするかどうかを設定します。
	使用履歴へのアクセス	アプリに端末の使用履歴の読み取りを許可するかどうかを設定します。
	通知へのアクセス	アプリに通知の読み取りを許可するかどうかを設定します。
	【通知をミュート】の管理アプリ	【通知をミュート】の設定を変更する権限を持つアプリを表示します。

※1 「画面ロックの種類」の設定によって、表示されない場合があります。

画面ロックの種類を設定する

1 設定メニュー画面→【ロック画面とセキュリティ】→【画面ロックの種類】

2	スワイプ	画面を上下左右にスワイプして、画面ロックを解除します。
	パターン	ロック解除パターンを入力します。
	PIN	4桁以上の数字を入力します。
	パスワード	アルファベットを含む4文字以上の文字を入力します。
	なし	ロック画面を表示しないように設定します。
	指紋認証	▶P.53「指紋認証機能を利用する」

3 ロック画面での通知の表示を選択

■画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を「なし」以外に設定している場合、□（電源キー）を押す、または自動的に画面のバックライトが消灯すると、画面ロックがかかります。

■画面ロックを解除する

1 □（電源キー）／□を押して、バックライトを点灯

2 ロック画面で現在のロック解除方法を実行する

ロック解除を5回続けて失敗した場合は、画面に従って再試行してください。



◎ロック画面で電話アイコンをスワイプして「緊急通報」が表示されたときに「緊急通報」をタップすると、緊急通報ができます。

◎解除パターンやPIN、パスワードの入力、指紋の認証に5回失敗^{※1}すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。

※1 解除パターンを3箇所以下、PIN／パスワードを3桁以下で入力した失敗、指紋が正常に認識されない旨のエラーメッセージが出る場合はカウントされません。

解除パターン、PIN、パスワードなどを忘れた場合は、パソコンなどからFind My Mobileのホームページにアクセスし、「画面のロック解除」を実行すると画面ロックを解除できます。詳細については、Find My Mobileのホームページをご参照ください（▶P.35）。

SIMカードロックを設定する

au Nano IC Card 04にPIN（暗証番号）を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.21)をご参照ください。

- 1 設定メニュー画面→[ロック画面とセキュリティ]→[その他のセキュリティ設定]→[SIMカードロック設定]→[SIMカードをロック]

- 2 PINコードを入力→[OK]

■電源を入れたときにPINコードを入力する

- 1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[OK]

■PINコードを変更する

au Nano IC Card 04のPINが有効に設定されているときのみ変更できます。

- 1 設定メニュー画面→[ロック画面とセキュリティ]→[その他のセキュリティ設定]→[SIMカードロック設定]→[SIMカードのPINを変更]

- 2 PINコードを入力→[OK]

- 3 新しいPINコードを入力→[OK]

- 4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

クラウドとアカウント

- 1 設定メニュー画面→[クラウドとアカウント]

- 2 Galaxyクラウド

Galaxyクラウドを利用して、本端末のデータをバックアップおよび復元できます。また、データを他の端末と同期することもできます。

アカウント ▶P.189「アカウント」

バックアップと復元 ▶P.190「バックアップと復元」

アカウント

本製品に登録されているアカウントを表示します。また、アカウントを追加したり、同期の設定を行います。

■アカウントを登録する

- 1 設定メニュー画面→[クラウドとアカウント]→[アカウント]→[アカウント追加]

- 2 追加したいアカウントの種類をタップ→画面の指示に従って操作

■アカウントを削除する

- 1 設定メニュー画面→[クラウドとアカウント]→[アカウント]→削除するアカウントの種類をタップ

- 2 削除するアカウント名をタップ

- 3 [⋮]→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]・パスワードの確認画面が表示されたら画面の指示に従って入力します。



- ◎アカウントがオンラインサービスなどとの同期を設定できる場合は、設定メニュー画面→【クラウドとアカウント】→【アカウント】→アカウントの種類をタップ→「アカウント」の下に表示される登録アカウント名をタップ→同期する項目をオンにして、同期させない項目をオフにして設定します。
- ◎アカウントの種類によって、設定項目は異なります。
- ◎他のアプリケーションで使用されているアカウントは、削除できない場合があります。削除するには初期化（▶P.194）が必要になります。

バックアップと復元

1 設定メニュー画面→【クラウドとアカウント】→【バックアップと復元】

2	バックアップ設定	通話履歴などをGalaxyアカウントを利用してバックアップします。
	復元	Galaxyアカウントを利用してバックアップしたデータを復元します。
	データのバックアップ	アプリケーションデータ、Wi-Fi®パスワード、その他の設定をGoogleサーバーにバックアップします。
	バックアップアカウント	バックアップするGoogleアカウントを設定します。
	Googleアカウント	Googleアカウントを利用したバックアップについて設定します。
	自動復元	アプリケーションを再インストールすると、バックアップした設定およびデータを復元します。

au設定メニュー

auが提供するさまざまなサービスに関する設定を行います。

1 設定メニュー画面→【au設定メニュー】

2	au ID	▶P.35 「au IDを設定する」
	auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アリです。
	シンクコール	▶P.65 「シンクコールを設定する」
	ステータスバーの連絡先表示	通知領域に表示する連絡先の設定が行えます。
	au位置情報サービス	auが提供する位置情報サービスです。対応アプリが、少ない電力消費で現在地周辺の情報表示・配信をするためなどに使います。
	au Wi-Fi接続ツール	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアリです。
	データを移行する	スマートフォンで撮影した写真や連絡先など様々なデータをauスマートパスに預けたり、SDカードへのバックアップやスマートフォンへの復元ができます。また機種変更時のデータ移行にもご利用できます。 ▶P.168 「au設定メニューからデータをバックアップする」
	スマホとタブレットを連携する	スマホとタブレットを便利に使えるようにするアリです。スマホへの電話着信やEメール(@ezweb.ne.jp)などの通知をタブレットに表示したり、スマホをタブレット画面から操作するといった使い方が可能です。
	au災害対策・緊急速報メール	緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報）の受信に関する設定を行います。
	データお預かり設定	▶P.168 「データお預かり設定をする」
	歩きスマホ注意アリ	歩きスマホは大変危険です。歩きスマホを検知してお知らせします。
	法的情報	ライセンス情報などが表示されます。

ユーザー補助

1 設定メニュー画面→ [ユーザー補助]

2 視覚	Voice Assistant	▶P.192「ユーザー補助を利用する」
	Voice Assistantへ ルフ	
	画面の情報を保護	プライバシー保護のため、画面を常にOFFの状態にします。
	高速キー入力	ダブルタップする代わりにキーを1回タップして、より簡単にキーボードやキーパッドを使用できるようになります。
	パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するか設定します。
	ユーザー補助ショート カット	簡単な操作でユーザー補助機能を利用できるように設定できます。 ・ [] (電源キー) を音が聞こえるか振動が感じられるまで長押しして端末オプション画面を表示し、2本の指で画面をロングタッチし続けると、ユーザー補助機能を利用できるようになります。
	ボイスラベル	NFCタグに音声録音を書き込み、周囲の対象物に関する情報を提供します。
	画面のズームとフォン ト	画面のズーム設定や文字サイズを設定します。
	高コントラストフォン ト	フォントの色や輪郭を調整して、背景とのコントラストを高めます。
	高コントラストキー ボード	Galaxy日本語キーボードの色を変更して、キーと背景のコントラストを高めます。
	ボタンを強調して表示	ボタンを影付きで表示して見やすくします。
	ルーペウィンドウ	画面上のコンテンツを拡大表示します。
	拡大ジェスチャー	画面の拡大操作を設定します。

視覚	マウス／タッチパッド ポインターを拡大	マウスやタッチパッドのポインターを大きくします。
	グレースケール	画面のカラーをグレースケールにします。
	ネガポジ反転	画面のカラーを反転します。
	色の調整	色覚テストを行い、ディスプレイ表示を最適な色に調整します。
聴覚	フラッシュ通知	通知情報や電話着信、アラーム音が鳴るときにライトを点滅してお知らせするかどうかを設定します。
	全ての音を消音	受話音声を含む、すべての音を消音に設定します。
	Galaxy字幕 (CC)	字幕の表示方法を設定・確認します。
	Google字幕 (CC)	
	左右のサウンドバラン ス	イヤホンを使用して音楽を聞くときの左右の音量バランスを設定します。
操作 と制 御	モノラル再生	片方のイヤホンだけで聴きやすくするために、オーディオをモノラルに変更します。
	ユニバーサルスイッチ	カスタマイズしたスイッチで本端末をコントロールします。
	アシスタントメニュー	アシスタントメニューを表示させるかどうかを設定します。また、アシスタントメニューの表示位置の設定や、アシスタントメニューに表示される操作の編集ができます。
	長押しの調整	ロングタッチの時間を設定します。
	ポインター停止後にクリック	マウス使用時などにポインターが停止したら自動的にクリックするかどうかを設定します。
入力操作制御	タッチ操作をブロックする範囲を設定します。	
	・ 本機能を有効にするには、音量キーの下側と [] を同時に1秒以上押し、画面の指示に従ってください。	

テキスト読み上げ	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。
スワイプコンビネーションロック	スワイプ方向の組み合わせで画面のロックを解除します。
ダイレクトアクセス	○を続けて3回押してユーザー補助機能を設定できるようにします。
通知リマインダー	確認していない通知があるとき、設定した間隔で通知音を鳴らして知らせるかどうかを設定します。
通話応答／終了	○を押して電話に出たり、○(電源キー)を押して通話を終了したりする操作を設定します。
シングルタップモード	1回のタップでアラームの停止／スヌーズ、カレンダーイベントやタイマー通知の停止、着信の応答／拒否などをするかどうかを設定します。
ユーザー補助を管理	<ul style="list-style-type: none"> インポート／エクスポート：ユーザー補助設定をファイルとして保存（エクスポート）したり、保存済みファイルをインポートしてユーザー補助設定を更新したりします。 共有：ユーザー補助設定ファイルをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth®機能やメールなどで送信します。
Lookout for au	Lookoutセーフブラウジングを有効化します。

ユーザー補助を利用する

ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助を有効にします。

1 設定メニュー画面→【ユーザー補助】

2 【視覚】→【Voice Assistant】→○をタップして【OK】

初めてVoice Assistantをオンにしたときは確認メッセージが表示されるので【OK】をタップします。

3 【設定】→各項目を設定



Voice Assistantのタッチガイド機能について

◎初めてVoice Assistantをオンにしたときは、タッチガイド機能などを有効にすることの確認メッセージが表示されます。

タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示したりすることができる機能です。

◎タッチガイド機能をオンにした場合、本製品の操作の一部が通常の操作と異なります。

- 項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップします。
- スライドする場合は、2本の指で操作します。

一般管理

1 設定メニュー画面→【一般管理】

1	言語とキーボード	▶P.193「言語とキーボード」
2	日付と時刻	▶P.193「日付と時刻」
	診断情報を報告	お客様のデバイスから診断および使用状況データをSamsungに送信することを許可するか選択します。
リセット	設定をリセット	セキュリティ、言語、およびアカウント設定を除き、本製品を工場出荷時の状態にリセットします。
	ネットワーク設定をリセット	Wi-Fi®、Bluetooth®、およびその他のネットワーク設定を初期設定にリセットします。
	工場出荷状態に初期化	▶P.194「本製品を初期化する」
	自動再起動	設定された時刻に自動的に再起動するかどうかを設定します。再起動によって本製品は最適化されます。このとき、保存されていないデータは失われます。

言語とキーボード

1 設定メニュー画面→【一般管理】→【言語とキーボード】

1	言語	言語の表示を切り替えます。
2	標準キーボード	デフォルトのキーボードを設定します。
オン スク リーン キー ^ボ ー ^ド	Galaxy日本語キーボード	▶P.57「Galaxy日本語キーボードの設定を行う」
	Google音声入力	音声入力の言語や不適切な語句に関する設定をします。
	キーボードを管理	使用するキーボードを管理します。

ハードウェアキー	オンスクリーンキーボードを表示	ハードウェアキーボードを使用中もオンスクリーンキーボードを表示します。
キー	ボードショートカット	キーボードのショートカットの説明を画面に表示します。
ボ	テキスト読み上げ	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。
ード	ポインター速度	マウス／トラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。

日付と時刻

1 設定メニュー画面→【一般管理】→【日付と時刻】

1	自動日時設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正します。
2	日付設定*	▶P.193「日付／時刻を手動で設定する」
	時刻設定*	
	タイムゾーンを選択*	タイムゾーンを選択します。
	24時間形式を使用	オンにすると24時間表示、オフにすると12時間表示となります。

*「自動日時設定」がオフのときに表示されます。

日付／時刻を手動で設定する

- 1 設定メニュー画面→【一般管理】→【日付と時刻】
- 2 【自動日時設定】の をタップして にする
- 3 【日付設定】／【時刻設定】→日付／時刻を設定→【完了】



- ◎「日付と時刻」の「自動日時設定」がオンになっていると、ネットワークから日付や時刻、タイムゾーンが自動で設定されます（初期状態）。
- ◎「日付と時刻」の「自動日時設定」は、海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。設定メニュー画面→【一般管理】→【日付と時刻】→【タイムゾーンを選択】→設定する項目をタップして、タイムゾーンを設定することができます。

本製品を初期化する

本製品を初期状態に戻します（リセット）。この操作を行うと、ご購入後に本製品にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。必ず本製品の重要なデータをバックアップしてから、リセットしてください。

- 1 設定メニュー画面→【一般管理】→【リセット】→【工場出荷状態に初期化】→【リセット】
・画面ロックの設定によっては、ロック解除が必要な場合があります。

【全て削除】

本製品は自動的に再起動します。

本製品の再起動またはリセット中は、そのままお待ちください。



- ◎初期化は、充電しながら行うか、内蔵電池が十分に充電された状態で行ってください。
- ◎本製品を初期化しても、プリセットされているアプリケーションは削除されません。

ソフトウェア更新

- 1 設定メニュー画面→【ソフトウェア更新】

2	更新を手動でダウンロード	▶P.218「ソフトウェアをダウンロードして更新する」
	更新を自動的にダウンロード	Wi-Fi®ネットワーク接続時に、自動的にソフトウェア更新を行います。ダウンロード中も本製品を使用することができます。
	ソフトウェアの更新予約	ソフトウェア更新の開始時刻を設定します。

端末情報

- 1 設定メニュー画面→【端末情報】

2	電話番号	電話番号を表示します。
	ステータス	SIMカードの状態、IMEI情報などを確認できます。
	法定情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約、Samsung規約を確認できます。
	デバイス名称	本製品の名称を確認／変更します。
	認証情報	本端末の認証情報を表示します。
	モデル番号	型番を表示します。
	ソフトウェア情報	バージョンや各番号を確認できます。
	バッテリー情報	本製品のバッテリーの状態、残量などの情報を確認できます。

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する	196
着信お知らせサービスを利用する（標準サービス）	196
着信転送サービスを利用する（標準サービス）	196
発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）	199
番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）	199
お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）	200
第三者通話サービスを利用する（オプションサービス）	206
割込通話サービスを利用する（オプションサービス）	207
迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）	208
通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）	209
海外利用	210
au世界サービスについて	210
海外利用に関する設定を行う	210
データサービス・メッセージサービスの通信料	211
渡航先で電話をかける	212
渡航先で電話を受ける	213
お問い合わせ方法	213
サービスエリアと海外での通話料	214
海外で安心してご利用いただくために	214
海外でのご利用上のご注意	215

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス	参照先
標準サービス	SMS
	着信お知らせサービス
	着信転送サービス
	発信番号表示サービス
	番号通知リクエストサービス
有料オプションサービス ^{*1}	お留守番サービスEX
	三者通話サービス
	割込通話サービス
	迷惑電話撃退サービス
	通話明細分計サービス

*1 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。

お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客様センターまでご連絡ください。各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ (<https://www.au.com/>) でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する（標準サービス）

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。



memo

- ◎「着信お知らせサービス」を利用するには、お留守番サービスEXの圏外転送を設定してください（▶P.202）。
- ※ 有料オプションサービスをご契約されていない場合も設定を行ってください。
- ◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
- ◎ 着信があつてから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ 契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内（▶P.201）で着信お知らせ（着信通知）を停止することができます。
- ◎ 通話中などすぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。

電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。



memo

- ◎ 緊急通報番号（110、119、118）、時報（117）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
- ◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.199）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- ◎ au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話事業者でも転送できない場合があります。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※ 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※ お客様のご負担となります。 ※ 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 ホーム画面で【ダイヤル】→【：】→【設定】→【auサービス】

2 【留守番電話と通話転送】→【応答しない時に転送】

3 【通話転送】

「無効」をタップすると転送サービスを停止できます。

4 転送までの時間や無応答時に転送する番号を設定→【有効】

- ・転送までの時間は5秒～55秒の間で設定できます。
- ・登録済みの転送先番号がある場合や「留守番電話」に設定されている場合は、[更新]をタップします。



◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 ホーム画面で【ダイヤル】→【：】→【設定】→【auサービス】

2 【留守番電話と通話転送】→【通話中に転送】

3 【通話転送】

「無効」をタップすると転送サービスを停止できます。

4 転送先番号を設定→【有効】

- ・登録済みの転送先番号がある場合や「留守番電話」に設定されている場合は、[更新]をタップします。



◎話中転送と割込通話サービス（▶P.207）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する（圏外転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなどに電話を転送します。

1 ホーム画面で【ダイヤル】→【：】→【設定】→【auサービス】

2 【留守番電話と通話転送】→【電波が悪い時に転送】

3 【通話転送】

「無効」をタップすると転送サービスを停止できます。

4 転送先番号を設定→【有効】

- ・登録済みの転送先番号がある場合や「留守番電話」に設定されている場合は、[更新]をタップします。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→【：】→【設定】→【auサービス】
- 2 【留守番電話と通話転送】→【常に転送】
- 3 【通話転送】
「無効」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 4 転送先番号を設定→【有効】
 - 登録済みの転送先番号がある場合や「留守番電話」に設定されている場合は、【更新】をタップします。



◎「常に転送」（フル転送）を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始・転送停止ができます。

- 1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
フル転送起動	1428
フル転送停止	1429
全転送停止	1430

- 2 ご利用の本製品の電話番号を入力

- 3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.20)をご参照ください。

- 4 ガイダンスに従って操作



◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。

◎ 遠隔操作には、ブッシュトーンを使用します。ブッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様の端末のディスプレイに表示されるサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。



- ◎発信者番号（お客様の電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
- ◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
- ◎海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。

相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」 (Private number)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」 (Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」 (Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→【⋮】→【設定】
- 2 【発信者番号通知】のをタップしてにする



◎電話をかけるときは、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。

◎発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」をオンにしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。

◎「発信者番号通知」をオフに設定しても、緊急通報番号（110、119、118）への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。



◎初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。

◎お留守番サービスEX（▶P.200）、着信転送サービス（▶P.196）、割込通話サービス（▶P.207）、三者通話サービス（▶P.206）のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。

◎番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.208）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

◎サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

- ホーム画面で【ダイヤル】→【1】【4】【8】【1】→【】
→【】

memo

- 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・公衆電話、国際電話
 - ・SMS
 - ・その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

- ホーム画面で【ダイヤル】→【1】【4】【8】【0】→【】
→【】

お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）

■ お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード（▶P.180）を有効にしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- 本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.199）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	7日間まで ^{※1}
お預かりできる件数	99件まで ^{※2}
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。

※2 件数は伝言とボイスメール（▶P.204）の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできることをガイダンスでお知らせします。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

かかってきた電話に出ることができないときに電話を留守番電話サービスに転送します。

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→【⋮】→【設定】→【auサービス】
- 2 【留守番電話と通話転送】→【応答しない時に転送】
- 3 【留守番電話】
「無効」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 4 転送までの時間を設定→【有効】
 - ・転送までの時間は5秒～55秒の間で設定できます。
 - ・「通話転送」に設定されている場合は、【更新】をタップします。



◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの設定（録音／確認／変更）、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、着信お知らせの開始／停止ができます。

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→【1】【4】【1】→【📞】
- 2 ガイダンスに従って操作

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→【⋮】→【設定】→【auサービス】
- 2 【留守番電話と通話転送】→【通話中に転送】
- 3 【留守番電話】
「無効」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 4 【有効】
・「通話転送」に設定されている場合は、【更新】をタップします。



◎ 話中転送と割込通話サービス（▶P.207）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→【⋮】→【設定】→【auサービス】
- 2 【留守番電話と通話転送】→【常に転送】
- 3 【留守番電話】
「無効」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 4 【有効】
・「通話転送」に設定されている場合は、【更新】をタップします。



◎ 「常に転送」（フル転送）を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

応答できない電話を転送する（圏外転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなどに、電話を留守番電話サービスに転送します。

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→【⋮】→【設定】→【auサービス】
- 2 【留守番電話と通話転送】→【電波が悪い時に転送】
- 3 【留守番電話】
「無効」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 4 【有効】
・「通話転送」に設定されている場合は、【更新】をタップします。

■ 電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します（▶P.204「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）。

電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに（スキップして）手順②に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、手順③へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイドンスに従って次の操作ができます。

- [1]：録音した伝言を再生して、内容を確認する
- [2]：録音した伝言を「至急扱い」にする
- [9]：録音した伝言を消去して、取り消す
- [*]：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。

◎お留守番サービスに転送する旨のガイドンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

■ ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面で【ダイヤル】→[1] [6] [1] [2] +相手の方のau電話番号を入力→【📞】

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

■ 伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたこととSMS（「伝言お知らせ」と表示）でお知らせします。

memo

- ◎同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
- ◎お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
- ◎伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- ◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面で【ダイヤル】→「1」をロングタッチ

ホーム画面で【ダイヤル】→[:]→[設定]→[auサービス]→[留守番電話と通話転送]→[留守番電話メッセージを再生]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。

ホーム画面で【ダイヤル】→[1] [4] [1] [7]→[]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

画面にキーパッドが表示されていない場合は、[キーパッド]をタップします。

[1]：同じ伝言をもう一度聞く

[4]：5秒間巻き戻して聞き直す

[5]：伝言を一時停止（20秒間）^{※1}

[6]：5秒間早送りして聞く

[7]：再生済みの伝言をすべて消去

[9]：伝言を消去

[0]：伝言再生中の操作方法を聞く

[#]：次の伝言を聞く

[＊]：前の伝言を聞く

※1 []以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。



◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール（▶P.203）も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認／変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面で【ダイヤル】→[1] [4] [1] [4]→[]

ホーム画面で【ダイヤル】→[:]→[設定]→[auサービス]→[留守番電話と通話転送]→[応答メッセージの設定]と操作しても変更できます。

■すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（個人メッセージ）

2 [1]→[1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]

→[#]→[]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、[キーパッド]をタップします。

■電話番号の代わりに読み上げるお客様のお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（名前指定メッセージ）

2 [1]→[2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]

→[]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、[キーパッド]をタップします。

■設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 [3]→応答メッセージを確認→[]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、[キーパッド]をタップします。

■蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合（不在通知）

2 [1]→[3]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]

→[#]→[]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、[キーパッド]をタップします。



- ◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- ◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
- ◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って [2] → [1] をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
- ◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って [1] → [4] をタップすると標準メッセージに戻すことができます。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
詳しくは、「応答メッセージの録音／確認／変更をする」（▶P.204）をご参照ください。

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→ [1] [6] [1] [0] → [0]
- 2 ガイダンスを確認→ [0]



- ◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- ◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

伝言の蓄積停止を解除する

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→ [1] [6] [1] [1] → [0]
- 2 ガイダンスを確認→ [0]



◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様の本製品以外のau電話、他通信事業者の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

- 1 090-4444-XXXXに電話をかける
上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定（無条件）開始	1418
留守番転送設定（無条件）停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

- 2 ご利用の本製品の電話番号を入力
- 3 暗証番号（4桁）を入力
暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.20）をご参照ください。
- 4 ガイダンスに従って操作



- ◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面で [ダイヤル] → [1] [4] [1] [9] [1] → [📞]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

ホーム画面で [ダイヤル] → [⋮] → [設定] → [auサービス] → [ガイド言語を変更] → [英語ガイダンス (14191)] と操作し、音声ガイダンスに従って操作しても設定できます。

2 ガイダンスを確認→ [📞]



- ◎ ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面で [ダイヤル] → [1] [4] [1] [9] [0] → [📞]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

ホーム画面で [ダイヤル] → [⋮] → [設定] → [auサービス] → [ガイド言語を変更] → [日本語ガイダンス (14190)] と操作し、音声ガイダンスに従って操作しても設定できます。

2 ガイダンスを確認→ [📞]

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。
例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中に【通話を追加】→Bさんの電話番号を入力

連絡先や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [📞]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

4 [統合]

3人で通話できます。

[📞] をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。



- ◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- ◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- ◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- ◎ 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。
- ◎ 三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。



◎ 海外利用中は、ご利用になれません。

◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Nano IC Card 04を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態（開始／停止）に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを開始する

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→【⋮】→【設定】→【auサービス】

ホーム画面で【ダイヤル】→【1】【4】【5】【1】→【📞】と操作しても開始できます。

- 2 【割込通話】→【】をタップして【】にする



◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.199）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。

◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.208）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→【⋮】→【設定】→【auサービス】

ホーム画面で【ダイヤル】→【1】【4】【5】【0】→【📞】と操作しても開始できます。

- 2 【割込通話】→【】をタップして【】にする



◎ 4G（LTE／WiMAX 2+）データ通信中は、割込通話サービスを「停止」に設定しても着信します。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

- 1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

ディスプレイには、着信画面が表示されます。

- 2 【📞】を円の外までドラッグ／スライド

- 3 「XXX-XXXX-XXXXとの通話を保留」をタップ

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。

保留した相手の「切替」をタップすると、通話相手を切り替えることができます。



- ◎手順③で「XXX-XXXX-XXXXとの通話を終了」をタップすると、Aさんとの通話を終了してBさんとの通話になります。
- ◎手順③で保留した相手の「統合」をタップするとAさん、Bさんとの3人の通話になります。三者通話サービスを利用する（オプションサービス）（▶P.206）をご参照ください。
- ◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
- ◎割込通話時の着信も通話履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。



- ◎お留守番サービスEX（▶P.200）、着信転送サービス（▶P.196）、割込通話サービス（▶P.207）、三者通話サービス（▶P.206）、番号通知リクエストサービス（▶P.199）のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面で【ダイヤル】→【1】【4】【4】【2】→【📞】

ホーム画面で【ダイヤル】→【⋮】→【設定】→【auサービス】→【着信拒否】→【不要な通話を制限】→【直前の電話番号を追加】と操作しても登録できます。

■ 指定の電話番号を登録する場合

1 ホーム画面で【ダイヤル】→【⋮】→【設定】

2 【auサービス】→【着信拒否】

3 【不要な通話を制限】

4 撃退する電話番号を入力→【+】



memo

- ◎登録できる電話番号は30件までです。
- ◎電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
- ◎登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかげになつた電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- ◎登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
 - SMS

登録した電話番号を全件削除する

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→[1] [4] [4] [9] → [📞]

■ 指定の電話番号を削除／編集する

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→[⋮]→【設定】
- 2 【auサービス】→【着信拒否】
- 3 【不要な通話を制限】
- 4 削除する電話番号をタップ→【削除】

編集する電話番号の  /  をタップすると、該当電話番号に対して「不要な通話を制限」を有効にするかどうかを設定します。

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

- 1 ホーム画面で【ダイヤル】→[1] [3] [1] +相手先電話番号を入力→[📞]



- ◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- ◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

ご利用料金について

月額使用料	有料
-------	----

海外利用

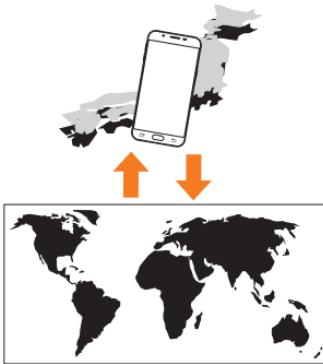
au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM／UMTS／LTEネットワークのいずれでもご利用になれます。

- ・いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
 - ・特別な申し込み手続きや月額の定額料は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客様サポートセンターにてご確認ください。
- ※ 新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で電話（発信）した翌々日よりご利用が可能です。
- ・各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

■ご利用イメージ

- 1 日本国内では、auのネットワークでご利用になります
- 2 海外で電源をオンにすると、海外事業者のネットワークで電話とSMSがご利用いただけます
- 3 データ通信を行う場合は「データローミング」(▶P.210)を有効にします



海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

- ・渡航先においては、「」の表示のある場合にデータ通信が可能です。画面表示のみの場合は音声通話（およびご利用の地域によってはSMS）のみご利用になります。

■現在地時刻を設定する

- 1 ホーム画面で「[基本フォルダ]」→「[設定]」→「[一般管理]」→「[日付と時刻]」→「[自動日時設定]」のをタップしてにする

「自動日時設定」をオンにしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本製品の時計の時刻や時差が補正されます。



- ◎初期値では「自動日時設定」はオンになっています。
- ◎海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。
- ◎補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- ◎サマータイムがある国は、現地時間と本製品の表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。
- ◎日付と時刻の設定については、「日付／時刻を手動で設定する」(▶P.193)をご参照ください。

■データ通信を利用する

- 1 ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【接続】→【モバイルネットワーク】→【ローミング設定】
- 2 「データローミング」の をタップして にする



- ◎LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。

データサービス・メッセージサービスの通信料

■データサービス・メッセージサービスの通信料（免税）

データ通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通*	無料

* 全角70文字までの料金です。詳しくはauホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/>

■世界データ定額

利用料980円をお支払いいただくと、対象の国・地域で24時間日本でご加入されているデータ定額サービスの容量からデータ通信がご利用いただけます。世界データ定額をご利用の通信量は、国内のデータ定額サービスの月間容量やデータチャージのデータ容量購入分から消費します。

世界データ定額について詳しくはauホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/sekai-data/>



- ◎海外でご利用になった場合の料金です。

- ◎お客さまがご利用を開始してから24時間の通信に対する金額です。月額制の定額料ではありません。

■ 海外ダブル定額（免税）

対象の国・地域にてご利用いただいた場合、1日あたり約24.4MB（割引前通信料が40,000円分）まで最大1,980円、どれだけご利用いただいても1日あたり最大2,980円のご利用料金となります。海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。<https://www.au.com/mobile/charge/data-option/kaigai-double-teigaku-lte/>



- ◎ 海外でご利用になった場合の料金です。海外で送受信したデータ量に応じて課金されます。
- ◎ 渡航先でのデータ通信料は、国内各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- ◎ 1日あたりの上限額は渡航先の現地時間ではなく日本時間の1日（0:00～23:59）の通信に対する金額です。月額の定額制ではありません。

渡航先で電話をかける

au世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

1 ホーム画面で【ダイヤル】

2 【0】をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 国番号を入力

4 地域番号（市外局番）を入力

地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部例外もあります）。

5 相手の方の電話番号を入力→【通話】

例：渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合

+81（国番号）-3（市外局番）-1234XXXX（相手の方の電話番号）

例：渡航先（アメリカ）からアメリカの「123-456-XXXX」にかける場合

+1（国番号）-123（市外局番）-456XXXX（相手の方の電話番号）



◎ 電話をかける相手が日本の携帯電話をご利用の場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

◎ 渡航先では、一部特番などかけられない電話番号があります。

◎ 国・地域、および最新情報についてはKDDI国際電話ホームページをご参照ください。

◆国番号

<http://www.001.kddi.com/countrycode/>

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話を受けることができます。



- ◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料（▶P.214）がかかります。
- ◎ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
- ◎ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」（日本）をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

■ 海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法（通話料無料）

受付時間：24時間

1 ホーム画面で【ダイヤル】→【📞】

2 [0] をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 「81366706944」を入力→【📞】

■ 一般電話からのお問い合わせ方法

渡航先別電話番号等の詳しい情報はauホームページの「海外からの問い合わせ番号」をご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/global/inquiry/>

サービスエリアと海外での通話料

渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。詳しくはauホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/>



- ◎日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- ◎海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- ◎発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページをご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。

https://www.au.com/information/notice_mobile/global/

■本製品を盗難・紛失したら

- ・海外で本製品もしくはau Nano IC Card 04を盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは「海外からのお問い合わせ」(▶P.213)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- ・本製品に挿入されているau Nano IC Card 04を盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては「SIMカードロックを設定する」(▶P.189)をご参照ください。

海外でのご利用上のご注意

■ 渡航先での音声通話に関するご注意

- ・ 渡航先でコレクトコール、トルフレーナンバー、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- ・ 国・地域によっては、❶をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- ・ 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、日本国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■ 通話明細に関するご注意

- ・ 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- ・ 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- ・ 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■ 渡航先でのデータ通信料に関する注意

- ・ 渡航先でのご利用料金は、日本国内でのご利用分に合算して翌月に（渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります）請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- ・ 日本国内でデータ通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しデータ通信料がかかります。

■ 渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- ・ SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- ・ SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。

- ・ 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、海外でのご利用中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■ auネットワークサービスに関するご注意

- ・ 以下のサービスは、海外ではご利用いただけません。
 - 着信転送サービス（標準サービス）の無応答転送・話中転送・圏外転送
 - お留守番サービスEX（オプションサービス）
 - 三者通話サービス（オプションサービス）
 - 割込通話サービス（オプションサービス）
 - 通話明細分計サービス（オプションサービス）
- ・ 発信番号表示サービス（標準サービス）は、海外では電話番号が通知されない場合があります。海外では「発信者番号通知」の機能は無効になります。
- ・ 迷惑電話撃退サービス（オプションサービス）は、海外では受信拒否リストへの登録ができません。また、日本で登録した番号でも海外では迷惑電話撃退サービスが動作せず通常の接続となる場合があります。

■ その他ご利用上の注意

- ・ 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- ・ 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- ・ 渡航先でリチャージする場合は、しばらく間隔をあけておかげ直しいただくとつながりやすくなる場合があります。
- ・ 渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- ・ サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- ・ 海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- ・ 航空機内の使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・ au世界サービスは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。

- ・ 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- ・ 海外でのご利用中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象なりません。
- ・ 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になりますが、帰国後の日本国内通話は発信規制となります。また日本国内で発信規制状態になつていても、海外では渡航先で使うことができます。
- ・ 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- ・ 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オン（再起動）することでご利用可能となる場合があります。

付録

付録	218
ソフトウェアを更新する	218
故障とお考えになる前に	219
アフターサービスについて	220
SIMロック解除	222
周辺機器のご紹介	223
利用できるデータの種類	223
主な仕様	224
携帯電話機の比吸収率などについて	225
索引	226
FCC RF exposure information	233
European RF Exposure Information	233
Declaration of Conformity	233
輸出管理規制	233
知的財産権について	233
おサイフケータイ [®] 対応サービスご利用上の注意	235

付録

周辺機器やソフトウェア更新、主な仕様、アフターサービスについてなど、お役に立つ情報をご案内しています。

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

■ ご利用上の注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi[®]でのご利用をおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。
- ソフトウェア更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

- ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】
- 【ソフトウェア更新】→【更新を手動でダウンロード】
- 【今すぐ更新】

以降は、画面の指示に従って操作してください。

- ダウンロードの確認画面が表示された場合は、「OK」をタップしてください。「Wi-Fi設定」をタップした場合は、無線LAN（Wi-Fi[®]）機能の接続設定を行います（▶P.170）。



◎自動検索するために通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

パソコンに接続して更新する

「Smart Switch」を使って、パソコンからソフトウェアを更新できます。

- 詳しくは、「Smart Switchを利用する」（▶P.168）をご参照ください。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか? □(電源キー)を1秒以上押していますか?	P.31 P.33
充電ができない	指定のACアダプタ(別売)の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか?	P.32
電池を利用できる時間が短い	□(圈外)が表示される場所での使用が多くありませんか? 内蔵電池が寿命となっていませんか?	P.48 P.14
タッチパネルで意図した通りに操作できない	爪の先で操作したり、異物を載せたままで操作したりしていませんか?	P.37
キー/タッチパネルの操作ができない	画面ロックが設定されていませんか? 電源は入っていますか? ・電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.34 P.33
画面をタップしたとき/キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	—
「SIMカードがありません」と表示される	au Nano IC Card 04が挿入されていますか?	P.29
電話がかけられない	au Nano IC Card 04が挿入されていますか? 電話番号が間違っていますか?(市外局番から入力していますか?) 「機内モード」が設定されていませんか?	P.29 P.59 P.180
電話がかかってこない	ネットワークモードの設定が間違っていますか? 電波は十分に届いていますか? サービスエリア外にいませんか? 「機内モード」が設定されていませんか?	P.210 P.48 P.180

こんなときは	ご確認ください	参照
電話がかかってこない	ネットワークモードの設定が間違っていますか? 着信転送サービスが設定されていませんか?	P.210 P.196
着信音の鳴り始めの音量が小さい	耳に悪い影響を与えないよう、着信直後は小さな音量で鳴り、次第に設定した音量になる仕様です。	—
画面照明が暗い	「省電力モード」が設定されていますか?	P.185
相手の方の声が聞こえない	通話音量が最小に設定されていますか? 受話口を耳でふさいでいませんか?受話口が耳の穴に当たるようしてください。	P.59 P.27
テレビが映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか? 放送エリアが間違っていますか? 付属のSC-TVアンテナケーブル03を正しく接続していますか?	P.130 P.135 P.130
おサイフケータイ [®] が使えない	内蔵電池は充電されていますか? 「NFC/おサイフケータイロック」を設定中ではありませんか? 本製品の△マークがある位置をリーダー/ライターにかざしていますか?	P.31 P.147 P.146
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか? microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか?	P.161 P.186
メディアデバイスマード(MTP)で接続しても動作しない	Smart SwitchまたはWindows Media Player 11/12をパソコンにインストールしてください。	P.168

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。

<https://www.au.com/trouble-check/>

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。



- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。

■補修用性能部品について

当社はこのGalaxy A8本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■故障紛失サポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています（月額380円、税抜）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、故障紛失サポートセンターへお問い合わせください。



- ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- au電話を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04は、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口までお問い合わせください。

お客様センター（紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて）

一般電話からは **0077-7-113**（通話料無料）

au電話からは **局番なしの113**（通話料無料）

受付時間 24時間（年中無休）

故障紛失サポートセンター（紛失・盗難・故障について）

一般電話／au電話からは

0120-925-919（通話料無料）

受付時間 9:00～20:00（年中無休）



オンライン交換受付（24時間受付）

※ パソコン、スマートフォンからのみ受付可能

<https://www.au.com/support/service/mobile/trouble/repair/application/>

- インターネット受付でのお申し込みは、「破損」「水濡れ」「盗難」「紛失」の場合が対象となります。自然故障（破損、水濡れなどの原因ではないが電源が入らない、画面が動かないなど）の場合は、問診が必要なためお電話での受付となります。
- インターネットでのお申し込みには、メールアドレスが必要です。

■auアフターサービスの内容について

	サービス内容		故障紛失サポート
	会員	非会員	
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目	無料
		2年目以降	下記「交換用携帯電話機お届けサービス」（会員）で負担金の表を参照
預かり修理	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失		補償なし
	自然故障	1年目	無料
		2年目以降	無料（3年間保証）
	お客様負担額 上限5,000円		実費負担
水濡れ、全損		お客様負担額 10,000円	
盗難、紛失		補償なし	補償なし (機種変更対応)

※ 金額は全て税抜

■「交換用携帯電話機お届けサービス」（会員）ご負担金

適用条件	1回目	2回目
通常	5,000円／長期ご利用 特典 ^{※1} 3,000円	8,000円／長期ご利用 特典 ^{※1} 6,000円
「WEB割引」 ^{※2} ／「代用機なし割引」 ^{※3} の両方を適用	4,000円／長期ご利用 特典 ^{※1} 2,000円	7,000円／長期ご利用 特典 ^{※1} 5,000円
「代用機なし割引」 ^{※3} のみを適用	4,500円／長期ご利用 特典 ^{※1} 2,500円	7,500円／長期ご利用 特典 ^{※1} 5,500円

※ 金額は全て税抜

※1 3年目（25ヵ月）以上ご利用中のお客様、またはそのお客様が属する家族割内すべての回線が対象です。データ通信端末、タブレットをご利用中のお客様は、セット割（WINシングルセット割、またはスマホセット割）に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年目以上の場合が対象です。

※2 WEB割引：auホームページから「交換用携帯電話機お届けサービス」を申し込む場合、サービス利用ご負担金から500円を割引します。

「WEB 割引」の場合は代用機の貸出は出来ませんので、自動的に「代用機なし割引」が適用されます。

※3 代用機なし割引：「交換用携帯電話機お届けサービス」のご利用に際し、代用機を利用しない場合は、サービス利用ご負担金から500円を割引します。

詳細はauホームページでご確認ください。



交換用携帯電話機お届けサービス

◎ auの端末がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色[※]）をお届けします。故障した今までお使いのauの端末は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

※ 同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用携帯電話機をご提供します。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※ 詳細はauホームページでご確認ください。

◎ 盗難、紛失など、本サービスのご利用と同時にau Nano IC Card 04の再発行を伴う場合は、別途au Nano IC Card 04再発行手数料1,900円が必要です。

預かり修理

◎ お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

SIMロック解除

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の設定は、ホーム画面で【基本フォルダ】→【設定】→【端末情報】→【ステータス】→【SIMカードの状態】から行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器のご紹介

■ SC TVアンテナケーブル03 (03SCHSA)



■ ポータブル充電器02 (0301PFA) (別売)

■ microUSBケーブル01 (0301HVA) (別売)

microUSBケーブル01 ネイビー (0301HBA) (別売)
microUSBケーブル01 グリーン (0301HGA) (別売)
microUSBケーブル01 ピンク (0301HPA) (別売)
microUSBケーブル01 ブルー (0301HLA) (別売)

■ AC Adapter JUPITRIS (ホワイト) (L02P001W) (別売)

AC Adapter JUPITRIS (レッド) (L02P001R) (別売)
AC Adapter JUPITRIS (ブルー) (L02P001L) (別売)
AC Adapter JUPITRIS (ピンク) (L02P001P) (別売)

AC Adapter JUPITRIS (シャンパンゴールド) (L02P001N) (別売)

共通ACアダプタ03 (0301PQA) (別売)

共通ACアダプタ03 ネイビー (0301PBA) (別売)

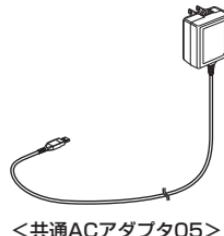
共通ACアダプタ03 グリーン (0301PGA) (別売)

共通ACアダプタ03 ブルー (0301PLA) (別売)

共通ACアダプタ03 ピンク (0301PPA) (別売)

共通ACアダプタ05 (0501PWA) (別売)

- お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。



<共通ACアダプタ05>

■ auキャリングケースGブラック (0106FCA) (別売)



◎ ポータブル充電器02 (別売) では、本製品を十分に充電できない可能性があります。

◎ 周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。

<http://onlineshop.au.com>

利用できるデータの種類

本製品で利用できるデータの種類とファイル形式は以下の通りです。

データの種類	ファイル形式
音	MP3、M4A、3GA、AAC、OGG、OGA、WAV、WMA、AMR、AWB、FLAC、MID、MIDI、XMF、MXMF、IMY、RTTTL、RTX、OTA
静止画	JPEG、PNG、GIF、AGIF、BMP、WBMP、WEBP
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、WEBM



◎著作権保護が設定されているデータなど、データによっては再生できない場合があります。

主な仕様

ディスプレイ		約5.7インチ 約16,777,216色 (有機EL (Super AMOLED)) 1920×1080ドット
質量		約153g
サイズ (幅×高さ×厚さ)		約77mm×158mm×6mm (最厚部7.6mm)
CPU		Exynos5433
システムメモリ		ROM : 32GB RAM : 2GB
連続待受時間 ※1	国内	約520時間
	海外 (GSM / UMTS)	約600時間
連続通話時間 ※1	国内	約1370分
	海外 (GSM / UMTS)	約910分
連続テザリング時間		約660分
テザリング最大接続数		最大14台 • Wi-Fi®テザリング10台 • Bluetooth®テザリング3台 • USBテザリング1台
充電時間		共通ACアダプタ05 (別売) 使用時: 約110分
カメラ	撮像素子	CMOS
	有効画素数	リアカメラ: 約1600万画素 フロントカメラ: 約500万画素
無線LAN (Wi-Fi®) 機能		IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 ^{※2}

Bluetooth® 機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.1
	出力	Bluetooth®標準規格Power Class 1
	通信距離 ^{※3}	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル ^{※4}	OPP (Object Push Profile) HSP (Headset Profile) HFP (Hands-Free Profile) A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) SPP (Serial Port Profile) PBAP (Phone Book Access Profile) HID (Human Interface Device Profile) PAN (Personal Area Networking Profile) DUN (Dial-up Networking Profile) ^{※5} SAP (SIM Access Profile) HOGP (HID over GATT Profile)
	使用周波数帯	2.4GHz帯 (2.402GHz ~ 2.480GHz)
テレビ (連続 視聴可能時間)	ワンセグ	約10時間20分
	フルセグ	約7時間0分

※1 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

※2 IEEE802.11nは2.4GHz、5GHzに対応しています。

※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※4 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

※5 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。

ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

携帯電話機の比吸収率などについて

■ 携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種Galaxy A8の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.099W/kg^(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.669W/kg^(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャッシングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ：

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ：

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

○Galaxyのホームページ：

<http://www.samsung.com/jp/support/sar/sarMain.do>

○auのホームページ：

<https://www.au.com/>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

索引

アルファベット

A

au ID設定	35
au Nano IC Card 04	28
取り付け	29
取り外し	30
au WALLET	45
au Wi-Fi接続ツールを利用する	157
auお客さまサポート	152
auかんたん設定	190
au国際電話サービス	63
auサービスTOP	154
auのネットワークサービス	196
英語ガイド	206
遠隔操作サービス	198, 205
応答メッセージ	204
お留守番サービス	200
お留守番サービス総合案内	201
圏外転送	197, 202
第三者通話サービス	206
受信拒否リスト	208
蓄積停止	205
蓄積停止解除	205
着信転送サービス	196
通話明細分計サービス	209
伝言お知らせ	203
伝言再生	204

伝言の録音	203
転送停止	198
日本語ガイド	206
発信番号表示サービス	199
番号通知リクエストサービス	199
フル転送	198, 202
ボイスメール再生	204
ボイスメールの録音	203
無応答転送	197, 201
迷惑電話撃退サービス	208
話中転送	197, 202
割込通話応答	207
割込通話サービス	207
割込通話停止	207

B

Bluetooth®アンテナ	27
Bluetooth®機能	173
起動	174
周波数帯	21
注意事項	21
データの送受信	175
パスキー	174
ペアリング	174
BRIEFING	49

E

Eメール	70
Eメールアドレスの変更へ	95
検索	83
作成	75
受信	80
設定	91

送信	75
送信予約	77
デコレーションメール	79
添付	77
バックアップ	96
表示モードの切り替え	71
フォルダ作成	87
フォルダロック	89
振分け条件	88
迷惑メールフィルター	98

F

FeliCaマーク	27, 146
-----------	---------

G

Galaxy Apps	143
Galaxyアカウント	35
Galaxy日本語キーボード	55
設定	57
Gmail	110
作成	110
受信	110
送信	110
メニュー	110
Google Play	136
Googleアカウント	35
Google音声検索	49
Googleハングアウト	139
Googleマップ	139
GPSアンテナ	27
GPS機能	139

L

LTE NET	112
LTE NET for DATA	112

M

microSDメモリカード	160
注意事項	160
著作権保護されたデータ	160
取り付け	161
取り外し	162
フォーマット	163
メモリ使用量	164
microUSBケーブル01	
接続	166
取り外し	167

N

NFC	148
Android Beam	148
NFCメニュー	148
設定	149

P

PCメール	105
アカウント削除	107
アカウント設定	105
削除	109
作成	108
送信	108
転送	109
返信	109

PINコード	21
PINロック解除コード	21
Playストア	136

S

SAR	225
SIMカードをロック	189
Smart Switch	168
SMS	101
SMSセンター	101
作成	101
受信	102
設定	104
送信	101
Sボイス	144
起動	144
ご利用になる前に	144

V

VPN設定	181
-------	-----

W

Wi-Fi®	170
Wi-Fi Direct	173
起動	170
周波数帯	21
証明書をインストール	172
スリープ設定	172
静的IP	171
接続	170
切断	172
注意事項	21

ネットワーク自動切り替え	172
ネットワーク追加	171
Wi-Fi®アンテナ	27

Y

YouTube	138
---------	-----

かな

あ

アイコン	47
ステータスアイコン	48
通知アイコン	47
アフターサービス	220
アプリ一覧画面	43
アプリケーションの種類	43
アンインストール	138
カスタマイズ	46
終了	52
表示	43
アプリケーション	43
アンインストール	138
管理	137
ショートカットの移動／削除	41
ショートカットの追加	40
アラーム	155
暗証番号	20
あんしんフィルター for au	150
安全上のご注意	11
インターネット	112
LTE NET	112
ご利用データ通信料	112

データ通信	112
Wi-Fi	40
移動／削除	41
追加	40
英語ガイド	206
おサイフケータイ	145
ご利用にあたって	145
サービスの利用	149
設定	147
ロック	147
お留守番サービスEX	200
音量／シャッターキー	27
音量調節	183

か

海外利用	210
お問い合わせ方法	213
現在地時刻設定	210
サービスエリア	214
注意事項	215
通信料	211
通話料	214
各部の名称	26
カメラ	121
撮影画面	122
撮影モード	124
静止画撮影	125
設定	123
注意事項	121
動画録画	125
プレビュー画面	124
画面ロック	34
解除	34, 188
画面ロック解除用パターン／PIN／パスワード	20

カレンダー	141
画面の見かた	141
スヌーズ	142
通知	142
表示	141
メニュー	142
起動中のアプリケーション	52
機内モード	180
ギャラリー	126
静止画／動画表示	126
メニュー	126
緊急時長持ちモード	50
緊急通報位置通知	61
クイック検索ボックス	49
携帯電話機の比吸収率	225
高度な機能の使いかた	38
故障とお考えになる前に	219
故障紛失サポート	220

さ

再起動	33
最近使用したアプリケーション	51
三者通話サービス	206
辞書	144
指紋認証	53
充電	31
周辺機器	223
修理	220
仕様	224
ショートカット	40
初期化	194
シンクコール	65
設定	65
スクリーンショット	52

スクリーンセーバー	184
ステータスバー	47
ストップウォッチ	156
セーフモード	34
世界時計	156
セキュリティ	
SIM PINを変更	189
SIMカードをロック	189
設定の切り替え	51
設定メニュー	179
ソフトウェア更新	218
ダウンロード	218
注意事項	218
パソコンに接続	218

た

タイマー	156
タッチパネルの使いかた	37
縦横表示切替	50
タブを切り替え	50
着信お知らせサービス	196
着信転送サービス	196
着信履歴	61
通知パネル	48
通話設定	66
通話ブロック	68
通話明細分計サービス	209
データ使用量	180
データ通信料についてのご注意	23
データの複数選択	51
テザリング	176
Bluetooth®テザリング	177
USBテザリング	177
Wi-Fi®テザリング	176

テレビ	130
電源／画面ロックキー	27
電源を入れる／切る	33
電卓	157
電話	59
au国際電話サービス	63
応答	63
消音	60
スピーカー	60
スピードダイヤル	60
着信	63
発信	59
電話番号確認	66
同梱品	ii
時計	155
アラーム	155
ストップウォッチ	156
世界時計	156
タイマー	156
取り扱い上のお願い	18
取扱説明書アプリケーション	1

な

内蔵アンテナ	27
日本語ガイド	206

は

バックキー	27
発信番号表示サービス	199
発信履歴	61
番号通知リクエストサービス	199
ビデオ	127
メニュー	128

表記方法	10
ブックマーク	115
追加	115
ブラウザ	113
画像ダウンロード	114
設定	116
タブ	114
テキスト検索	114
テキストコピー	114
表示	113
ブックマーク	115
メニュー	113
履歴	115
履歴消去	116
リンク	115
分割画面表示	42
ボイスレコーダー	143
ホーム画面	40
ウィジェット	40
カスタマイズ	40
かんたんモード	42
ショートカット	40
ホーム画面位置	40
ホームキー	27

ま

マイファイル	164
メニュー	164
マップ	139
拡大／縮小	141
現在地	140
レイヤ	141
マナーモード	183
ミュージック	128

再生	128
プレイリスト	129
メニュー	129
無線LAN (Wi-Fi®) 機能	170
迷惑電話撃退サービス	208
メール	70
Eメール	70
Gmail	110
PCメール	105
SMS	101
メニュー表示	51
文字入力	55
Galaxy日本語キーボード	55
キーボードの種類を切り替える	56
切り取り	57
コピー	57
設定	57
選択	57
入力方法の切り替え	55
貼り付け	57
半角／全角の切り替え	56

ら

履歴キー	27
連絡先	118
インポート	120
エクスポート	120
お気に入りへの追加	119
確認	119
グループ	119
登録	118
発信	120
プロフィール登録	119
編集	119

メニュー 120
ロックNo. (NFC／おサイフケータイ ロック) 20

わ

割込通話サービス 207

FCC RF exposure information

詳細は、下記をご参照ください。

<http://www.samsung.com/sar>

本製品は、Federal Communications Consortium (FCC)の認証を受けています。

本製品のFCC IDは、A3LSCV32です。

また、以下の方法でも確認できます。

確認方法：

ホーム画面で [基本フォルダ] → [設定] → [端末情報] → [バッテリー情報] → FCC認証

European RF Exposure Information

詳細は、下記をご参照ください。

<http://www.samsung.com/sar>

Declaration of Conformity

詳細は、下記をご参照ください。

http://www.samsung.com/mobile_doc

CE 0168①

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetooth® smart readyとBluetoothロゴは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Setup™、Wi-Fi Direct™、Wi-Fi CERTIFIED™とWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Excel®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- ①は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。



- ・「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google カレンダー」、「Google Chrome」、「Googleマップ」、「ハングアウト」、「Google+」、「Google 音声検索」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- ・文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2017 All Rights Reserved.
- ・Microsoft®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- ・OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- ・Tivo、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Tivo Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- ・本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- ・©2014 Comic Communication Co., Ltd. All rights reserved.
- ・その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- ・Windows 10は、Microsoft® Windows® 10（Windows 10 Home、Pro、Enterprise、Education）の略です。
- ・Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Proの略です。
- ・Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- ・Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
- ・Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- ・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- ・MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

・本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または (ii) AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。<http://www.mpegl.com> をご参照ください。

・本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または (ii) VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。<http://www.mpegl.com> をご参照ください。

おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意

■ご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1. おサイフケータイ®対応サービスについて

- 1.おサイフケータイ®対応サービスとは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用い、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップまたはTypeA/B方式に対応した、2章2項に定めるau ICカード内データを保存できるau ICカード各種（以下、au ICカードといいます）を利用したサービスです。NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー／ライター（R/W）機能、機器間通信（P2P）機能がご利用いただけます。
- 2.おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者（以下、SPといいます）が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
- 3.おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

2. FeliCaチップ内及びau ICカード内のデータの取り扱い等について

- 1.お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ®のFeliCaチップまたはau ICカードへのデータの書き込み及び書き換え、並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. FeliCaチップ内のデータ（電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、FeliCaチップ内データといいます）及びau ICカードに保存されたデータ（電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、au ICカード内データといいます）の使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
- 3.おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内データまたはau ICカード内データの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 4.当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップもしくはPiPitにお渡しください、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータのバックアップ、移し替え等の措置（以下、SPバックアップ等といいます）については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内またはau ICカード内データのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

6.当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内またはau ICカード内データの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップまたは他のau ICカードへの移し替え等を行うことはできません。

7.その他NFC機能に対応したSPのサービス利用において生じた損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

3. FeliCaチップまたはau ICカードの固有の番号等の通知について

1.おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客様のおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカードを特定するために、当該FeliCaチップ及びau ICカード固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。

2.当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客様のおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ及びau ICカード固有の番号と、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップまたはau ICカードの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。

3.auショップもしくはPiPitは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客様の電話番号等をSPに通知し、お客様のFeliCaチップ内またはau ICカード内データについて当該SPに問い合わせる場合があります。

4. 不正利用について

1.お客様のおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが不正利用されたことによるお客様の損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

2.万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。ただし、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。

3.おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

5. その他

1.おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客様のau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ及び他のau電話におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。

2.おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客様自身でのFeliCaチップ内またはau ICカード内データの削除ができなくなることがあります。

なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを削除する場合は、あらかじめauショップもしくはPiPitにより当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内またはau ICカード内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。

3.電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。

4.機内モード設定中は、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について (通話料無料)

受付時間 9:00～20:00 (年中無休)

一般電話からは au電話からは

F 0077-7-111 | 局番なしの157番

Pressing "zero" will connect you to an operator,
after calling "157" on your au cellphone.

上記の番号がご利用になれない場合、

下記の番号にお電話ください。(無料)

F 0120-977-033 (沖縄を除く地域)

F 0120-977-699 (沖縄)

紛失・盗難時の回線停止のお手続き

について (通話料無料)

受付時間 24時間 (年中無休)

一般電話からは au電話からは

F 0077-7-113 | 局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、

下記の番号にお電話ください。(無料)

F 0120-925-314

故障紛失サポートセンター

紛失・盗難・故障について (通話料無料)

受付時間 9:00～20:00 (年中無休)

一般電話/au電話から

F 0120-925-919



やめましょう、
歩きスマホ。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となつてお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず④マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。



キケン!
水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、異常な発熱・焼損などの原因となり大変危険です。

2017年11月第1版

発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

輸入元:SAMSUNG ELECTRONICS JAPAN Co., Ltd.

製造元:Samsung Electronics Co., Ltd.